

付録 3

「市区町村における風水害への対応状況と 気象庁による支援への評価に関する アンケート調査」報告

令和 4（2022）年度

市区町村における風水害への対応状況と
気象庁による支援への評価に関するアンケート

報告書

市区町村における風水害への対応状況と 気象庁による支援への評価に関するアンケート

調査報告書 目次

. 調査概要

1 . 調査目的	3
2 . 調査概要	3
3 . 集計・分析の記述について	4

. 調査結果

1 . 単純集計結果	5
(1) 対象機関属性	5
(2) 警戒レベル4以上の避難情報を最後に発令した時期	6
(3) 大雨・台風等の風水害により災害救助法が最後に適用された時期	8
(4) 避難指示を発令する区域についての地域防災計画等への記載状況	10
(5) 避難情報の発令基準を満たした場合の対応	18
(6) 計画的に教育・研修を実施する対象職員	24
(7) 職員を非常参集したり非常配備態勢をとったりした経験の有無	26
(8) 地域防災計画等に基づく防災対応に関する困難な経験	28
(9) 防災気象情報の収集・分析に関する困難な経験	30
(10) 気象台からあれば役立つと思う支援	32
(11) 気象台が行っている各種取り組みの評価	34
(12) 気象台から行った「ホットライン」の頻度	49
(13) 気象台から行った「ホットライン」の改善してほしい点	54
(14) JETT (気象庁防災対応支援チーム) 派遣の受入れ経験の有無	58
(15) JETT (気象庁防災対応支援チーム) による支援の評価	60
(16) JETT (気象庁防災対応支援チーム) による支援を受けて感じた点	62
(17) 今後の JETT (気象庁防災対応支援チーム) 派遣の受入れへの対応方針	68
(18) 気象防災アドバイザーの活用の意向	70
(19) 気象防災アドバイザーに期待すること	73
(20) 気象防災アドバイザーを活用できていない(しない)理由	75
(21) 民間事業者が有償で提供しているサービスの利用状況	77
(22) 民間事業者から有償で提供を受けているサービスの内容	79

．調査結果のまとめ

1．市区町村が風水害への対応で感じている課題と 風水害の際の气象台からの支援のニーズ	81
1-1．市区町村が風水害への対応で感じている課題	81
1-2．風水害の際の气象台からの支援のニーズ	82
2．气象台による地域防災支援の取り組みに対する評価とニーズ	83
2-1．气象台が行っている各種取り組みに対する評価とニーズ	83
2-1-1．气象台が行っている各種取り組みの評価	83
2-1-2．气象台が行っている各種取り組みに対するニーズ	83
2-2．气象台から行った「ホットライン」に対する評価とニーズ	84
2-2-1．气象台から行った「ホットライン」の評価	84
2-2-2．气象台から行った「ホットライン」に対するニーズ	85
2-3．JETT(気象庁防災対応支援チーム)による支援に対する評価	86
2-4．気象防災アドバイザーのニーズ	88

．巻末資料

調査票

. 調査概要

I. 調査概要

1. 調査目的

気象台が取り組む地域防災支援の取組に関し、地方公共団体における効果や課題等を把握し、今後の地域防災支援業務の改善に資することを目的とした。

2. 調査概要

1) 調査対象

全国の市区町村の防災担当部局（1,741 機関）

2) 調査方法

インターネット上の WEB 画面に用意した質問に回答する方式(WEB 調査)

3) 有効回収数

有効回収数：1,424 サンプル

回収数は以下の通りである。

都道府県	回収数	都道府県	回収数	都道府県	回収数	都道府県	回収数	都道府県	回収数
北海道	156	埼玉県	62	岐阜県	37	鳥取県	15	佐賀県	17
青森県	33	千葉県	44	静岡県	26	島根県	13	長崎県	16
岩手県	28	東京都	48	愛知県	51	岡山県	21	熊本県	39
宮城県	26	神奈川県	18	三重県	26	広島県	20	大分県	16
秋田県	22	新潟県	22	滋賀県	18	山口県	14	宮崎県	19
山形県	30	富山県	15	京都府	21	徳島県	19	鹿児島県	33
福島県	42	石川県	16	大阪府	33	香川県	16	沖縄県	17
茨城県	40	福井県	17	兵庫県	35	愛媛県	18	合計	1,424
栃木県	22	山梨県	22	奈良県	26	高知県	31		
群馬県	27	長野県	59	和歌山県	22	福岡県	56		

◆地方予報区に該当する都道府県

地方予報区	都道府県									
北海道地方	北海道									
東北地方	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県				
関東甲信地方	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	山梨県	長野県	
東海地方	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県						
北陸地方	新潟県	富山県	石川県	福井県						
近畿地方	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県				
中国地方	鳥取県	島根県	岡山県	広島県						
四国地方	徳島県	香川県	愛媛県	高知県						
九州北部地方	山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県				
九州南部・奄美地方	宮崎県	鹿児島県								
沖縄地方	沖縄県									

4) 実施期間

令和5年1月5日（木）～令和5年1月19日（木）

I. 調査概要

3. 集計・分析の記述について

- 図表中のnは回答者の数（母数）であり、回答比率（%）算出の基数を表している。
- 回答比率（%）は、小数点第2位を四捨五入して、小数点第1位までを表示している。このため、回答比率の合計が100%にならないことがある。
- 2つ以上の複数回答ができる設問では、回答比率の合計は原則として100%を超える。

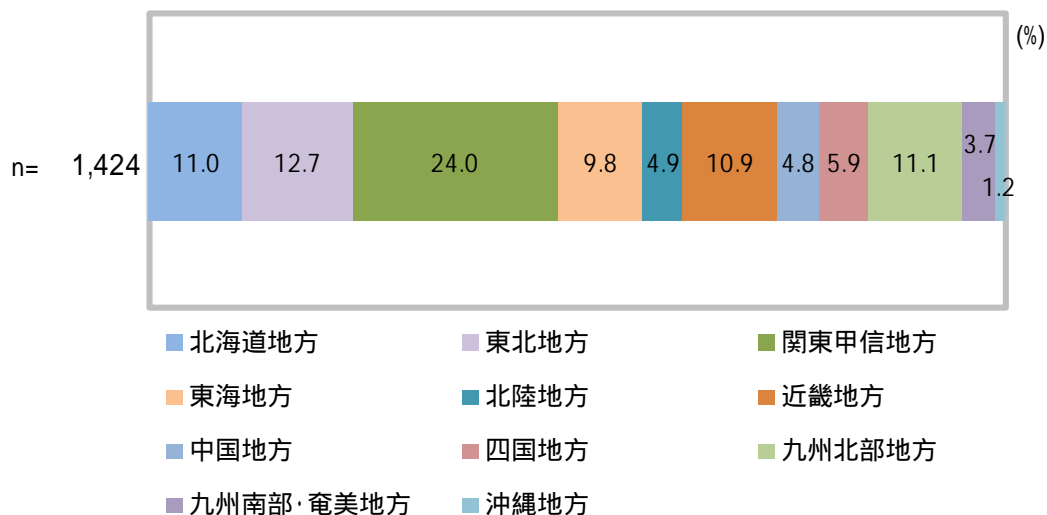
. 調查結果

・調査結果

1 . 単純集計結果

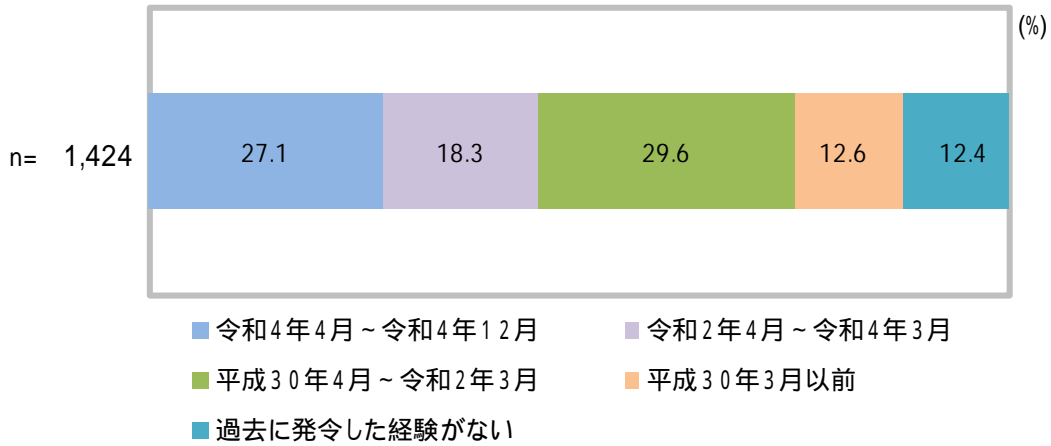
(1) 対象機関属性

所在地

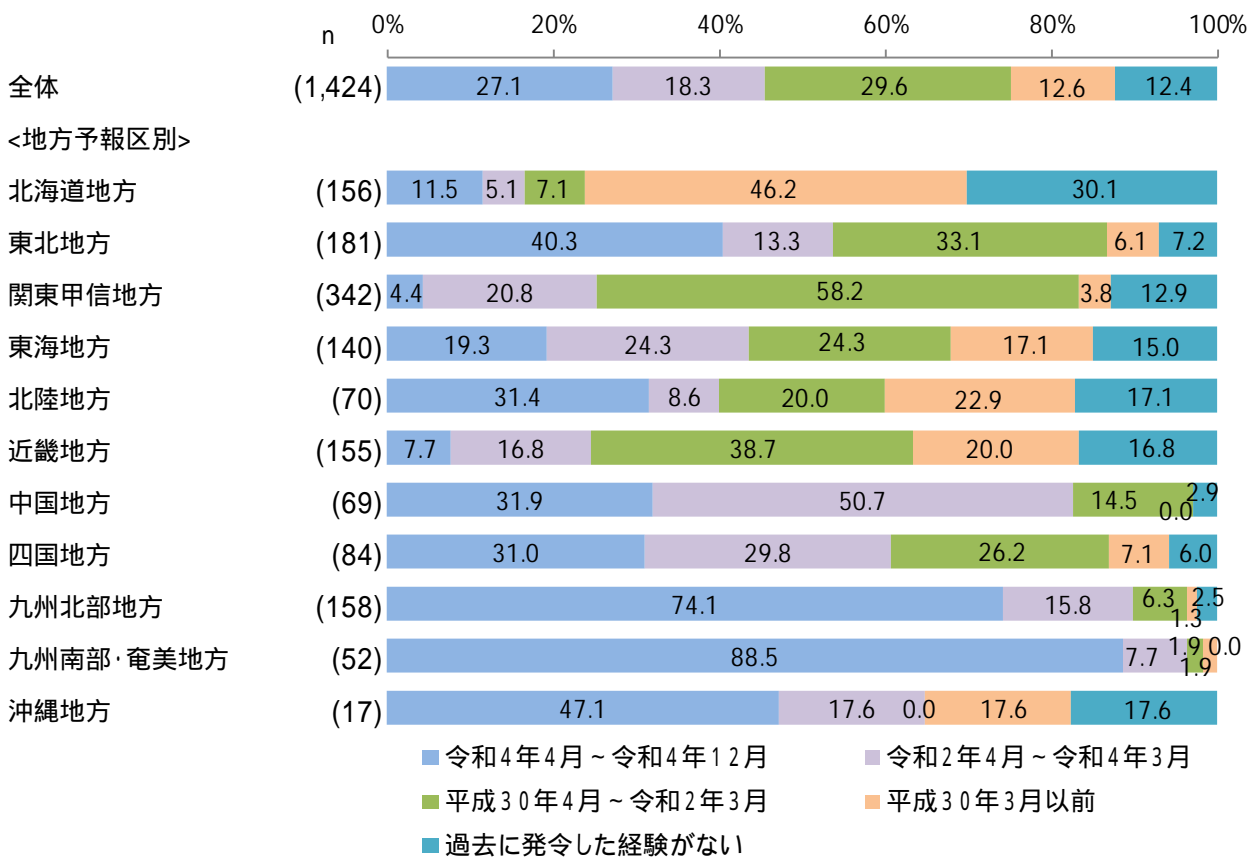


(2) 警戒レベル4以上の避難情報を最後に発令した時期

問1 貴市区町村において、大雨・台風等の風水害により、警戒レベル4以上の避難情報を最後に発令したのはいつですか。



警戒レベル4以上の避難情報を最後に発令した時期については、「平成30年4月～令和2年3月」(29.6%)が最も多く、次いで「令和4年4月～令和4年12月」(27.1%)、「令和2年4月～令和4年3月」(18.3%)、「平成30年3月以前」(12.6%)、「過去に発令した経験がない」(12.4%)となっている。



n=29 以下は参考値

地方予報区別でみると、九州南部・奄美地方、九州北部地方では「令和4年4月～令和4年12月」(88.5%、74.1%)が他の地方予報区に比べて多い。

(参考)

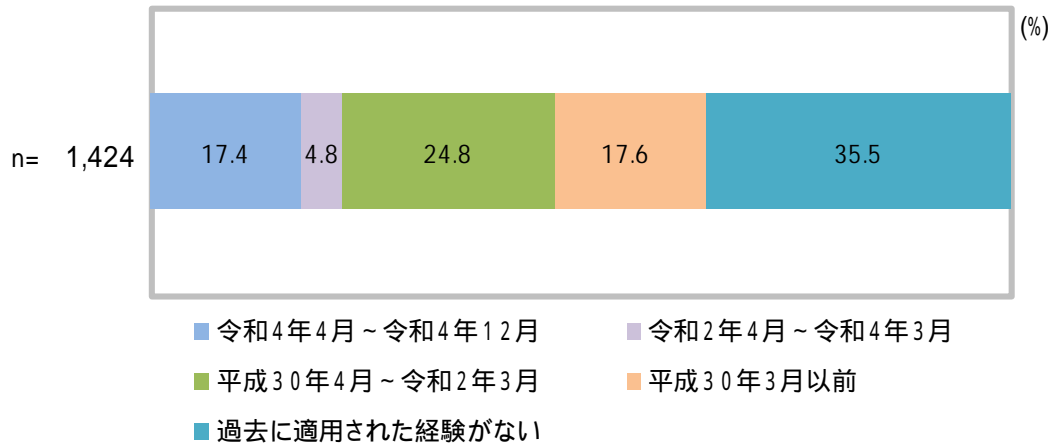
* は全体 + 10ポイント以上、 は + 5ポイント以上、 は - 10ポイント以下、 は - 5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

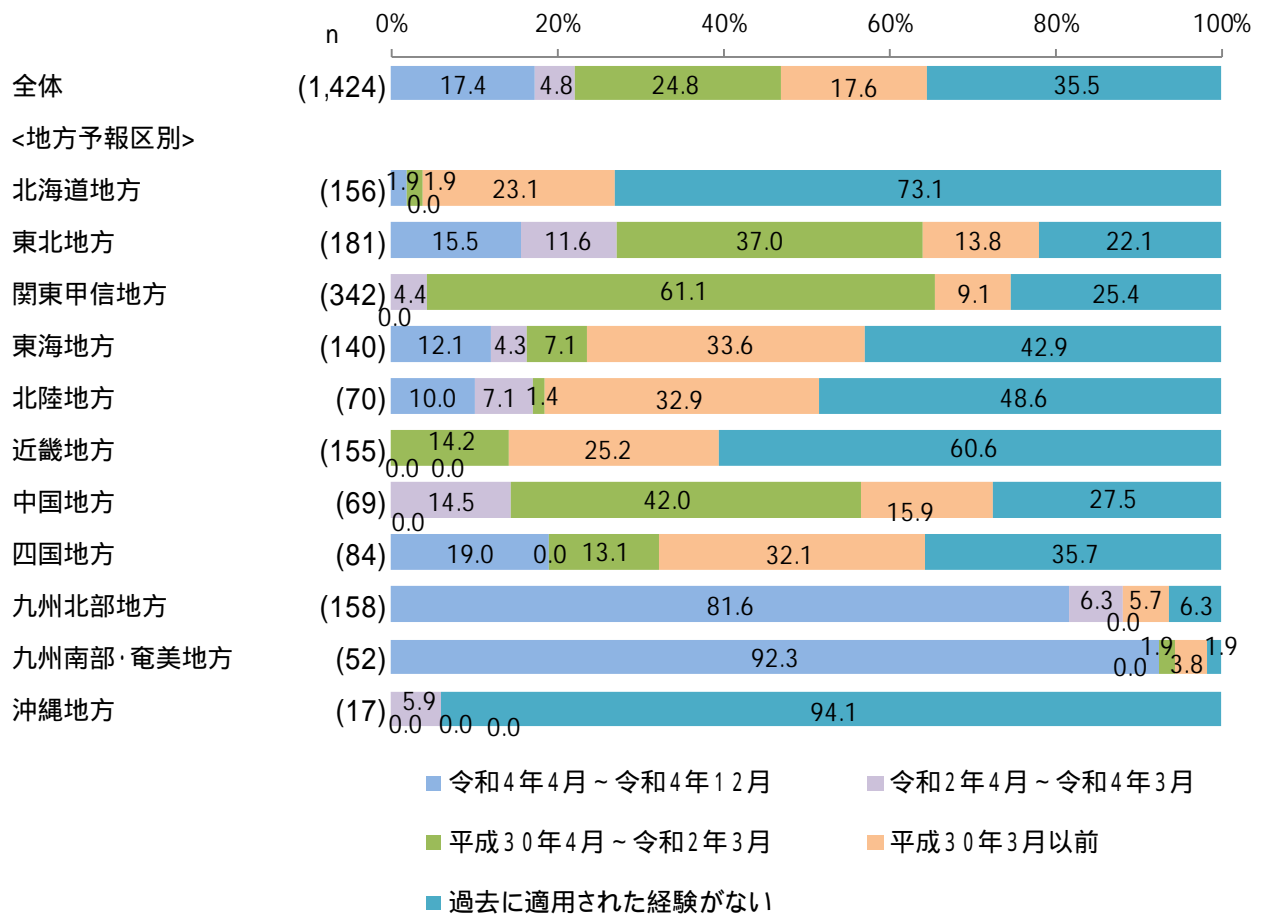
		(%)					
		令和4年4月1月2月	令和2年4月3月	平成30年3月4月	平成30年3月以前	が過去に発令した経験	
n							
全体	1424	27.1	18.3	29.6	12.6	12.4	
都道府県別	北海道	156	11.5	5.1	7.1	46.2	30.1
	青森県	33	72.7	12.1	-	12.1	3.0
	岩手県	28	32.1	14.3	42.9	7.1	3.6
	宮城県	26	34.6	7.7	53.8	-	3.8
	秋田県	22	59.1	4.5	13.6	9.1	13.6
	山形県	30	46.7	40.0	10.0	-	3.3
	福島県	42	9.5	2.4	66.7	7.1	14.3
	茨城県	40	2.5	5.0	65.0	7.5	20.0
	栃木県	22	9.1	9.1	81.8	-	-
	群馬県	27	-	3.7	77.8	-	18.5
	埼玉県	62	4.8	-	77.4	1.6	16.1
	千葉県	44	4.5	56.8	29.5	-	9.1
	東京都	48	6.3	6.3	60.4	2.1	25.0
	神奈川県	18	16.7	50.0	22.2	11.1	-
	新潟県	22	22.7	9.1	31.8	31.8	4.5
	富山県	15	6.7	13.3	13.3	20.0	46.7
	石川県	16	56.3	12.5	12.5	6.3	12.5
	福井県	17	41.2	-	17.6	29.4	11.8
	山梨県	22	-	13.6	81.8	-	4.5
	長野県	59	1.7	44.1	37.3	10.2	6.8
	岐阜県	37	10.8	43.2	16.2	18.9	10.8
	静岡県	26	42.3	34.6	19.2	-	3.8
	愛知県	51	9.8	15.7	21.6	21.6	31.4
	三重県	26	26.9	3.8	46.2	23.1	-
	滋賀県	18	5.6	33.3	22.2	27.8	11.1
	京都府	21	14.3	-	57.1	14.3	14.3
	大阪府	33	6.1	27.3	39.4	12.1	15.2
	兵庫県	35	2.9	17.1	48.6	11.4	20.0
	奈良県	26	3.8	11.5	19.2	34.6	30.8
	和歌山県	22	18.2	9.1	40.9	27.3	4.5
	鳥取県	15	-	73.3	20.0	-	6.7
	島根県	13	38.5	61.5	-	-	-
	岡山県	21	23.8	38.1	33.3	-	4.8
	広島県	20	60.0	40.0	-	-	-
	山口県	14	57.1	14.3	7.1	7.1	14.3
	徳島県	19	47.4	15.8	15.8	10.5	10.5
	香川県	16	50.0	12.5	37.5	-	-
	愛媛県	18	22.2	50.0	16.7	5.6	5.6
	高知県	31	16.1	35.5	32.3	9.7	6.5
	福岡県	56	55.4	28.6	14.3	-	1.8
	佐賀県	17	88.2	11.8	-	-	-
	長崎県	16	93.8	-	6.3	-	-
	熊本県	39	84.6	12.8	-	2.6	-
	大分県	16	93.8	-	-	-	6.3
	宮崎県	19	100.0	-	-	-	-
	鹿児島県	33	81.8	12.1	3.0	3.0	-
	沖縄県	17	47.1	17.6	-	17.6	17.6

(3) 大雨・台風等の風水害により災害救助法が最後に適用された時期

問2 貴市区町村に、大雨・台風等の風水害により、災害救助法が最後に適用されたのはいつですか。



大雨・台風等の風水害により災害救助法が最後に適用された時期については、「過去に適用された経験がない」(35.5%)が最も多く、次いで「平成30年4月～令和2年3月」(24.8%)、「平成30年3月以前」(17.6%)、「令和4年4月～令和4年12月」(17.4%)、「令和2年4月～令和4年3月」(4.8%)となっている。



n=29 以下は参考値

地方予報区別でみると、九州北部地方、九州南部・奄美地方では「令和4年4月～令和4年12月」(81.6%、92.3%)が他の地方予報区に比べて多い。

(参考)

* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

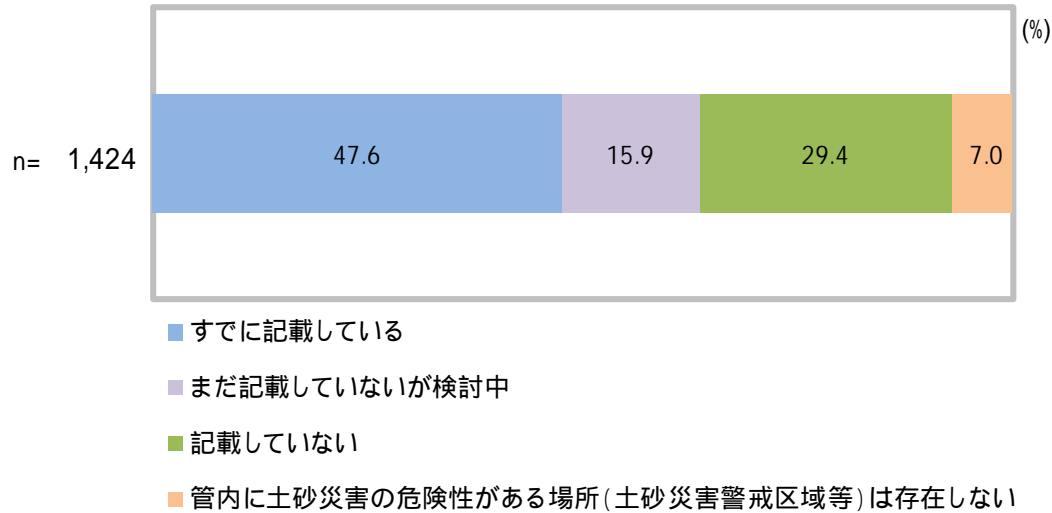
* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		(%)					
		令和4年4月1月2月	令和2年4月3月	平成30年3月4月	平成30年3月以前	過去に適用された経	
n							
全体	1424	17.4	4.8	24.8	17.6	35.5	
都道府県別	北海道	156	1.9	-	1.9	23.1	73.1
	青森県	33	39.4	9.1	-	18.2	33.3
	岩手県	28	-	-	46.4	25.0	28.6
	宮城県	26	11.5	3.8	80.8	3.8	-
	秋田県	22	-	4.5	-	31.8	63.6
	山形県	30	30.0	40.0	6.7	3.3	20.0
	福島県	42	7.1	9.5	73.8	7.1	2.4
	茨城県	40	-	2.5	65.0	7.5	25.0
	栃木県	22	-	-	77.3	18.2	4.5
	群馬県	27	-	-	77.8	-	22.2
	埼玉県	62	-	-	66.1	3.2	30.6
	千葉県	44	-	-	72.7	6.8	20.5
	東京都	48	-	2.1	52.1	6.3	39.6
	神奈川県	18	-	-	55.6	16.7	27.8
	新潟県	22	9.1	9.1	4.5	50.0	27.3
	富山県	15	-	6.7	-	6.7	86.7
	石川県	16	25.0	-	-	25.0	50.0
	福井県	17	5.9	11.8	-	41.2	41.2
	山梨県	22	-	-	59.1	13.6	27.3
	長野県	59	-	22.0	40.7	16.9	20.3
	岐阜県	37	-	16.2	18.9	24.3	40.5
	静岡県	26	65.4	-	7.7	15.4	11.5
	愛知県	51	-	-	2.0	43.1	54.9
	三重県	26	-	-	-	46.2	53.8
	滋賀県	18	-	-	-	5.6	94.4
	京都府	21	-	-	38.1	4.8	57.1
	大阪府	33	-	-	12.1	18.2	69.7
	兵庫県	35	-	-	28.6	42.9	28.6
	奈良県	26	-	-	-	30.8	69.2
	和歌山県	22	-	-	-	36.4	63.6
	鳥取県	15	-	13.3	26.7	20.0	40.0
	島根県	13	-	38.5	-	23.1	38.5
	岡山県	21	-	-	57.1	19.0	23.8
	広島県	20	-	15.0	65.0	5.0	15.0
	山口県	14	85.7	-	-	14.3	-
	徳島県	19	-	-	-	36.8	63.2
	香川県	16	-	-	6.3	62.5	31.3
	愛媛県	18	-	-	44.4	16.7	38.9
	高知県	31	51.6	-	6.5	22.6	19.4
	福岡県	56	78.6	-	-	8.9	12.5
	佐賀県	17	100.0	-	-	-	-
	長崎県	16	100.0	-	-	-	-
	熊本県	39	61.5	25.6	-	5.1	7.7
	大分県	16	100.0	-	-	-	-
	宮崎県	19	94.7	-	-	5.3	-
	鹿児島県	33	90.9	-	3.0	3.0	3.0
	沖縄県	17	-	5.9	-	-	94.1

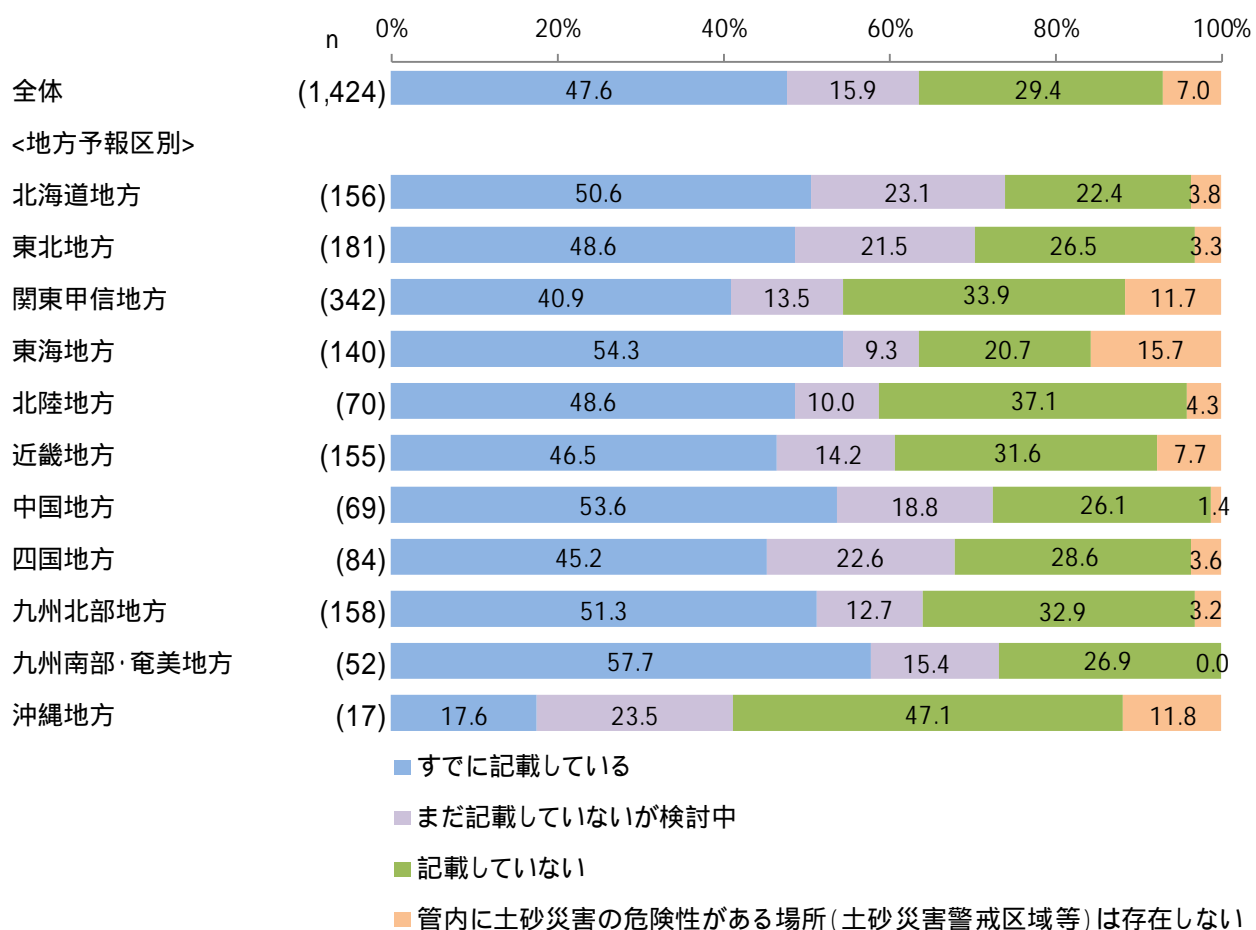
(4) 避難指示を発令する区域についての地域防災計画等への記載状況

問3 次のそれぞれの場合に、避難指示(警戒レベル4)を発令する区域について、地域防災計画等に記載していますか。

【土砂キキクルの紫メッシュ(警戒レベル4相当)が出現したとき】



土砂キキクルの紫メッシュ(警戒レベル4相当)が出現したときに避難指示(警戒レベル4)を発令する区域についての地域防災計画等への記載状況については、「すでに記載している」(47.6%)が最も多く、次いで「記載していない」(29.4%)、「まだ記載していないが検討中」(15.9%)、「管内に土砂災害の危険性がある場所(土砂災害警戒区域等)は存在しない」(7.0%)となっている。



n=29 以下は参考値

地方予報区別でみると、九州南部・奄美地方では「すでに記載している」(57.7%)が他の地方予報区に比べて多い。

調査結果

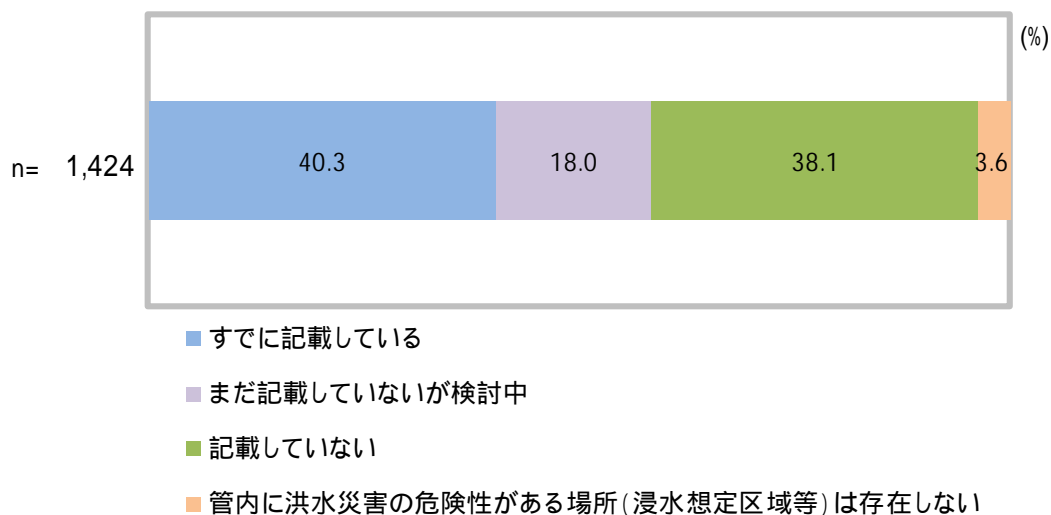
(参考)

* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

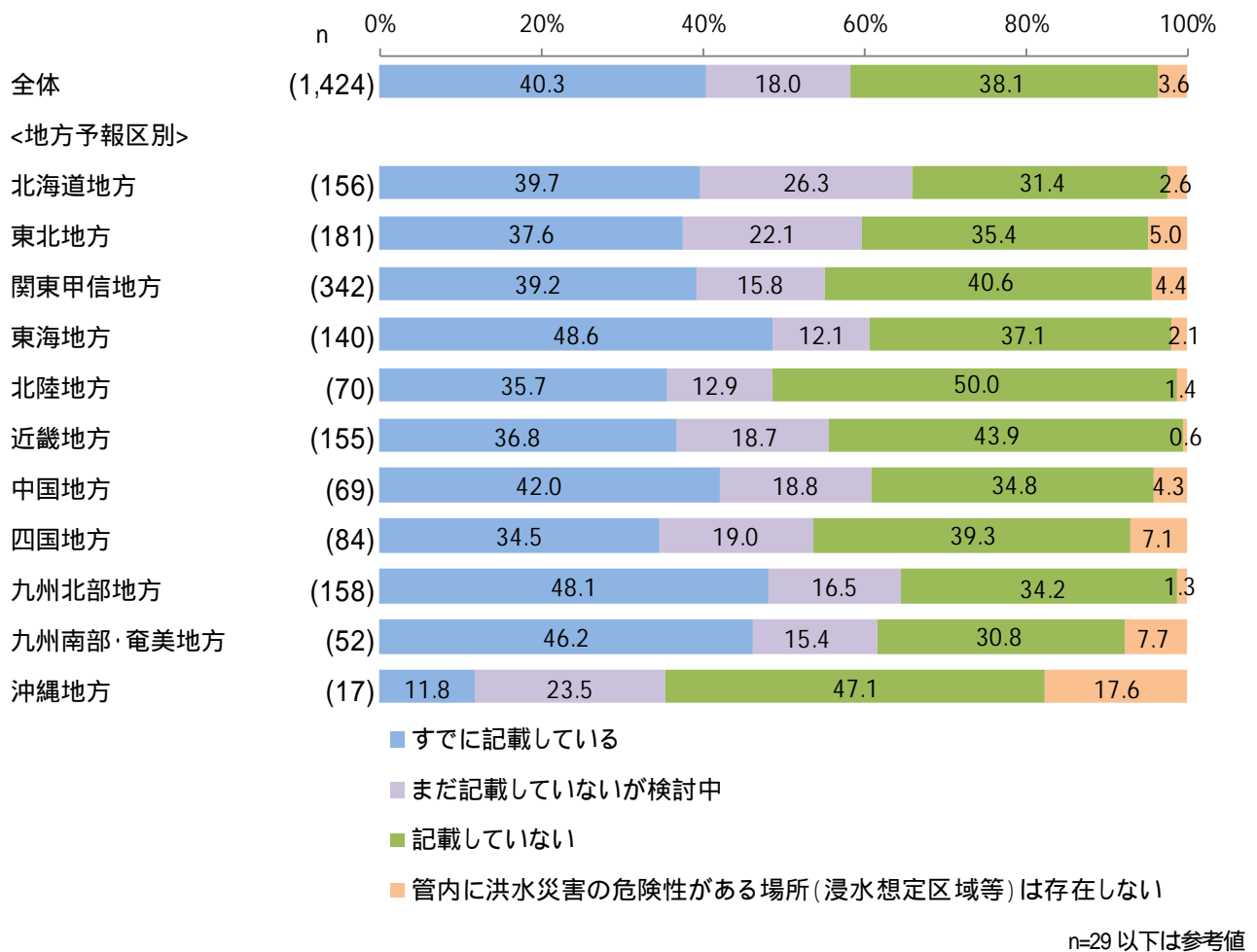
		(%)				
		n	すでに記載している	がまだ記載していない が検討中	記載していない	は砂管内に 砂災害危険区域等 の土砂災害の 危険がある場所 の警戒区域等 (土砂災害の危険 がある場所の 警戒区域等)
全体		1424	47.6	15.9	29.4	7.0
都道府県別	北海道	156	50.6	23.1	22.4	3.8
	青森県	33	39.4	30.3	21.2	9.1
	岩手県	28	57.1	14.3	28.6	-
	宮城県	26	46.2	11.5	42.3	-
	秋田県	22	45.5	31.8	18.2	4.5
	山形県	30	56.7	16.7	23.3	3.3
	福島県	42	47.6	23.8	26.2	2.4
	茨城県	40	60.0	10.0	22.5	7.5
	栃木県	22	50.0	4.5	36.4	9.1
	群馬県	27	14.8	14.8	44.4	25.9
	埼玉県	62	25.8	11.3	32.3	30.6
	千葉県	44	36.4	15.9	40.9	6.8
	東京都	48	47.9	14.6	27.1	10.4
	神奈川県	18	55.6	11.1	33.3	-
	新潟県	22	31.8	13.6	50.0	4.5
	富山県	15	46.7	13.3	33.3	6.7
	石川県	16	62.5	-	31.3	6.3
	福井県	17	58.8	11.8	29.4	-
	山梨県	22	36.4	13.6	45.5	4.5
	長野県	59	47.5	18.6	33.9	-
	岐阜県	37	56.8	8.1	21.6	13.5
	静岡県	26	80.8	7.7	11.5	-
	愛知県	51	49.0	9.8	11.8	29.4
	三重県	26	34.6	11.5	46.2	7.7
	滋賀県	18	44.4	11.1	38.9	5.6
	京都府	21	47.6	4.8	47.6	-
	大阪府	33	51.5	12.1	21.2	15.2
	兵庫県	35	57.1	11.4	28.6	2.9
	奈良県	26	23.1	30.8	26.9	19.2
	和歌山県	22	50.0	13.6	36.4	-
	鳥取県	15	40.0	20.0	33.3	6.7
	島根県	13	61.5	7.7	30.8	-
	岡山県	21	52.4	23.8	23.8	-
	広島県	20	60.0	20.0	20.0	-
	山口県	14	57.1	-	42.9	-
	徳島県	19	26.3	15.8	47.4	10.5
	香川県	16	50.0	50.0	-	-
	愛媛県	18	66.7	5.6	22.2	5.6
	高知県	31	41.9	22.6	35.5	-
	福岡県	56	46.4	12.5	32.1	8.9
	佐賀県	17	41.2	-	58.8	-
	長崎県	16	81.3	-	18.8	-
	熊本県	39	59.0	20.5	20.5	-
	大分県	16	25.0	31.3	43.8	-
	宮崎県	19	52.6	21.1	26.3	-
	鹿児島県	33	60.6	12.1	27.3	-
	沖縄県	17	17.6	23.5	47.1	11.8

【洪水キキクルの紫メッシュ（警戒レベル4相当）が出現したとき】



洪水キキクルの紫メッシュ（警戒レベル4相当）が出現したときに避難指示（警戒レベル4）を発令する区域についての地域防災計画等への記載状況については、「すでに記載している」（40.3%）が最も多く、次いで「記載していない」（38.1%）、「まだ記載していないが検討中」（18.0%）、「管内に洪水災害の危険性がある場所（浸水想定区域等）は存在しない」（3.6%）となっている。

・調査結果



地方予報区別でみると、東海地方では「すでに記載している」(48.6%)が他の地方予報区に比べて多い。

(参考)

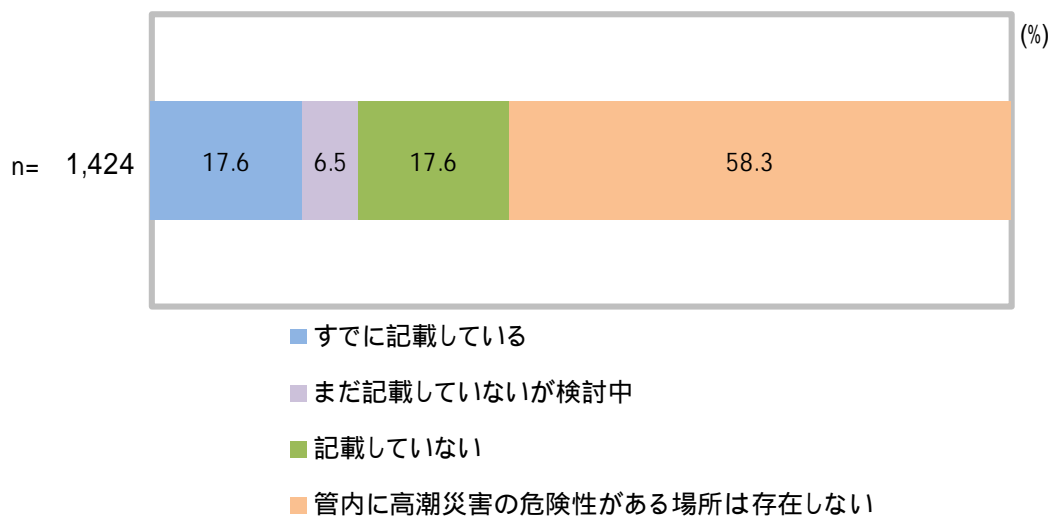
* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

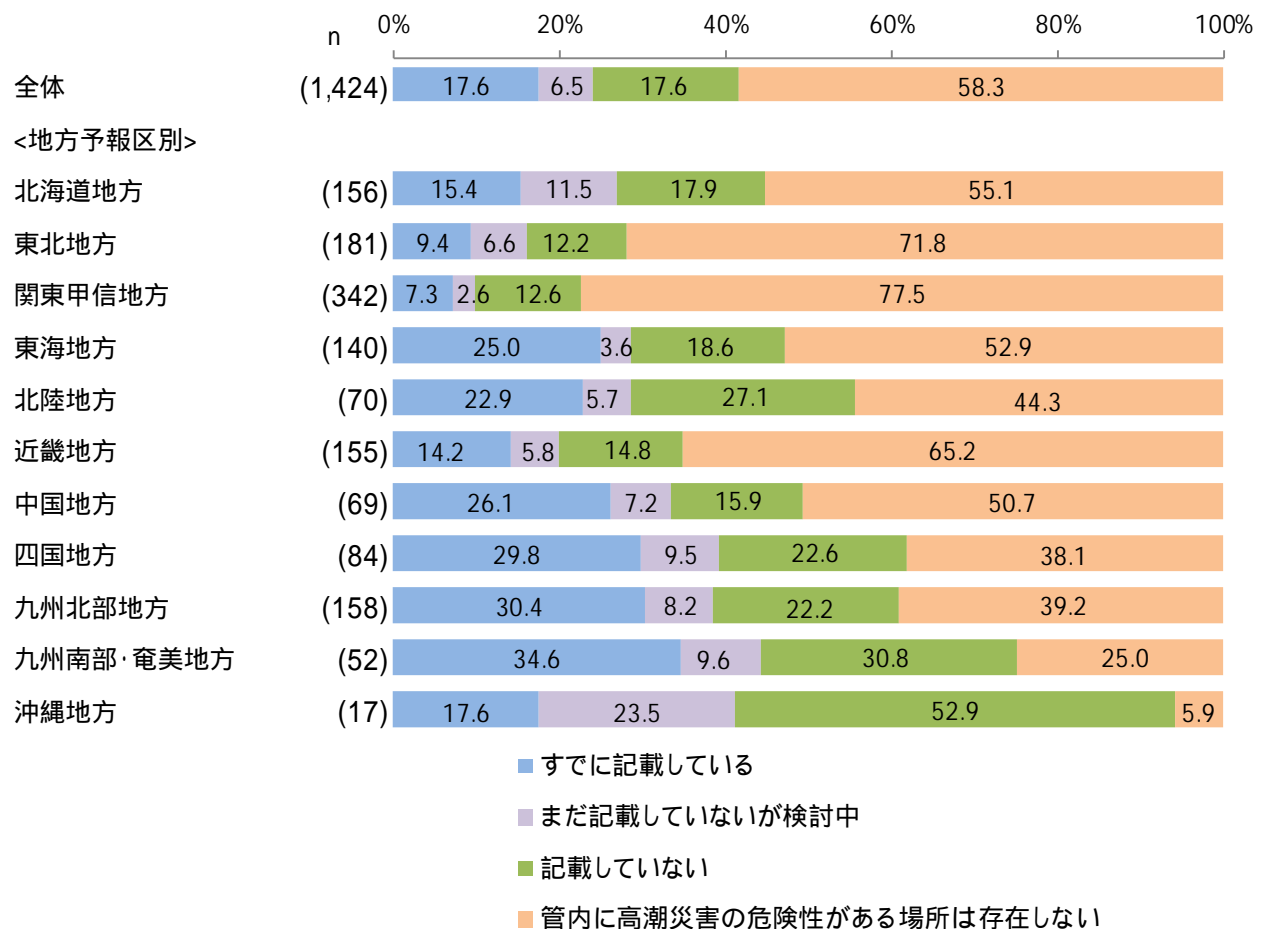
		(%)				
		n	すでに記載している	がまだ検討中記載していない	記載していない	在りない区域等)は(管轄内に洪水災害の危険がある場所)は浸
全体		1424	40.3	18.0	38.1	3.6
都道府県別	北海道	156	39.7	26.3	31.4	2.6
	青森県	33	39.4	30.3	30.3	-
	岩手県	28	42.9	14.3	39.3	3.6
	宮城県	26	42.3	11.5	42.3	3.8
	秋田県	22	31.8	31.8	22.7	13.6
	山形県	30	46.7	20.0	30.0	3.3
	福島県	42	26.2	23.8	42.9	7.1
	茨城県	40	55.0	10.0	30.0	5.0
	栃木県	22	50.0	9.1	40.9	-
	群馬県	27	22.2	22.2	55.6	-
	埼玉県	62	35.5	17.7	43.5	3.2
	千葉県	44	34.1	15.9	47.7	2.3
	東京都	48	39.6	10.4	41.7	8.3
	神奈川県	18	55.6	11.1	27.8	5.6
	新潟県	22	18.2	18.2	59.1	4.5
	富山県	15	26.7	13.3	60.0	-
	石川県	16	50.0	6.3	43.8	-
	福井県	17	52.9	11.8	35.3	-
	山梨県	22	18.2	18.2	54.5	9.1
	長野県	59	42.4	22.0	30.5	5.1
	岐阜県	37	54.1	10.8	32.4	2.7
	静岡県	26	61.5	15.4	19.2	3.8
	愛知県	51	49.0	7.8	41.2	2.0
	三重県	26	26.9	19.2	53.8	-
	滋賀県	18	27.8	22.2	50.0	-
	京都府	21	33.3	9.5	57.1	-
	大阪府	33	36.4	18.2	45.5	-
	兵庫県	35	51.4	17.1	31.4	-
	奈良県	26	19.2	30.8	46.2	3.8
	和歌山県	22	45.5	13.6	40.9	-
	鳥取県	15	33.3	20.0	46.7	-
	島根県	13	46.2	7.7	38.5	7.7
	岡山県	21	42.9	19.0	33.3	4.8
	広島県	20	45.0	25.0	25.0	5.0
	山口県	14	42.9	-	50.0	7.1
	徳島県	19	26.3	21.1	42.1	10.5
	香川県	16	50.0	43.8	-	6.3
	愛媛県	18	33.3	11.1	50.0	5.6
	高知県	31	32.3	9.7	51.6	6.5
	福岡県	56	42.9	19.6	35.7	1.8
	佐賀県	17	41.2	-	58.8	-
	長崎県	16	81.3	-	18.8	-
	熊本県	39	56.4	25.6	17.9	-
	大分県	16	25.0	31.3	43.8	-
	宮崎県	19	36.8	21.1	36.8	5.3
	鹿児島県	33	51.5	12.1	27.3	9.1
	沖縄県	17	11.8	23.5	47.1	17.6

・調査結果

【高潮警報（警戒レベル4相当）が発表されたとき】



高潮警報（警戒レベル4相当）が発表されたときに避難指示（警戒レベル4）を発令する区域についての地域防災計画等への記載状況については、「管内に高潮災害の危険性がある場所が存在しない」（58.3%）が最も多く、次いで「すでに記載している」と「記載していない」（17.6%）、「まだ記載していないが検討中」（6.5%）となっている。



地方予報区別でみると、九州南部・奄美地方では「すでに記載している」（34.6%）が他の地方予報区に比べて多い。

(参考)

* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

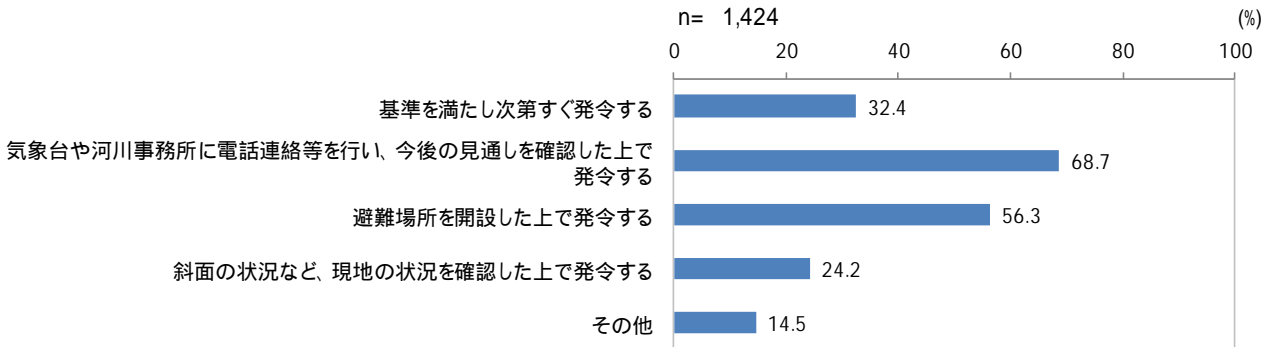
* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		(%)				
		n	すでに記載している	がまだ検討中記載していない	記載していない	在險管内に高潮災害の危険がある場所の存在
全体		1424	17.6	6.5	17.6	58.3
都道府県別	北海道	156	15.4	11.5	17.9	55.1
	青森県	33	15.2	12.1	15.2	57.6
	岩手県	28	14.3	7.1	10.7	67.9
	宮城県	26	3.8	7.7	19.2	69.2
	秋田県	22	13.6	9.1	9.1	68.2
	山形県	30	3.3	-	6.7	90.0
	福島県	42	7.1	4.8	11.9	76.2
	茨城県	40	7.5	-	12.5	80.0
	栃木県	22	-	-	-	100.0
	群馬県	27	-	-	11.1	88.9
	埼玉県	62	-	-	8.1	91.9
	千葉県	44	20.5	6.8	27.3	45.5
	東京都	48	16.7	2.1	20.8	60.4
	神奈川県	18	27.8	11.1	16.7	44.4
	新潟県	22	4.5	4.5	27.3	63.6
	富山県	15	20.0	13.3	26.7	40.0
	石川県	16	31.3	-	37.5	31.3
	福井県	17	41.2	5.9	17.6	35.3
	山梨県	22	-	4.5	4.5	90.9
	長野県	59	-	3.4	6.8	89.8
	岐阜県	37	-	-	13.5	86.5
	静岡県	26	30.8	3.8	7.7	57.7
	愛知県	51	37.3	3.9	23.5	35.3
	三重県	26	30.8	7.7	26.9	34.6
	滋賀県	18	-	-	-	100.0
	京都府	21	9.5	-	23.8	66.7
	大阪府	33	18.2	3.0	15.2	63.6
	兵庫県	35	20.0	14.3	14.3	51.4
	奈良県	26	-	3.8	15.4	80.8
	和歌山県	22	31.8	9.1	18.2	40.9
	鳥取県	15	-	13.3	26.7	60.0
	島根県	13	23.1	7.7	30.8	38.5
	岡山県	21	23.8	-	14.3	61.9
	広島県	20	50.0	10.0	-	40.0
	山口県	14	42.9	7.1	50.0	-
	徳島県	19	10.5	-	26.3	63.2
	香川県	16	43.8	25.0	-	31.3
	愛媛県	18	38.9	11.1	27.8	22.2
	高知県	31	29.0	6.5	29.0	35.5
	福岡県	56	21.4	8.9	23.2	46.4
	佐賀県	17	35.3	5.9	41.2	17.6
	長崎県	16	75.0	6.3	12.5	6.3
	熊本県	39	25.6	-	5.1	69.2
	大分県	16	12.5	31.3	25.0	31.3
	宮崎県	19	31.6	-	15.8	52.6
	鹿児島県	33	36.4	15.2	39.4	9.1
	沖縄県	17	17.6	23.5	52.9	5.9

(5) 避難情報の発令基準を満たした場合の対応

問4 次のそれぞれの災害について、避難情報の発令基準を満たした場合、どのような対応を行いますか。当てはまるものをいくつでも選んでください。

【土砂災害】



土砂災害に係る避難情報の発令基準を満たした場合の対応については、「气象台や河川事務所に電話連絡等を行い、今後の見通しを確認した上で発令する」(68.7%)が最も多く、次いで「避難場所を開設した上で発令する」(56.3%)、「基準を満たし次第すぐ発令する」(32.4%)、「斜面の状況など、現地の状況を確認した上で発令する」(24.2%)となっている。

なお、「その他」の中には、管内に土砂災害の危険性がある場所(土砂災害警戒区域等)は存在しない市区町村の回答が含まれている。

* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下
 * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		(%)					
	n	発令基準を満たし次第すぐ	上後電気で話象発見連絡等河川確認し、今	で避難場所を開設した上	発令状況を確認した上で	斜面の状況を現地で	その他
全体	1424	32.4	68.7	56.3	24.2	14.5	
地方予報区別	北海道地方	156	32.7	80.8	42.3	44.2	6.4
	東北地方	181	25.4	75.7	58.6	28.2	11.6
	関東甲信地方	342	31.6	62.9	53.2	25.4	19.9
	東海地方	140	32.1	58.6	55.7	15.0	22.9
	北陸地方	70	20.0	84.3	65.7	38.6	12.9
	近畿地方	155	29.7	64.5	60.0	21.9	14.8
	中国地方	69	34.8	75.4	56.5	10.1	13.0
	四国地方	84	41.7	69.0	58.3	17.9	14.3
	九州北部地方	158	39.9	67.7	60.8	17.1	8.2
	九州南部・奄美地方	52	48.1	67.3	61.5	13.5	13.5
沖縄地方	17	23.5	41.2	82.4	-	11.8	

地方予報区別でみると、九州南部・奄美地方は「基準を満たし次第すぐ発令する」(48.1%)が他の地方予報区に比べて多く、北海道地方、北陸地方では「斜面の状況など、現地の状況を確認した上で発令する」(80.8%、84.3%)が他の地方予報区に比べて多い。

(参考)

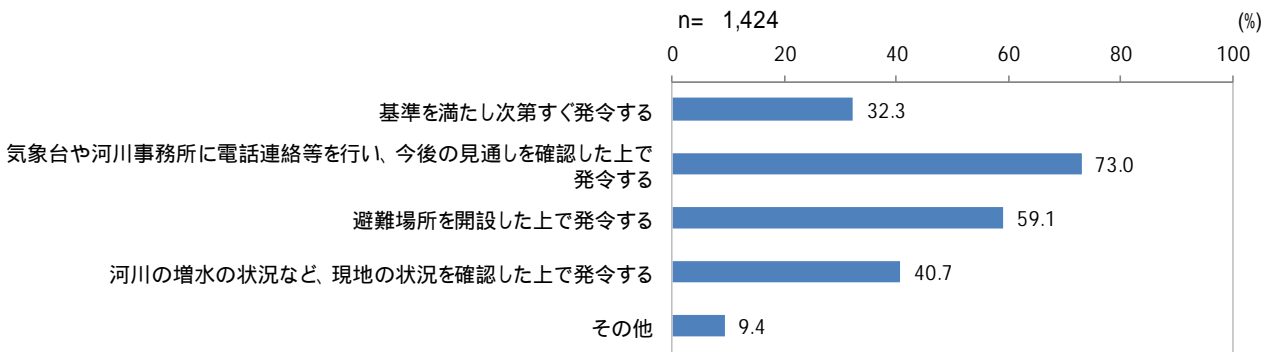
* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

							(%)
		く 基 準 を 満 た し 次 第 す	る 確 認 し た 後 上 で 発 令 す	い 、 電 話 や 河 川 等 を 行 務 所	上 避 で 難 場 所 を 開 設 し た	上 地 斜 面 の 状 況 を 確 認 し た 現	そ の 他
n							
全体	1424	32.4	68.7	56.3	24.2	14.5	
都 道 府 県 別	北海道	156	32.7	80.8	42.3	44.2	6.4
	青森県	33	24.2	75.8	54.5	27.3	18.2
	岩手県	28	17.9	78.6	60.7	35.7	17.9
	宮城県	26	30.8	73.1	50.0	30.8	23.1
	秋田県	22	27.3	68.2	63.6	31.8	9.1
	山形県	30	26.7	73.3	56.7	13.3	3.3
	福島県	42	26.2	81.0	64.3	31.0	2.4
	茨城県	40	25.0	72.5	57.5	27.5	20.0
	栃木県	22	45.5	77.3	59.1	22.7	13.6
	群馬県	27	11.1	51.9	33.3	11.1	37.0
	埼玉県	62	24.2	53.2	46.8	25.8	40.3
	千葉県	44	56.8	52.3	59.1	13.6	11.4
	東京都	48	35.4	50.0	47.9	20.8	18.8
	神奈川県	18	27.8	83.3	61.1	22.2	5.6
	新潟県	22	18.2	77.3	72.7	27.3	13.6
	富山県	15	-	86.7	60.0	40.0	13.3
	石川県	16	37.5	87.5	62.5	43.8	12.5
	福井県	17	23.5	88.2	64.7	47.1	11.8
	山梨県	22	22.7	63.6	63.6	22.7	9.1
	長野県	59	30.5	78.0	57.6	45.8	8.5
	岐阜県	37	27.0	73.0	62.2	10.8	16.2
	静岡県	26	38.5	76.9	76.9	19.2	7.7
	愛知県	51	31.4	37.3	39.2	9.8	39.2
	三重県	26	34.6	61.5	57.7	26.9	15.4
	滋賀県	18	22.2	72.2	72.2	27.8	11.1
	京都府	21	38.1	57.1	76.2	9.5	9.5
	大阪府	33	33.3	54.5	75.8	12.1	21.2
	兵庫県	35	37.1	80.0	37.1	25.7	20.0
	奈良県	26	7.7	53.8	42.3	34.6	19.2
	和歌山県	22	36.4	68.2	68.2	22.7	-
	鳥取県	15	13.3	66.7	53.3	6.7	6.7
	島根県	13	30.8	61.5	61.5	15.4	7.7
	岡山県	21	19.0	95.2	81.0	4.8	14.3
	広島県	20	70.0	70.0	30.0	15.0	20.0
	山口県	14	35.7	71.4	64.3	35.7	-
	徳島県	19	57.9	57.9	57.9	15.8	15.8
	香川県	16	43.8	75.0	62.5	25.0	6.3
	愛媛県	18	33.3	61.1	50.0	11.1	38.9
	高知県	31	35.5	77.4	61.3	19.4	3.2
	福岡県	56	33.9	73.2	44.6	16.1	12.5
	佐賀県	17	29.4	64.7	76.5	29.4	-
	長崎県	16	43.8	87.5	68.8	12.5	6.3
	熊本県	39	64.1	46.2	64.1	12.8	10.3
	大分県	16	12.5	81.3	81.3	6.3	6.3
	宮崎県	19	63.2	68.4	73.7	10.5	15.8
	鹿児島県	33	39.4	66.7	54.5	15.2	12.1
	沖縄県	17	23.5	41.2	82.4	-	11.8

調査結果

【洪水】



洪水に係る避難情報の発令基準を満たした場合の対応については、「气象台や河川事務所に電話連絡等を行い、今後の見通しを確認した上で発令する」(73.0%)が最も多く、次いで「避難場所を開設した上で発令する」(59.1%)、「河川の増水の状況など、現地の状況を確認した上で発令する」(40.7%)、「基準を満たし次第すぐ発令する」(32.3%)となっている。

なお、「その他」の中には、管内に洪水災害の危険性がある場所（浸水想定区域等）は存在しない市区町村の回答が含まれている。

* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下
 * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		(%)					
		ぐ基準を満したし次第す	る確いに気認、電象し今話台た後連や上の絡河で見等川発通を事令し行務すを	上避で難発場令所すを開設した	認ど河し、川た現の地増での水況状令況状すを況る確な	そ	
		n				他	
全体		1424	32.3	73.0	59.1	40.7	9.4
地方予報区別	北海道地方	156	33.3	80.1	41.7	51.9	3.8
	東北地方	181	29.3	75.1	59.7	44.8	8.3
	関東甲信地方	342	30.4	72.2	59.9	41.8	12.0
	東海地方	140	35.0	71.4	65.7	40.7	7.1
	北陸地方	70	18.6	87.1	65.7	50.0	10.0
	近畿地方	155	31.0	70.3	64.5	39.4	5.8
	中国地方	69	29.0	78.3	58.0	29.0	13.0
	四国地方	84	39.3	66.7	56.0	38.1	17.9
	九州北部地方	158	39.2	70.3	61.4	33.5	8.2
	九州南部・奄美地方	52	44.2	61.5	57.7	26.9	15.4
沖縄地方	17	17.6	52.9	70.6	11.8	5.9	

地方予報区別でみると、九州南部・奄美地方では「基準を満たし次第すぐ発令する」(44.2%)が他の地方予報区に比べて多く、北海道地方では「河川の増水の状況など、現地の状況を確認した上で発令する」(51.9%)が他の地方予報区に比べて多い。

(参考)

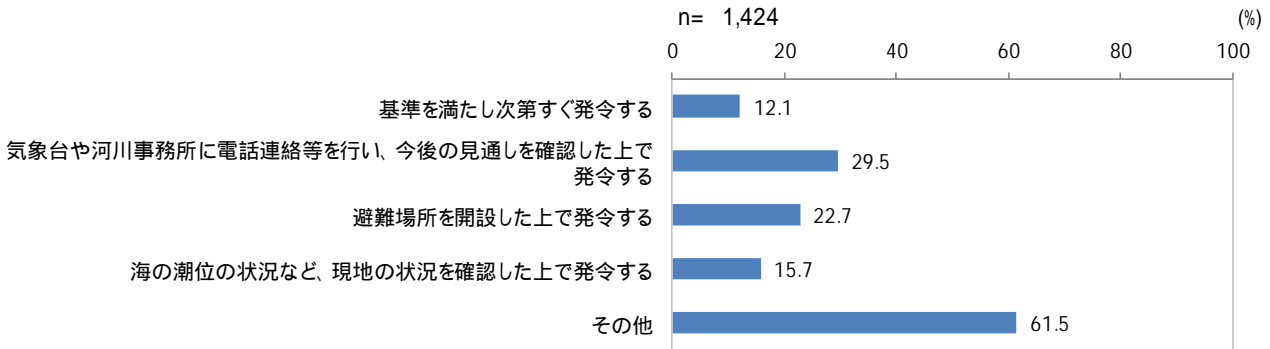
* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

							(%)				
		く基準を満したし次第す	る確に認し今後上で発令す	い、電象台や河川事務所	に、話絡等を行	気象台河川事務所	上避で難場所を開設した	認し、現地上での状況を確認	ど、川の増水の状況を確認	河川増水の状況を確認	その他
		n									
全体		1424	32.3	73.0	59.1	40.7	9.4				
都道府県別	北海道	156	33.3	80.1	41.7	51.9	3.8				
	青森県	33	36.4	78.8	60.6	42.4	3.0				
	岩手県	28	21.4	71.4	57.1	46.4	10.7				
	宮城県	26	26.9	73.1	53.8	46.2	23.1				
	秋田県	22	31.8	63.6	63.6	50.0	9.1				
	山形県	30	30.0	76.7	56.7	33.3	-				
	福島県	42	28.6	81.0	64.3	50.0	7.1				
	茨城県	40	22.5	75.0	65.0	40.0	15.0				
	栃木県	22	50.0	86.4	59.1	40.9	9.1				
	群馬県	27	18.5	77.8	51.9	37.0	7.4				
	埼玉県	62	29.0	80.6	69.4	53.2	11.3				
	千葉県	44	52.3	65.9	61.4	29.5	9.1				
	東京都	48	29.2	52.1	50.0	29.2	16.7				
	神奈川県	18	11.1	77.8	61.1	44.4	11.1				
	新潟県	22	18.2	77.3	72.7	36.4	13.6				
	富山県	15	-	93.3	60.0	53.3	6.7				
	石川県	16	31.3	93.8	62.5	50.0	6.3				
	福井県	17	23.5	88.2	64.7	64.7	11.8				
	山梨県	22	22.7	63.6	59.1	31.8	13.6				
	長野県	59	28.8	76.3	57.6	55.9	11.9				
	岐阜県	37	32.4	75.7	73.0	32.4	2.7				
	静岡県	26	38.5	76.9	73.1	38.5	11.5				
	愛知県	51	37.3	66.7	58.8	43.1	7.8				
	三重県	26	30.8	69.2	61.5	50.0	7.7				
	滋賀県	18	16.7	77.8	72.2	61.1	5.6				
	京都府	21	38.1	57.1	76.2	19.0	4.8				
	大阪府	33	36.4	66.7	84.8	42.4	6.1				
	兵庫県	35	34.3	85.7	42.9	37.1	11.4				
	奈良県	26	15.4	61.5	50.0	46.2	3.8				
	和歌山県	22	40.9	68.2	68.2	31.8	-				
	鳥取県	15	13.3	73.3	66.7	20.0	-				
	島根県	13	23.1	76.9	53.8	30.8	7.7				
	岡山県	21	14.3	90.5	85.7	38.1	19.0				
	広島県	20	60.0	70.0	25.0	25.0	20.0				
	山口県	14	28.6	78.6	57.1	57.1	7.1				
	徳島県	19	57.9	57.9	52.6	31.6	21.1				
	香川県	16	43.8	68.8	56.3	56.3	18.8				
	愛媛県	18	27.8	66.7	55.6	33.3	33.3				
	高知県	31	32.3	71.0	58.1	35.5	6.5				
	福岡県	56	37.5	78.6	50.0	37.5	8.9				
	佐賀県	17	23.5	70.6	76.5	35.3	-				
	長崎県	16	50.0	87.5	62.5	37.5	6.3				
	熊本県	39	59.0	46.2	64.1	20.5	10.3				
	大分県	16	12.5	75.0	81.3	25.0	12.5				
	宮崎県	19	57.9	68.4	73.7	31.6	15.8				
	鹿児島県	33	36.4	57.6	48.5	24.2	15.2				
	沖縄県	17	17.6	52.9	70.6	11.8	5.9				

調査結果

【高潮】



高潮に係る避難情報の発令基準を満たした場合の対応については、「气象台や河川事務所に電話連絡等を行い、今後の見通しを確認した上で発令する」(29.5%)が最も多く、次いで「避難場所を開設した上で発令する」(22.7%)、「海の潮位の状況など、現地の状況を確認した上で発令する」(15.7%)、「基準を満たし次第すぐ発令する」(12.1%)となっている。

なお、「その他」の中には、管内に高潮災害の危険性がある場所は存在しない市区町村の回答が含まれている。

* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		(%)					
		く基準を満たし次第すぐ発令する	る確に認し、電話台後連絡や見通しを	上避で難場令所を開設した	認ど海し、の現潮上地位での状況を確認した	その他	
n							
全体	1424	12.1	29.5	22.7	15.7	61.5	
地方予報区別	北海道地方	156	11.5	37.2	19.2	20.5	54.5
	東北地方	181	7.2	18.8	13.3	12.7	74.0
	関東甲信地方	342	6.7	14.6	10.2	7.3	79.5
	東海地方	140	15.7	28.6	27.1	16.4	57.1
	北陸地方	70	7.1	51.4	35.7	24.3	48.6
	近畿地方	155	11.6	22.6	18.7	13.5	68.4
	中国地方	69	14.5	42.0	33.3	20.3	52.2
	四国地方	84	15.5	45.2	35.7	28.6	50.0
	九州北部地方	158	19.0	41.8	35.4	20.3	43.7
	九州南部・奄美地方	52	30.8	46.2	38.5	19.2	34.6
沖縄地方	17	29.4	58.8	76.5	11.8	-	

地方予報区別でみると、九州南部・奄美地方では「基準を満たし次第すぐ発令する」(30.8%)が他の地方予報区に比べて多く、四国地方では「海の潮位の状況など、現地の状況を確認した上で発令する」(28.6%)が他の地方予報区に比べて多い。

(参考)

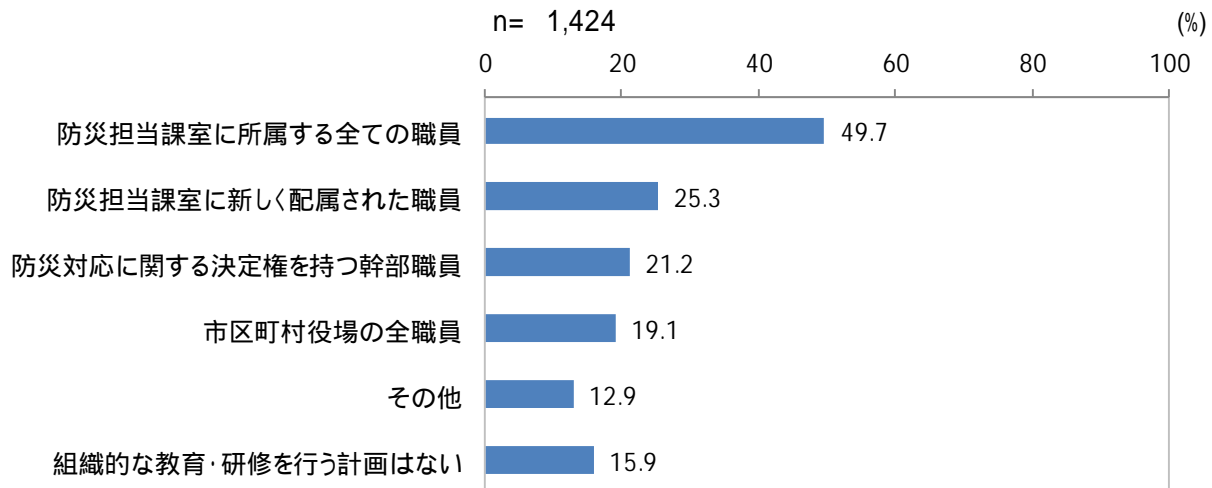
* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

							(%)				
		く 基 準 を 満 た し 次 第 す	る 確 認 し た 上 で 発 令 す	い 、 電 話 や 見 通 し を	に 、 電 台 の 等 を 行 務 所	気 象 台 河 川 事 務 所	上 避 で 難 場 所 を 開 設 し た	認 し た 上 で 発 令 す る 確	ど 、 現 地 の 状 況 を 確	海 の 潮 位 の 状 況 な	そ の 他
全体		1424	12.1	29.5	22.7	15.7	61.5				
都 道 府 県 別	北海道	156	11.5	37.2	19.2	20.5	54.5				
	青森県	33	6.1	36.4	24.2	27.3	57.6				
	岩手県	28	10.7	21.4	14.3	17.9	67.9				
	宮城県	26	-	7.7	3.8	7.7	92.3				
	秋田県	22	18.2	22.7	18.2	4.5	68.2				
	山形県	30	3.3	6.7	3.3	6.7	83.3				
	福島県	42	7.1	16.7	14.3	9.5	76.2				
	茨城県	40	5.0	17.5	5.0	10.0	80.0				
	栃木県	22	-	-	4.5	-	95.5				
	群馬県	27	-	3.7	-	-	96.3				
	埼玉県	62	1.6	3.2	1.6	-	96.8				
	千葉県	44	27.3	38.6	31.8	20.5	43.2				
	東京都	48	12.5	22.9	18.8	12.5	62.5				
	神奈川県	18	11.1	44.4	22.2	22.2	44.4				
	新潟県	22	4.5	18.2	9.1	-	81.8				
	富山県	15	-	60.0	40.0	26.7	40.0				
	石川県	16	25.0	75.0	56.3	31.3	12.5				
	福井県	17	-	64.7	47.1	47.1	47.1				
	山梨県	22	-	4.5	9.1	-	90.9				
	長野県	59	-	5.1	3.4	3.4	94.9				
	岐阜県	37	-	2.7	2.7	-	97.3				
	静岡県	26	23.1	26.9	23.1	11.5	61.5				
	愛知県	51	17.6	43.1	39.2	25.5	39.2				
	三重県	26	26.9	38.5	42.3	26.9	30.8				
	滋賀県	18	-	-	-	-	100.0				
	京都府	21	-	9.5	19.0	4.8	76.2				
	大阪府	33	15.2	30.3	27.3	15.2	69.7				
	兵庫県	35	22.9	45.7	22.9	25.7	48.6				
	奈良県	26	3.8	-	3.8	7.7	88.5				
	和歌山県	22	18.2	31.8	31.8	18.2	40.9				
	鳥取県	15	-	40.0	33.3	13.3	60.0				
	島根県	13	7.7	53.8	38.5	30.8	38.5				
	岡山県	21	4.8	33.3	38.1	14.3	66.7				
	広島県	20	40.0	45.0	25.0	25.0	40.0				
	山口県	14	28.6	71.4	64.3	57.1	-				
	徳島県	19	15.8	31.6	21.1	10.5	63.2				
	香川県	16	18.8	56.3	43.8	56.3	37.5				
	愛媛県	18	16.7	55.6	33.3	27.8	55.6				
	高知県	31	12.9	41.9	41.9	25.8	45.2				
	福岡県	56	21.4	35.7	30.4	14.3	50.0				
	佐賀県	17	17.6	58.8	52.9	11.8	23.5				
	長崎県	16	31.3	81.3	56.3	50.0	6.3				
	熊本県	39	15.4	15.4	12.8	10.3	74.4				
	大分県	16	-	43.8	43.8	12.5	43.8				
	宮崎県	19	26.3	26.3	21.1	10.5	57.9				
	鹿児島県	33	33.3	57.6	48.5	24.2	21.2				
	沖縄県	17	29.4	58.8	76.5	11.8	-				

(6) 計画的に教育・研修を実施する対象職員

問5 避難情報の発令に関する対応について、計画的に教育・研修を実施する対象としているのは、どの職員ですか。当てはまるものをいくつでも選んでください。



計画的に教育・研修を実施する対象職員については、「防災担当課室に所属する全ての職員」(49.7%)が最も多く、次いで「防災担当課室に新しく配属された職員」(25.3%)、「防災対応に関する決定権を持つ幹部職員」(21.2%)、「市区町村役場の全職員」(19.1%)、「組織的な教育・研修を行う計画はない」(15.9%)となっている。

* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下
 * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	す防 災 全担 て当 の課 室に 所属	く防 災 配 属 さ 当 れ 課 室 に 新 し	定防 権災 を対 持応 つに 幹関 部す 職決	員市 区 町 村 役 場 の 全 職	そ の 他	を組 織 的 計 画 教 育 な い 研 修
全体		1424	49.7	25.3	21.2	19.1	12.9	15.9
地方予報区別	北海道地方	156	42.9	12.8	15.4	28.2	9.0	19.9
	東北地方	181	53.6	27.6	24.3	14.9	10.5	17.7
	関東甲信地方	342	49.7	25.1	22.2	18.1	13.7	17.3
	東海地方	140	52.1	30.0	23.6	20.7	12.1	12.1
	北陸地方	70	45.7	21.4	17.1	15.7	18.6	18.6
	近畿地方	155	51.6	25.8	21.3	18.1	17.4	13.5
	中国地方	69	62.3	27.5	26.1	21.7	14.5	7.2
	四国地方	84	47.6	26.2	21.4	15.5	9.5	17.9
	九州北部地方	158	44.3	29.1	18.4	21.5	14.6	15.8
	九州南部・奄美地方	52	53.8	34.6	26.9	13.5	11.5	5.8
沖縄地方	17	47.1	11.8	5.9	11.8	-	35.3	

地方予報区別でみると、中国地方では「防災担当課室に所属する全ての職員」(62.3%)が他の地方予報区に比べて多い。

(参考)

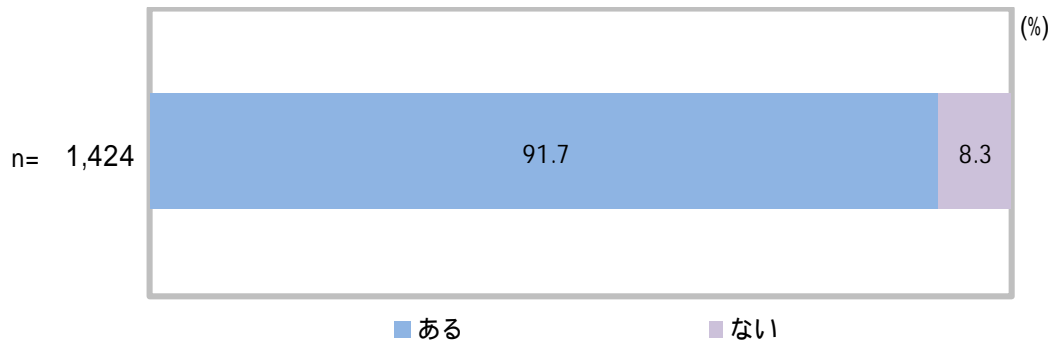
* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

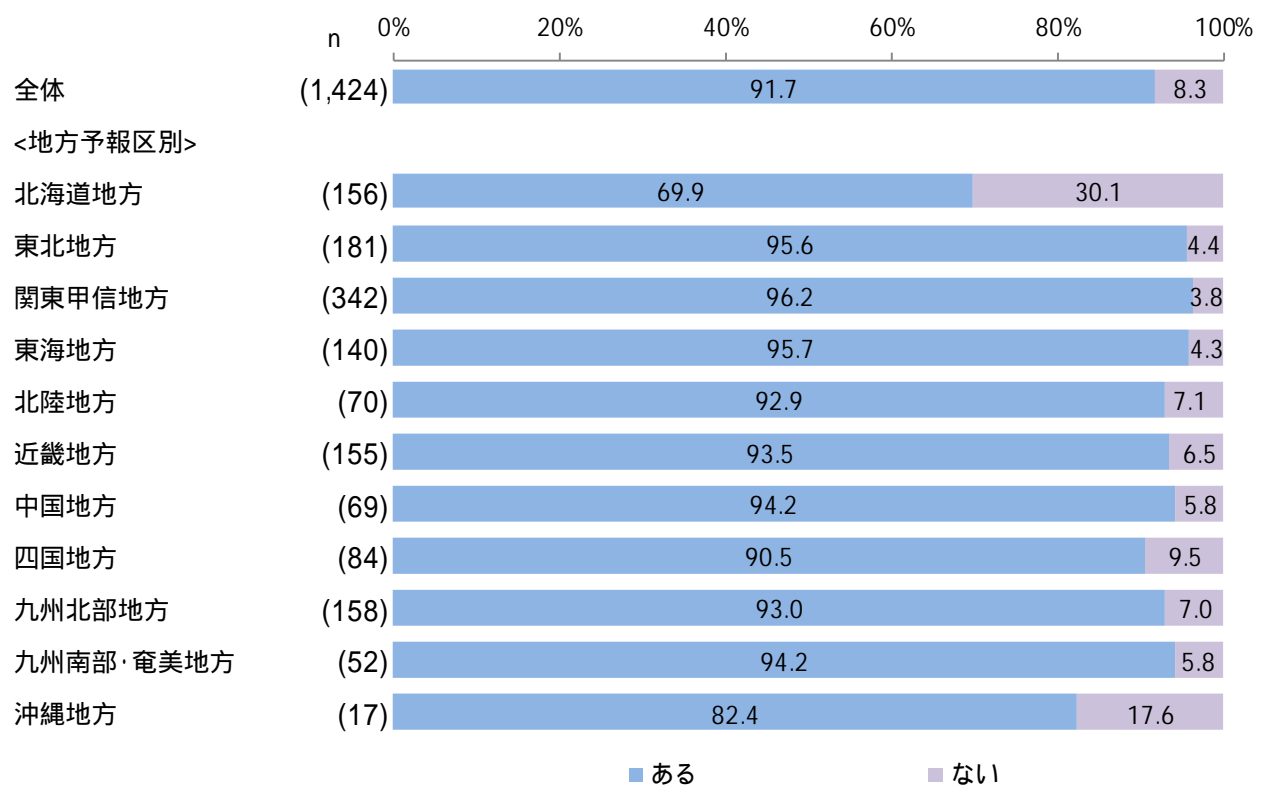
		(%)						
	n	防災担当の職員に所属する全ての職員	防災担当課室に新しく配属された職員	防災対応に関する決権を持つ幹部職員	市区町村役場の全職員	その他	組織的な教育・研修計画はない	
全体	1424	49.7	25.3	21.2	19.1	12.9	15.9	
都道府県別	北海道	156	42.9	12.8	15.4	28.2	9.0	19.9
	青森県	33	54.5	27.3	21.2	3.0	9.1	30.3
	岩手県	28	39.3	42.9	21.4	21.4	21.4	10.7
	宮城県	26	42.3	26.9	11.5	23.1	7.7	15.4
	秋田県	22	72.7	50.0	40.9	9.1	4.5	4.5
	山形県	30	56.7	16.7	26.7	16.7	6.7	16.7
	福島県	42	57.1	14.3	26.2	16.7	11.9	21.4
	茨城県	40	47.5	22.5	12.5	17.5	20.0	20.0
	栃木県	22	40.9	27.3	31.8	18.2	4.5	13.6
	群馬県	27	51.9	14.8	25.9	14.8	3.7	29.6
	埼玉県	62	40.3	27.4	19.4	17.7	16.1	24.2
	千葉県	44	63.6	29.5	25.0	11.4	15.9	15.9
	東京都	48	39.6	22.9	14.6	12.5	16.7	25.0
	神奈川県	18	61.1	33.3	5.6	38.9	16.7	-
	新潟県	22	45.5	22.7	18.2	18.2	27.3	9.1
	富山県	15	26.7	26.7	6.7	20.0	20.0	20.0
	石川県	16	50.0	31.3	25.0	6.3	6.3	43.8
	福井県	17	58.8	5.9	17.6	17.6	17.6	5.9
	山梨県	22	31.8	31.8	18.2	22.7	13.6	9.1
	長野県	59	64.4	22.0	37.3	22.0	10.2	6.8
	岐阜県	37	59.5	29.7	32.4	21.6	13.5	8.1
	静岡県	26	61.5	50.0	34.6	3.8	11.5	3.8
	愛知県	51	45.1	29.4	19.6	21.6	11.8	19.6
	三重県	26	46.2	11.5	7.7	34.6	11.5	11.5
	滋賀県	18	50.0	27.8	38.9	11.1	27.8	5.6
	京都府	21	52.4	23.8	14.3	14.3	14.3	28.6
	大阪府	33	54.5	36.4	27.3	9.1	27.3	9.1
	兵庫県	35	54.3	28.6	14.3	25.7	17.1	8.6
	奈良県	26	50.0	7.7	26.9	19.2	11.5	15.4
	和歌山県	22	45.5	27.3	9.1	27.3	4.5	18.2
	鳥取県	15	40.0	13.3	40.0	33.3	6.7	13.3
	島根県	13	53.8	15.4	-	23.1	7.7	7.7
	岡山県	21	66.7	33.3	28.6	9.5	23.8	4.8
	広島県	20	80.0	40.0	30.0	25.0	15.0	5.0
	山口県	14	28.6	14.3	14.3	7.1	50.0	7.1
	徳島県	19	52.6	36.8	15.8	26.3	10.5	10.5
	香川県	16	56.3	37.5	31.3	6.3	6.3	6.3
	愛媛県	18	50.0	11.1	33.3	16.7	5.6	16.7
	高知県	31	38.7	22.6	12.9	12.9	12.9	29.0
	福岡県	56	35.7	25.0	16.1	30.4	12.5	17.9
	佐賀県	17	35.3	35.3	11.8	11.8	5.9	23.5
	長崎県	16	43.8	25.0	12.5	25.0	12.5	18.8
	熊本県	39	56.4	41.0	25.6	20.5	10.3	10.3
	大分県	16	68.8	25.0	25.0	12.5	12.5	18.8
	宮崎県	19	57.9	21.1	31.6	5.3	5.3	10.5
	鹿児島県	33	51.5	42.4	24.2	18.2	15.2	3.0
	沖縄県	17	47.1	11.8	5.9	11.8	-	35.3

(7) 職員を非常参集したり非常配備態勢をとったりした経験の有無

問6 平成30年度以降、大雨・台風等の風水害への対応のために、職員を非常参集したり、非常配備態勢をとったりした経験はありますか。



職員を非常参集したり非常配備態勢をとったりした経験の有無については、「ある」(91.7%)の方が多い。



n=29 以下は参考値

地方予報区別でみると、北海道地方では「ない」(30.1%)が他の地方予報区に比べて多い。

(参考)

* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

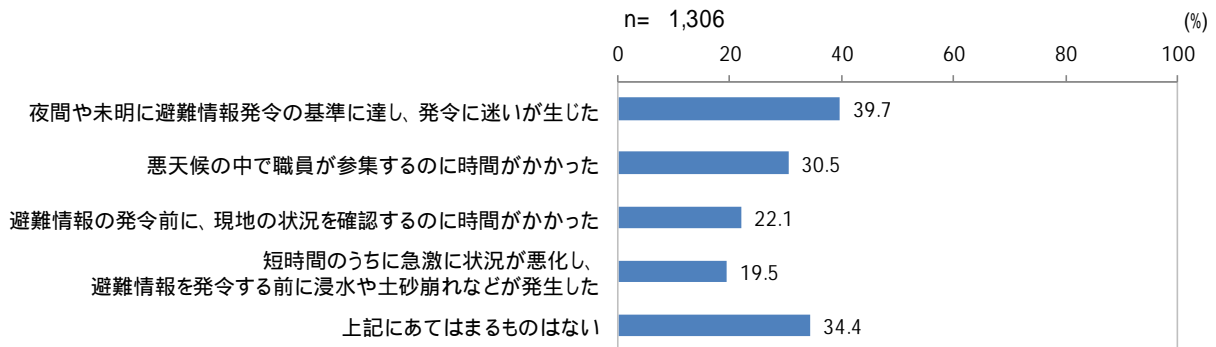
		(%)		
		あ る	な い	
		n		
全体	1424	91.7	8.3	
都 道 府 県 別	北海道	156	69.9	30.1
	青森県	33	97.0	3.0
	岩手県	28	92.9	7.1
	宮城県	26	100.0	-
	秋田県	22	90.9	9.1
	山形県	30	96.7	3.3
	福島県	42	95.2	4.8
	茨城県	40	95.0	5.0
	栃木県	22	100.0	-
	群馬県	27	92.6	7.4
	埼玉県	62	95.2	4.8
	千葉県	44	97.7	2.3
	東京都	48	97.9	2.1
	神奈川県	18	100.0	-
	新潟県	22	90.9	9.1
	富山県	15	93.3	6.7
	石川県	16	93.8	6.3
	福井県	17	94.1	5.9
	山梨県	22	95.5	4.5
	長野県	59	94.9	5.1
	岐阜県	37	91.9	8.1
	静岡県	26	96.2	3.8
	愛知県	51	100.0	-
	三重県	26	92.3	7.7
	滋賀県	18	100.0	-
	京都府	21	100.0	-
	大阪府	33	93.9	6.1
	兵庫県	35	97.1	2.9
	奈良県	26	76.9	23.1
	和歌山県	22	95.5	4.5
	鳥取県	15	93.3	6.7
	島根県	13	92.3	7.7
	岡山県	21	95.2	4.8
	広島県	20	95.0	5.0
	山口県	14	85.7	14.3
	徳島県	19	89.5	10.5
	香川県	16	93.8	6.3
	愛媛県	18	94.4	5.6
	高知県	31	87.1	12.9
	福岡県	56	96.4	3.6
	佐賀県	17	94.1	5.9
	長崎県	16	93.8	6.3
	熊本県	39	89.7	10.3
	大分県	16	93.8	6.3
	宮崎県	19	94.7	5.3
	鹿児島県	33	93.9	6.1
	沖縄県	17	82.4	17.6

(8) 地域防災計画等に基づく防災対応に関する困難な経験

問7 地域防災計画等に基づく防災対応について、次のような困難な経験をしましたか。当てはまるものをいくつでも選んでください。

n=1,306

ベース：大雨・台風等の風水害への対応のために、職員を非常参集したり非常配備態勢をとったりした経験がある市区町村



地域防災計画等に基づく防災対応に関する困難な経験については、「夜間や未明に避難情報発令の基準に達し、発令に迷いが生じた」(39.7%)が最も多く、次いで「悪天候の中で職員が参集するのに時間がかかった」(30.5%)、「避難情報の発令前に、現地の状況を確認するのに時間がかかった」(22.1%)、「短時間のうちに急激に状況が悪化し、避難情報を発令する前に浸水や土砂崩れなどが発生した」(19.5%)となっている。

* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	夜間や未明に避難情報発令の基準に達し、発令に迷いが生じた (%)	悪天候の中で職員が参集するのに時間がかかった (%)	避難情報の発令前に、現地の状況を確認するのに時間がかかった (%)	短時間のうちに急激に状況が悪化し、避難情報を発令する前に浸水や土砂崩れなどが発生した (%)	上記にあてはまるものはない (%)
全体		1306	39.7	30.5	22.1	19.5	34.4
地方予報区別	北海道地方	109	17.4	15.6	26.6	14.7	50.5
	東北地方	173	41.6	29.5	31.2	25.4	31.2
	関東甲信地方	329	37.4	35.6	25.5	15.8	32.8
	東海地方	134	45.5	35.1	14.9	23.1	30.6
	北陸地方	65	38.5	21.5	30.8	24.6	38.5
	近畿地方	145	37.2	30.3	12.4	17.9	39.3
	中国地方	65	46.2	27.7	20.0	23.1	27.7
	四国地方	76	47.4	18.4	21.1	15.8	32.9
	九州北部地方	147	46.3	35.4	17.7	19.7	32.7
九州南部・奄美地方	49	46.9	34.7	14.3	20.4	28.6	
沖縄地方	14	57.1	50.0	7.1	28.6	28.6	

地方予報区別でみると、東海地方、中国地方、四国地方、九州北部地方、九州南部・奄美地方では「夜間や未明に避難情報発令の基準に達し、発令に迷いが生じた」(45.5%、46.2%、47.4%、46.3%、46.9%)が他の地方予報区に比べて多い。

(参考)

* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

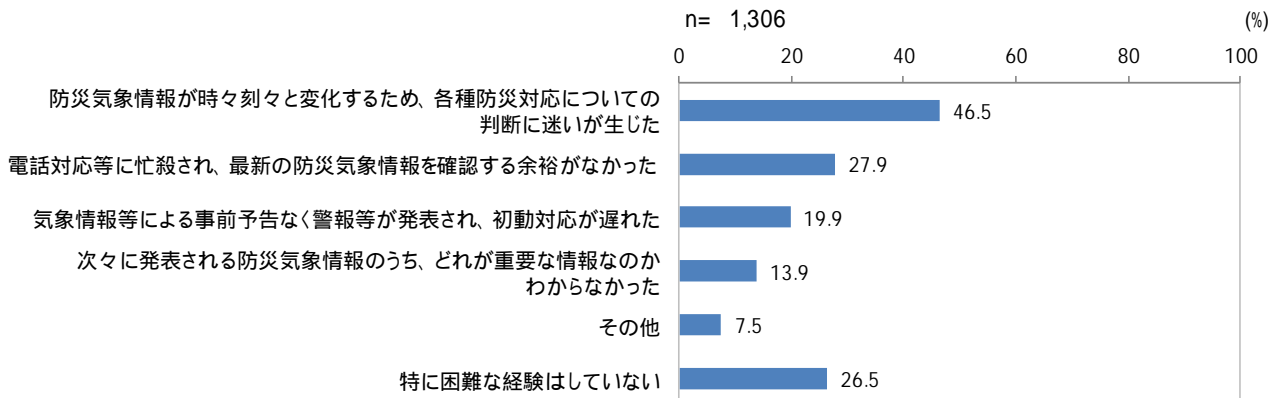
							(%)						
		じし た、 発令 に迷 いが 生	報 告 の 基 準 に 達 し 難 情	夜 間 や 未 明 に 避 難 情	か か つ た の 中 に 職 員 が	悪 天 候 の 中 で 職 員 が	か 認 す た る に 時 間 が 確	に 、 難 情 の 状 況 を 確	ど が 発 生 し た 崩 れ な	に 浸 水 や 土 砂 崩 れ な	難 情 が 発 生 し た 急 激	短 時 間 の 悪 化 し 急 激	の 上 に あ て は ま る も
		n											
全体		1306	39.7	30.5	22.1	19.5	34.4						
都 道 府 県 別	北海道	109	17.4	15.6	26.6	14.7	50.5						
	青森県	32	53.1	9.4	28.1	18.8	31.3						
	岩手県	26	34.6	23.1	26.9	19.2	46.2						
	宮城県	26	50.0	69.2	26.9	34.6	19.2						
	秋田県	20	25.0	10.0	35.0	20.0	45.0						
	山形県	29	44.8	27.6	34.5	44.8	24.1						
	福島県	40	37.5	35.0	35.0	17.5	27.5						
	茨城県	38	39.5	28.9	26.3	5.3	39.5						
	栃木県	22	50.0	50.0	31.8	13.6	27.3						
	群馬県	25	20.0	28.0	32.0	8.0	44.0						
	埼玉県	59	35.6	47.5	27.1	23.7	28.8						
	千葉県	43	37.2	44.2	25.6	23.3	27.9						
	東京都	47	27.7	42.6	12.8	6.4	42.6						
	神奈川県	18	38.9	38.9	-	16.7	27.8						
	新潟県	20	50.0	10.0	30.0	20.0	50.0						
	富山県	14	28.6	7.1	28.6	-	57.1						
	石川県	15	33.3	46.7	33.3	33.3	13.3						
	福井県	16	37.5	25.0	31.3	43.8	31.3						
	山梨県	21	33.3	28.6	19.0	4.8	38.1						
	長野県	56	50.0	14.3	39.3	25.0	25.0						
	岐阜県	34	52.9	14.7	2.9	14.7	35.3						
	静岡県	25	60.0	56.0	36.0	40.0	12.0						
	愛知県	51	37.3	37.3	9.8	19.6	35.3						
	三重県	24	37.5	37.5	20.8	25.0	33.3						
	滋賀県	18	44.4	27.8	27.8	38.9	16.7						
	京都府	21	28.6	38.1	4.8	9.5	42.9						
	大阪府	31	35.5	25.8	6.5	9.7	48.4						
	兵庫県	34	47.1	29.4	11.8	20.6	32.4						
	奈良県	20	25.0	40.0	10.0	15.0	45.0						
	和歌山県	21	38.1	23.8	19.0	19.0	47.6						
	鳥取県	14	42.9	14.3	14.3	42.9	28.6						
	島根県	12	50.0	41.7	16.7	33.3	25.0						
	岡山県	20	60.0	15.0	20.0	15.0	35.0						
	広島県	19	31.6	42.1	26.3	10.5	21.1						
	山口県	12	50.0	25.0	16.7	8.3	33.3						
	徳島県	17	58.8	17.6	11.8	11.8	35.3						
	香川県	15	46.7	20.0	33.3	6.7	26.7						
	愛媛県	17	35.3	17.6	23.5	11.8	29.4						
	高知県	27	48.1	18.5	18.5	25.9	37.0						
	福岡県	54	48.1	33.3	18.5	16.7	35.2						
	佐賀県	16	43.8	50.0	25.0	31.3	18.8						
	長崎県	15	53.3	26.7	13.3	20.0	40.0						
	熊本県	35	37.1	37.1	20.0	20.0	37.1						
	大分県	15	53.3	40.0	6.7	26.7	20.0						
	宮崎県	18	50.0	55.6	22.2	11.1	11.1						
	鹿児島県	31	45.2	22.6	9.7	25.8	38.7						
	沖縄県	14	57.1	50.0	7.1	28.6	28.6						

(9) 防災気象情報の収集・分析に関する困難な経験

問8 気象台から発表される防災気象情報の収集・分析について、次のような困難な経験をしましたか。当てはまるものをいくつでも選んでください。

n=1,306

ベース：大雨・台風等の風水害への対応のために、職員を非常参集したり非常配備態勢をとったりした経験がある市区町村



防災気象情報の収集・分析に関する困難な経験については、「防災気象情報が時々刻々と変化するため、各種防災対応についての判断に迷いが生じた」(46.5%)が最も多く、次いで「電話対応等に忙殺され、最新の防災気象情報を確認する余裕がなかった」(27.9%)、「気象情報等による事前予告なく警報等が発表され、初動対応が遅れた」(19.9%)、「次々に発表される防災気象情報のうち、どれが重要な情報なのかわからなかった」(13.9%)となっている。

* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	46.5	27.9	19.9	13.9	7.5	26.5
	全体	1306	46.5	27.9	19.9	13.9	7.5	26.5
地方予報区別	北海道地方	109	34.9	18.3	13.8	14.7	8.3	35.8
	東北地方	173	52.6	34.7	13.9	15.6	8.1	23.7
	関東甲信地方	329	49.8	36.2	14.9	14.6	6.7	22.8
	東海地方	134	47.0	15.7	29.9	12.7	6.7	28.4
	北陸地方	65	55.4	30.8	24.6	23.1	4.6	24.6
	近畿地方	145	42.8	24.1	26.9	13.8	4.8	27.6
	中国地方	65	47.7	29.2	24.6	16.9	12.3	26.2
	四国地方	76	47.4	17.1	28.9	14.5	6.6	25.0
	九州北部地方	147	44.9	25.9	17.7	8.8	10.2	27.2
	九州南部・奄美地方	49	28.6	32.7	20.4	8.2	12.2	30.6
沖縄地方	14	42.9	21.4	21.4	-	-	42.9	

地方予報区別でみると、東海地方では「気象情報等による事前予告なく警報等が発表され、初動対応が遅れた」(29.9%)が他の地方予報区に比べて多い。

(参考)

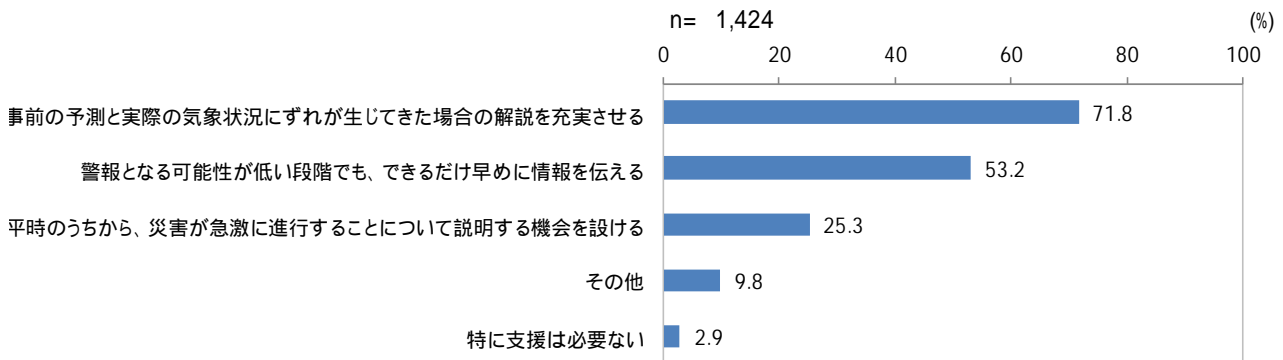
* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		(%)						
	n	がつめ刻防	が情れ電	が発前気	のど災次	そ	て特	
		生い、々々	な報、話	遅表予象	かかれ気々	他	いに困	
		じて各と気	かを最対	れさ告情	わが象に		ない難	
		たの種変象	った認の等	たれな報	ら重要報		い難	
		判断化情	す防に	初警に	かなのさ		い難	
		断災す報	る災忙	動報よ	な情うれ		い難	
		に対るが	る災忙	動報よ	な情うれ		い難	
		迷応た時	余気殺	対等る	な報ち		い難	
		いに々々	裕気さ	応が事	たな、防		い難	
							験は	
							し	
全体	1306	46.5	27.9	19.9	13.9	7.5	26.5	
都道府県別	北海道	109	34.9	18.3	13.8	14.7	8.3	35.8
	青森県	32	56.3	56.3	12.5	9.4	6.3	12.5
	岩手県	26	38.5	30.8	11.5	3.8	11.5	38.5
	宮城県	26	42.3	26.9	23.1	19.2	7.7	30.8
	秋田県	20	60.0	25.0	15.0	10.0	15.0	30.0
	山形県	29	51.7	34.5	13.8	13.8	3.4	20.7
	福島県	40	62.5	30.0	10.0	30.0	7.5	17.5
	茨城県	38	47.4	34.2	15.8	34.2	13.2	18.4
	栃木県	22	59.1	68.2	9.1	9.1	-	9.1
	群馬県	25	64.0	40.0	20.0	12.0	-	12.0
	埼玉県	59	45.8	42.4	6.8	22.0	3.4	22.0
	千葉県	43	48.8	34.9	27.9	9.3	2.3	27.9
	東京都	47	48.9	29.8	14.9	4.3	2.1	27.7
	神奈川県	18	61.1	5.6	16.7	5.6	38.9	22.2
	新潟県	20	50.0	35.0	15.0	35.0	5.0	40.0
	富山県	14	50.0	28.6	21.4	7.1	-	21.4
	石川県	15	53.3	40.0	33.3	33.3	6.7	6.7
	福井県	16	68.8	18.8	31.3	12.5	6.3	25.0
	山梨県	21	33.3	23.8	14.3	9.5	-	38.1
	長野県	56	50.0	37.5	12.5	14.3	10.7	23.2
	岐阜県	34	52.9	11.8	26.5	2.9	-	44.1
	静岡県	25	60.0	36.0	32.0	20.0	8.0	20.0
	愛知県	51	37.3	9.8	33.3	15.7	7.8	25.5
	三重県	24	45.8	12.5	25.0	12.5	12.5	20.8
	滋賀県	18	50.0	27.8	38.9	16.7	5.6	22.2
	京都府	21	38.1	23.8	38.1	19.0	-	33.3
	大阪府	31	22.6	19.4	45.2	19.4	6.5	35.5
	兵庫県	34	58.8	23.5	8.8	14.7	2.9	20.6
	奈良県	20	45.0	35.0	15.0	10.0	10.0	25.0
	和歌山県	21	42.9	19.0	19.0	-	4.8	28.6
	鳥取県	14	42.9	35.7	21.4	7.1	14.3	35.7
	島根県	12	33.3	33.3	33.3	16.7	25.0	25.0
	岡山県	20	60.0	20.0	10.0	30.0	10.0	25.0
	広島県	19	47.4	31.6	36.8	10.5	5.3	21.1
	山口県	12	41.7	25.0	8.3	-	8.3	33.3
	徳島県	17	35.3	5.9	11.8	5.9	5.9	47.1
	香川県	15	53.3	26.7	53.3	13.3	6.7	13.3
	愛媛県	17	64.7	23.5	35.3	23.5	5.9	5.9
	高知県	27	40.7	14.8	22.2	14.8	7.4	29.6
	福岡県	54	33.3	25.9	22.2	7.4	11.1	25.9
	佐賀県	16	62.5	25.0	31.3	12.5	12.5	25.0
	長崎県	15	33.3	20.0	13.3	6.7	6.7	46.7
	熊本県	35	57.1	28.6	8.6	14.3	11.4	28.6
	大分県	15	53.3	26.7	20.0	6.7	6.7	6.7
	宮崎県	18	27.8	22.2	22.2	5.6	5.6	33.3
	鹿児島県	31	29.0	38.7	19.4	9.7	16.1	29.0
	沖縄県	14	42.9	21.4	21.4	-	-	42.9

(10) 気象台からあれば役立つと思う支援

問9 大雨・台風等の風水害への対応のために、職員を非常参集したり、非常配備態勢をとったりする際に、気象台からどのような支援があれば役立つと思いますか。当てはまるものをいくつでも選んでください。



気象台からあれば役立つと思う支援については、「事前の予測と実際の気象状況にずれが生じてきた場合の解説を充実させる」(71.8%)が最も多く、次いで「警報となる可能性が低い段階でも、できるだけ早めに情報を伝える」(53.2%)、「平時のうちから、災害が急激に進行することについて説明する機会を設ける」(25.3%)となっている。

* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下
 * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		(%)					
		を 充 た す 場 合 の 解 説	を 伝 え る 機 会 を 設 け る	警 報 と な る 可 能 性 が 低 い 段 階 で も 、 可 能 な 限 り に 早 め に 情 報 を 伝 え る	平 時 の う ち か ら 、 災 害 が 急 激 に 進 行 す る こ と に つ い て 説 明 す る 機 会 を 設 け る	そ の 他	特 に 支 援 は 必 要 な い
n							
全体	1424	71.8	53.2	25.3	9.8	2.9	
地方予報区別	北海道地方	156	67.3	58.3	22.4	7.1	3.8
	東北地方	181	69.6	54.7	26.5	12.2	1.7
	関東甲信地方	342	69.0	57.3	26.6	9.4	3.2
	東海地方	140	67.1	48.6	22.1	12.1	2.9
	北陸地方	70	71.4	50.0	30.0	17.1	-
	近畿地方	155	77.4	49.0	27.7	7.7	3.2
	中国地方	69	89.9	49.3	27.5	10.1	-
	四国地方	84	72.6	50.0	20.2	13.1	1.2
	九州北部地方	158	77.2	46.8	24.1	7.6	5.1
	九州南部・奄美地方 沖縄地方	52 17	73.1 52.9	55.8 82.4	26.9 17.6	5.8 -	5.8 5.9

地方予報区別でみると、中国地方では「事前の予測と実際の気象状況にずれが生じてきた場合の解説を充実させる」(89.9%)が、他の地方予報区に比べて多い。

(参考)

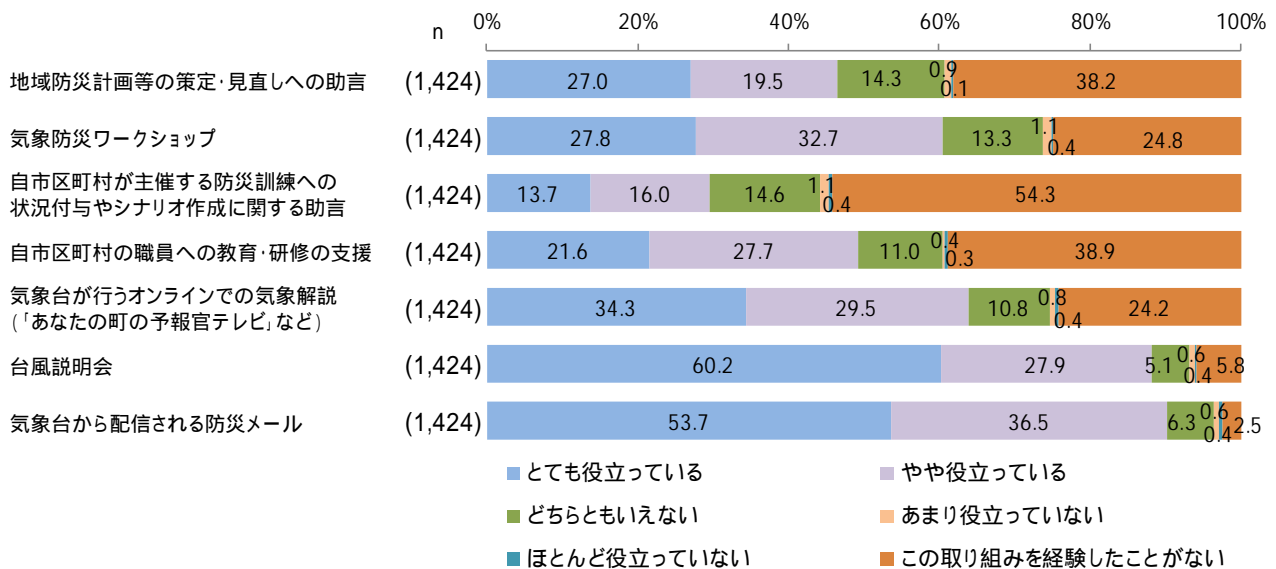
* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

							(%)				
		を 充 実 さ せ る の 解 説	気 象 予 測 と 実 際 の	事 前 予 測 と 実 際 の	伝 え ら れ る 早 め に も 情 報 を き	警 報 と な る 可 能 性 が	こ 機 会 を 設 け る 説 明 す る	害 が 急 に 進 行 す る	平 時 の 備 え が 進 行 し て い る	そ の 他	特 に 支 援 は 必 要 な い
n											
全体	1424	71.8	53.2	25.3	9.8	2.9					
都 道 府 県 別	北海道	156	67.3	58.3	22.4	7.1	3.8				
	青森県	33	66.7	48.5	24.2	6.1	-				
	岩手県	28	64.3	64.3	32.1	25.0	3.6				
	宮城県	26	76.9	84.6	30.8	23.1	-				
	秋田県	22	63.6	50.0	18.2	-	9.1				
	山形県	30	70.0	46.7	20.0	10.0	-				
	福島県	42	73.8	42.9	31.0	9.5	-				
	茨城県	40	80.0	52.5	22.5	7.5	2.5				
	栃木県	22	63.6	68.2	40.9	4.5	-				
	群馬県	27	63.0	59.3	22.2	11.1	7.4				
	埼玉県	62	69.4	61.3	33.9	6.5	1.6				
	千葉県	44	54.5	56.8	18.2	15.9	2.3				
	東京都	48	70.8	56.3	31.3	4.2	2.1				
	神奈川県	18	77.8	38.9	27.8	22.2	-				
	新潟県	22	72.7	50.0	27.3	22.7	-				
	富山県	15	66.7	40.0	13.3	6.7	-				
	石川県	16	75.0	68.8	31.3	6.3	-				
	福井県	17	70.6	41.2	47.1	29.4	-				
	山梨県	22	68.2	63.6	36.4	-	9.1				
	長野県	59	72.9	55.9	16.9	13.6	5.1				
	岐阜県	37	59.5	56.8	27.0	10.8	2.7				
	静岡県	26	76.9	42.3	30.8	11.5	-				
	愛知県	51	68.6	47.1	11.8	13.7	3.9				
	三重県	26	65.4	46.2	26.9	11.5	3.8				
	滋賀県	18	77.8	44.4	33.3	11.1	-				
	京都府	21	71.4	57.1	14.3	9.5	-				
	大阪府	33	81.8	57.6	39.4	9.1	-				
	兵庫県	35	77.1	34.3	34.3	14.3	2.9				
	奈良県	26	76.9	30.8	19.2	-	11.5				
	和歌山県	22	77.3	77.3	18.2	-	4.5				
	鳥取県	15	80.0	40.0	33.3	13.3	-				
	島根県	13	84.6	46.2	30.8	7.7	-				
	岡山県	21	95.2	52.4	19.0	9.5	-				
	広島県	20	95.0	55.0	30.0	10.0	-				
	山口県	14	64.3	42.9	21.4	-	7.1				
	徳島県	19	73.7	26.3	15.8	21.1	-				
	香川県	16	81.3	50.0	18.8	18.8	-				
	愛媛県	18	83.3	66.7	16.7	11.1	-				
	高知県	31	61.3	54.8	25.8	6.5	3.2				
	福岡県	56	82.1	44.6	16.1	10.7	3.6				
	佐賀県	17	82.4	29.4	17.6	11.8	5.9				
	長崎県	16	87.5	56.3	31.3	18.8	-				
	熊本県	39	64.1	56.4	33.3	-	10.3				
	大分県	16	87.5	43.8	31.3	6.3	-				
	宮崎県	19	68.4	52.6	31.6	5.3	10.5				
	鹿児島県	33	75.8	57.6	24.2	6.1	3.0				
	沖縄県	17	52.9	82.4	17.6	-	5.9				

(11) 気象台が行っている各種取り組みの評価

問10 次に挙げる気象庁の各種取り組みは、貴市区町村が行う避難情報の発令に関する対応にどれくらい役立っていますか。次の各種取り組みについて、該当する評価をお答えください。



地域防災計画等の策定・見直しへの助言の評価については、「この取り組みを経験したことがない」(38.2%)が最も多く、次いで「とても役立っている」(27.0%)、「やや役立っている」(19.5%)、「どちらともいえない」(14.3%)、「あまり役立っていない」(0.9%)、「ほとんど役立っていない」(0.1%)となっている。

気象防災ワークショップの評価については、「とても役立っている」(27.8%)が最も多く、次いで「この取り組みを経験したことがない」(24.8%)、「どちらともいえない」(13.3%)、「あまり役立っていない」(1.1%)、「ほとんど役立っていない」(0.4%)となっている。

市区町村が主催する防災訓練への状況付与やシナリオ作成に関する助言の評価については、「この取り組みを経験したことがない」(54.3%)が最も多く、次いで「やや役立っている」(16.0%)、「どちらともいえない」(14.6%)、「とても役立っている」(13.7%)、「あまり役立っていない」(1.1%)、「ほとんど役立っていない」(0.4%)となっている。

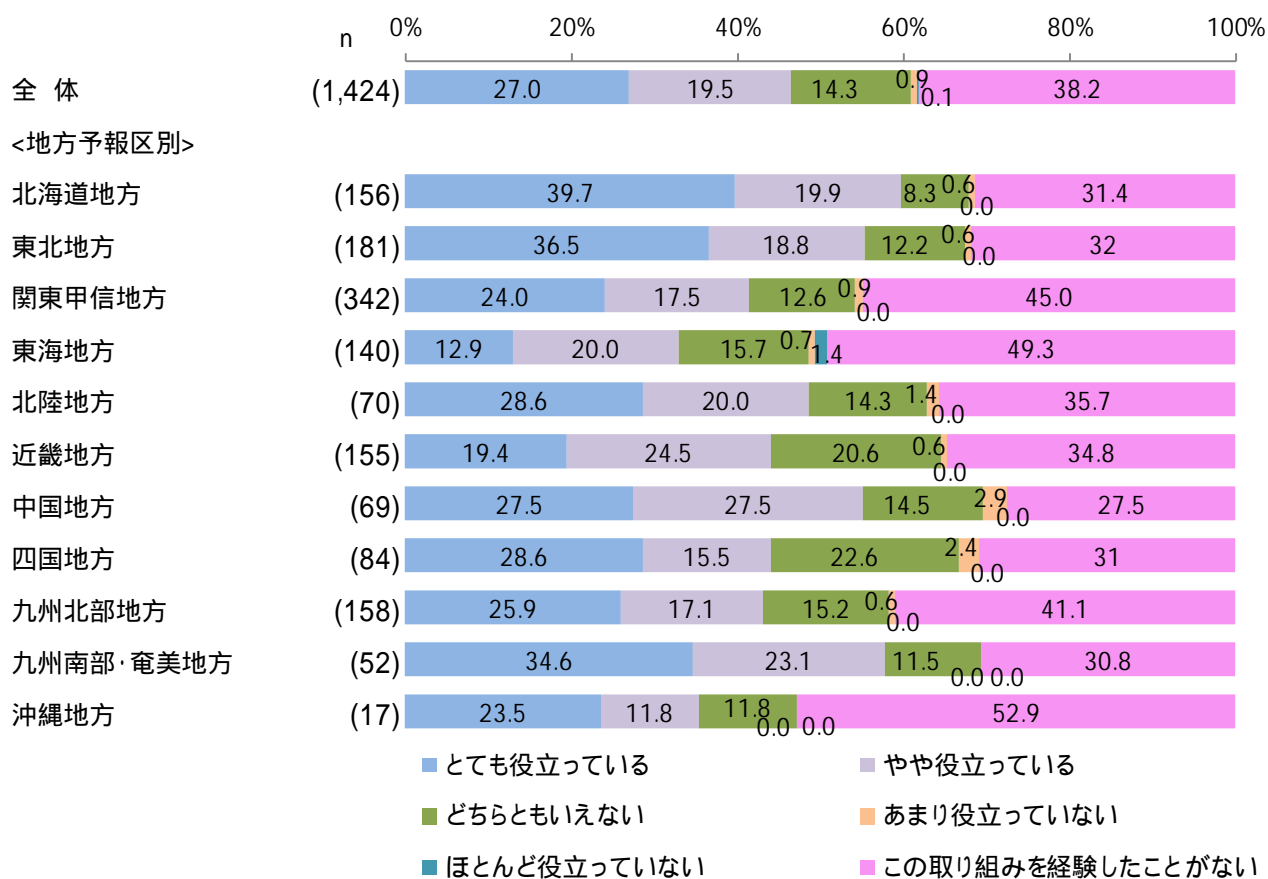
市区町村の職員への教育・研修の支援の評価については、「この取り組みを経験したことがない」(38.9%)が最も多く、次いで「やや役立っている」(27.7%)、「とても役立っている」(21.6%)、「どちらともいえない」(11.0%)、「あまり役立っていない」(0.4%)、「ほとんど役立っていない」(0.3%)となっている。

気象台が行うオンラインでの気象解説(「あなたの町の予報官テレビ」など)の評価については、「とても役立っている」(34.2%)が最も多く、次いで「やや役立っている」(29.5%)、「この取り組みを経験したことがない」(24.2%)、「どちらともいえない」(10.8%)、「あまり役立っていない」(0.8%)、「ほとんど役立っていない」(0.4%)となっている。

台風説明会の評価については、「とても役立っている」(60.2%)が最も多く、次いで「やや役立っている」(27.9%)、「この取り組みを経験したことがない」(5.8%)、「どちらともいえない」(5.1%)、「あまり役立っていない」(0.6%)、「ほとんど役立っていない」(0.4%)となっている。

気象台から配信される防災メールの評価については、「とても役立っている」(53.7%)が最も多く、次いで「やや役立っている」(36.5%)、「どちらともいえない」(6.3%)、「この取り組みを経験したことがない」(2.5%)、「あまり役立っていない」(0.6%)、「ほとんど役立っていない」(0.4%)となっている。

【地域防災計画等の策定・見直しへの助言】



n=29 以下は参考値

地方予報区別でみると、北海道地方、東北地方、九州南部・奄美地方では「とても役立っている」(39.7%、36.5%、34.6%)が、他の地方予報区に比べて高い。

調査結果

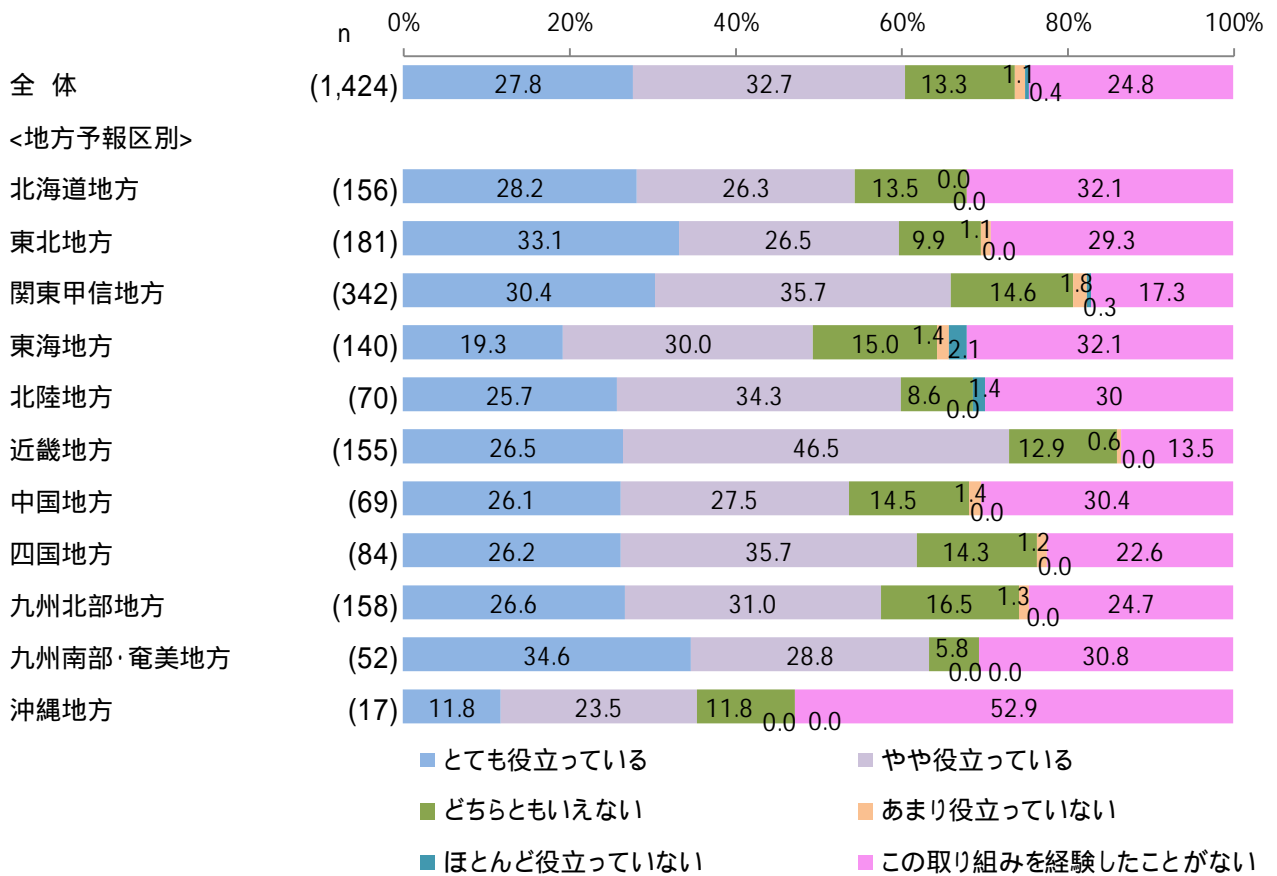
(参考)

* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		(%)						
		とても 役立 っている	やや 役立 っている	ど ち ら と も い え ない	い あ ま り 役 立 っ て い な	な ほ と ん ど 役 立 っ て い	し こ の 取 り 組 み を 経 験	
		n						
全体	1424	27.0	19.5	14.3	0.9	0.1	38.2	
都道府県別	北海道	156	39.7	19.9	8.3	0.6	-	31.4
	青森県	33	33.3	27.3	6.1	3.0	-	30.3
	岩手県	28	39.3	7.1	7.1	-	-	46.4
	宮城県	26	42.3	11.5	15.4	-	-	30.8
	秋田県	22	13.6	27.3	22.7	-	-	36.4
	山形県	30	33.3	20.0	20.0	-	-	26.7
	福島県	42	47.6	19.0	7.1	-	-	26.2
	茨城県	40	20.0	20.0	10.0	-	-	50.0
	栃木県	22	18.2	9.1	4.5	-	-	68.2
	群馬県	27	29.6	29.6	11.1	-	-	29.6
	埼玉県	62	27.4	11.3	14.5	3.2	-	43.5
	千葉県	44	15.9	27.3	9.1	-	-	47.7
	東京都	48	14.6	18.8	18.8	-	-	47.9
	神奈川県	18	22.2	22.2	11.1	-	-	44.4
	新潟県	22	36.4	18.2	9.1	-	-	36.4
	富山県	15	26.7	33.3	6.7	6.7	-	26.7
	石川県	16	31.3	12.5	25.0	-	-	31.3
	福井県	17	17.6	17.6	17.6	-	-	47.1
	山梨県	22	50.0	9.1	9.1	-	-	31.8
	長野県	59	27.1	13.6	15.3	1.7	-	42.4
	岐阜県	37	13.5	21.6	18.9	-	-	45.9
	静岡県	26	7.7	26.9	15.4	-	-	50.0
	愛知県	51	13.7	7.8	13.7	2.0	3.9	58.8
	三重県	26	15.4	34.6	15.4	-	-	34.6
	滋賀県	18	16.7	16.7	16.7	-	-	50.0
	京都府	21	23.8	23.8	14.3	-	-	38.1
	大阪府	33	6.1	24.2	30.3	-	-	39.4
	兵庫県	35	25.7	22.9	20.0	2.9	-	28.6
	奈良県	26	15.4	30.8	23.1	-	-	30.8
	和歌山県	22	31.8	27.3	13.6	-	-	27.3
	鳥取県	15	26.7	26.7	6.7	-	-	40.0
	島根県	13	38.5	-	30.8	7.7	-	23.1
	岡山県	21	42.9	42.9	-	4.8	-	9.5
	広島県	20	5.0	30.0	25.0	-	-	40.0
	山口県	14	14.3	21.4	7.1	-	-	57.1
	徳島県	19	42.1	15.8	21.1	-	-	21.1
	香川県	16	18.8	18.8	37.5	6.3	-	18.8
	愛媛県	18	22.2	22.2	16.7	-	-	38.9
	高知県	31	29.0	9.7	19.4	3.2	-	38.7
	福岡県	56	12.5	16.1	17.9	-	-	53.6
	佐賀県	17	23.5	11.8	11.8	-	-	52.9
	長崎県	16	75.0	6.3	6.3	-	-	12.5
	熊本県	39	35.9	23.1	15.4	-	-	25.6
	大分県	16	12.5	18.8	25.0	6.3	-	37.5
	宮崎県	19	21.1	31.6	10.5	-	-	36.8
	鹿児島県	33	42.4	18.2	12.1	-	-	27.3
	沖縄県	17	23.5	11.8	11.8	-	-	52.9

【気象防災ワークショップ】



n=29 以下は参考値

地方予報区別でみると、近畿地方では「とても役立っている」(26.5%)と「やや役立っている」(46.5%)を合わせると73.0%であり、他の地方予報区に比べて多い。

調査結果

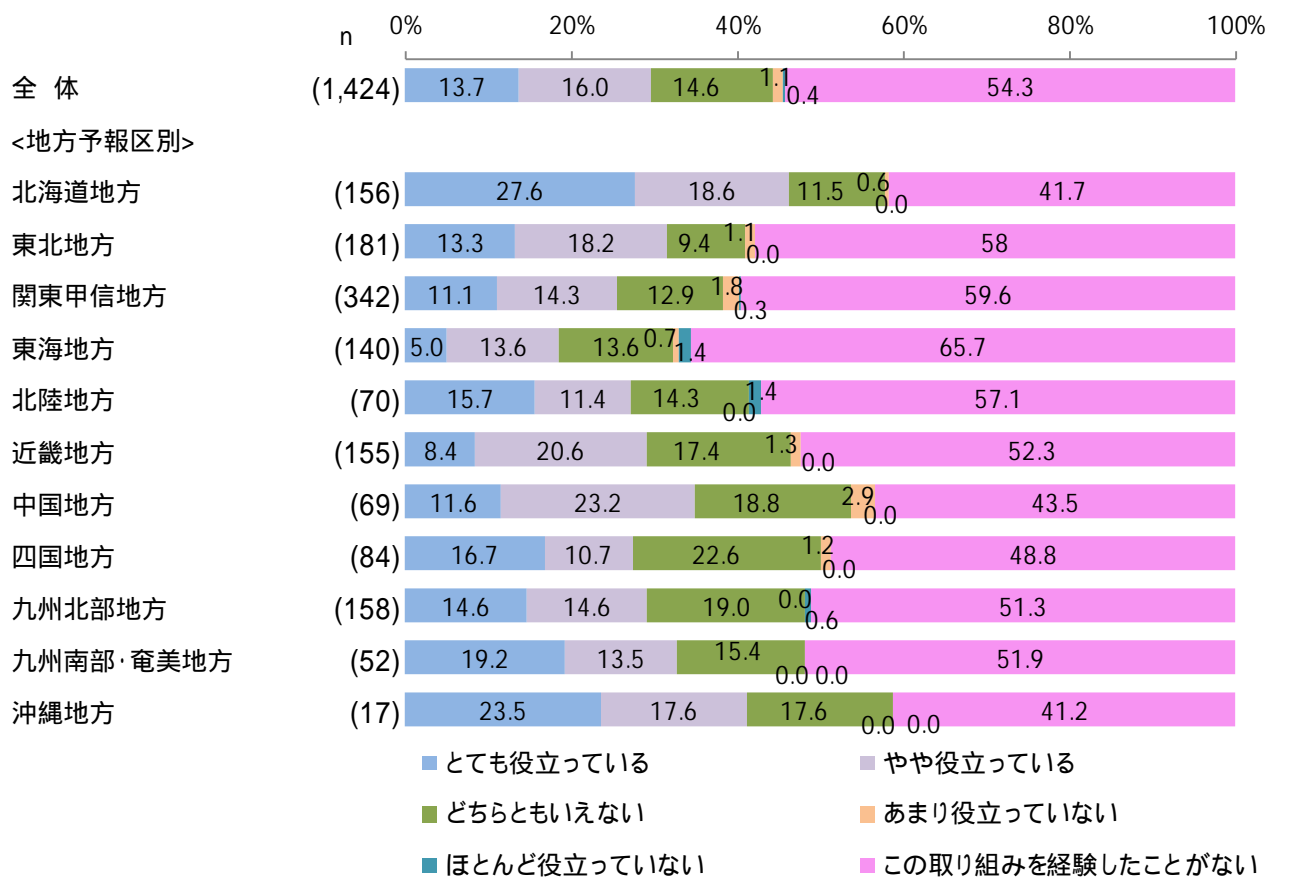
(参考)

* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		(%)						
		とても 役立 っている	やや 役立 っている	ど ち ら と も い え ない	い あ ま り 役 立 っ て い な い	な ほ と ん ど 役 立 っ て い ない	し こ の 取 り 組 み を 経 験 し た こ と が な い	
n								
全体	1424	27.8	32.7	13.3	1.1	0.4	24.8	
都 道 府 県 別	北海道	156	28.2	26.3	13.5	-	32.1	
	青森県	33	12.1	24.2	9.1	3.0	51.5	
	岩手県	28	64.3	25.0	7.1	-	3.6	
	宮城県	26	26.9	19.2	15.4	-	38.5	
	秋田県	22	40.9	54.5	4.5	-	-	
	山形県	30	10.0	16.7	16.7	3.3	53.3	
	福島県	42	45.2	26.2	7.1	-	21.4	
	茨城県	40	27.5	47.5	20.0	-	5.0	
	栃木県	22	36.4	40.9	4.5	-	18.2	
	群馬県	27	25.9	55.6	14.8	-	3.7	
	埼玉県	62	22.6	25.8	17.7	4.8	29.0	
	千葉県	44	36.4	52.3	9.1	-	2.3	
	東京都	48	29.2	39.6	12.5	4.2	14.6	
	神奈川県	18	33.3	5.6	22.2	5.6	5.6	27.8
	新潟県	22	18.2	40.9	4.5	-	36.4	
	富山県	15	26.7	46.7	13.3	-	6.7	
	石川県	16	12.5	18.8	12.5	-	56.3	
	福井県	17	47.1	29.4	5.9	-	17.6	
	山梨県	22	40.9	18.2	18.2	-	22.7	
	長野県	59	32.2	27.1	13.6	-	27.1	
	岐阜県	37	16.2	32.4	13.5	-	37.8	
	静岡県	26	23.1	26.9	15.4	3.8	30.8	
	愛知県	51	11.8	31.4	15.7	-	5.9	35.3
	三重県	26	34.6	26.9	15.4	3.8	19.2	
	滋賀県	18	11.1	44.4	16.7	-	27.8	
	京都府	21	28.6	33.3	19.0	-	19.0	
	大阪府	33	33.3	60.6	3.0	3.0	-	
	兵庫県	35	22.9	40.0	22.9	-	14.3	
	奈良県	26	19.2	61.5	11.5	-	7.7	
	和歌山県	22	40.9	31.8	4.5	-	22.7	
	鳥取県	15	40.0	33.3	-	6.7	20.0	
	島根県	13	46.2	23.1	23.1	-	7.7	
	岡山県	21	23.8	28.6	14.3	-	33.3	
	広島県	20	5.0	25.0	20.0	-	50.0	
	山口県	14	50.0	14.3	21.4	-	14.3	
	徳島県	19	26.3	42.1	10.5	-	21.1	
	香川県	16	25.0	50.0	18.8	6.3	-	
	愛媛県	18	22.2	33.3	16.7	-	27.8	
	高知県	31	29.0	25.8	12.9	-	32.3	
	福岡県	56	26.8	32.1	10.7	1.8	28.6	
	佐賀県	17	5.9	29.4	23.5	5.9	35.3	
	長崎県	16	25.0	25.0	25.0	-	25.0	
	熊本県	39	28.2	33.3	15.4	-	23.1	
	大分県	16	25.0	43.8	18.8	-	12.5	
	宮崎県	19	10.5	36.8	-	-	52.6	
	鹿児島県	33	48.5	24.2	9.1	-	18.2	
	沖縄県	17	11.8	23.5	11.8	-	52.9	

【市区町村が主催する防災訓練への状況付与やシナリオ作成に関する助言】



n=29 以下は参考値

地方予報区別でみると、北海道地方では「とても役立っている」(27.6%)と「やや役立っている」(18.6%)を合わせると46.2%あり、他の地方予報区に比べて多い。

調査結果

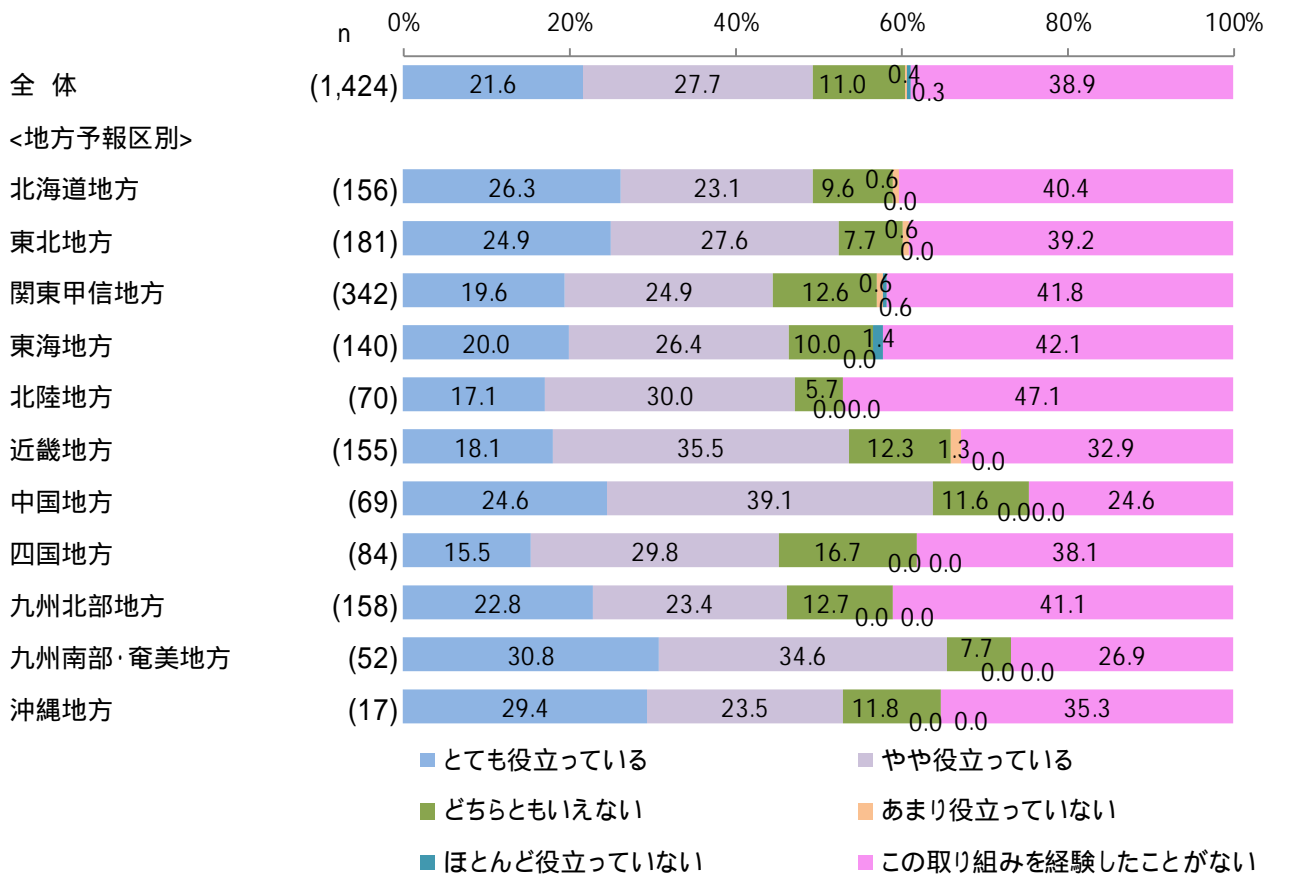
(参考)

* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		(%)						
		とても 役立 っている	やや 役立 っている	ど ち ら と も い え ない	い あ ま り 役 立 っ て い な	な ほ と ん ど 役 立 っ て い	し こ の 取 り 組 み を 経 験	
		n						
全体	1424	13.7	16.0	14.6	1.1	0.4	54.3	
都道府県別	北海道	156	27.6	18.6	11.5	0.6	-	41.7
	青森県	33	15.2	30.3	6.1	-	-	48.5
	岩手県	28	17.9	14.3	-	3.6	-	64.3
	宮城県	26	11.5	19.2	3.8	-	-	65.4
	秋田県	22	13.6	18.2	31.8	-	-	36.4
	山形県	30	3.3	23.3	10.0	3.3	-	60.0
	福島県	42	16.7	7.1	9.5	-	-	66.7
	茨城県	40	7.5	17.5	17.5	-	-	57.5
	栃木県	22	31.8	4.5	4.5	-	-	59.1
	群馬県	27	11.1	25.9	14.8	-	-	48.1
	埼玉県	62	4.8	12.9	14.5	3.2	-	64.5
	千葉県	44	6.8	22.7	4.5	-	-	65.9
	東京都	48	8.3	12.5	18.8	2.1	-	58.3
	神奈川県	18	16.7	-	5.6	5.6	5.6	66.7
	新潟県	22	13.6	22.7	4.5	-	-	59.1
	富山県	15	20.0	6.7	20.0	-	6.7	46.7
	石川県	16	18.8	6.3	18.8	-	-	56.3
	福井県	17	11.8	5.9	17.6	-	-	64.7
	山梨県	22	9.1	9.1	22.7	-	-	59.1
	長野県	59	16.9	13.6	10.2	3.4	-	55.9
	岐阜県	37	8.1	21.6	8.1	-	-	62.2
	静岡県	26	3.8	3.8	19.2	-	-	73.1
	愛知県	51	2.0	5.9	17.6	2.0	3.9	68.6
	三重県	26	7.7	26.9	7.7	-	-	57.7
	滋賀県	18	11.1	16.7	27.8	-	-	44.4
	京都府	21	9.5	28.6	14.3	-	-	47.6
	大阪府	33	6.1	24.2	15.2	-	-	54.5
	兵庫県	35	5.7	17.1	14.3	5.7	-	57.1
	奈良県	26	7.7	26.9	23.1	-	-	42.3
	和歌山県	22	13.6	9.1	13.6	-	-	63.6
	鳥取県	15	13.3	13.3	13.3	6.7	-	53.3
	島根県	13	7.7	30.8	23.1	7.7	-	30.8
	岡山県	21	19.0	28.6	23.8	-	-	28.6
	広島県	20	5.0	20.0	15.0	-	-	60.0
	山口県	14	-	14.3	21.4	-	-	64.3
	徳島県	19	10.5	10.5	31.6	-	-	47.4
	香川県	16	12.5	18.8	12.5	6.3	-	50.0
	愛媛県	18	16.7	16.7	22.2	-	-	44.4
	高知県	31	22.6	3.2	22.6	-	-	51.6
	福岡県	56	8.9	8.9	16.1	-	-	66.1
	佐賀県	17	17.6	5.9	29.4	-	5.9	41.2
	長崎県	16	31.3	-	25.0	-	-	43.8
	熊本県	39	23.1	30.8	15.4	-	-	30.8
	大分県	16	6.3	18.8	18.8	-	-	56.3
	宮崎県	19	5.3	15.8	5.3	-	-	73.7
	鹿児島県	33	27.3	12.1	21.2	-	-	39.4
	沖縄県	17	23.5	17.6	17.6	-	-	41.2

【市区町村の職員への教育・研修の支援】



n=29 以下は参考値

地方予報区別でみると、九州南部・奄美地方では「とても役立っている」(30.8%)と「やや役立っている」(34.6%)を合わせると65.4%であり、他の地方予報区に比べて多い。

調査結果

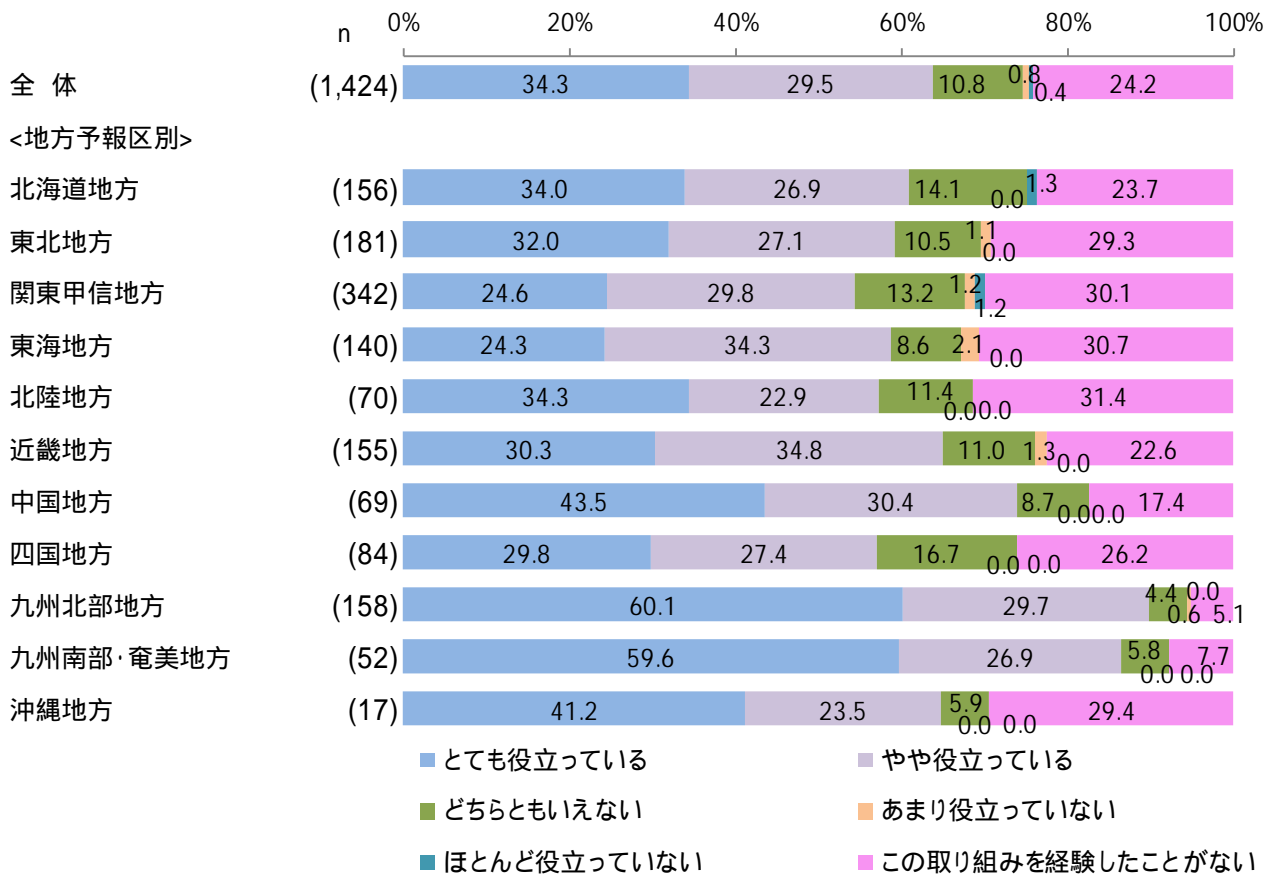
(参考)

* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		(%)						
		とても 役立 っている	やや 役立 っている	ど ち ら と も い え ない	い あ ま り 役 立 っ て い な い	な ほ と ん ど 役 立 っ て い ない	し こ の 取 り 組 み を 経 験 し た こ と が な い	
n								
全体	1424	21.6	27.7	11.0	0.4	0.3	38.9	
都道府県別	北海道	156	26.3	23.1	9.6	0.6	-	40.4
	青森県	33	24.2	33.3	6.1	-	-	36.4
	岩手県	28	35.7	32.1	7.1	-	-	25.0
	宮城県	26	26.9	15.4	7.7	-	-	50.0
	秋田県	22	22.7	36.4	13.6	-	-	27.3
	山形県	30	16.7	43.3	10.0	3.3	-	26.7
	福島県	42	23.8	11.9	4.8	-	-	59.5
	茨城県	40	15.0	32.5	10.0	-	-	42.5
	栃木県	22	31.8	18.2	4.5	-	-	45.5
	群馬県	27	18.5	29.6	11.1	-	-	40.7
	埼玉県	62	11.3	32.3	14.5	3.2	-	38.7
	千葉県	44	18.2	18.2	11.4	-	2.3	50.0
	東京都	48	27.1	22.9	12.5	-	-	37.5
	神奈川県	18	16.7	5.6	22.2	-	5.6	50.0
	新潟県	22	18.2	36.4	-	-	-	45.5
	富山県	15	20.0	20.0	6.7	-	-	53.3
	石川県	16	12.5	31.3	12.5	-	-	43.8
	福井県	17	17.6	29.4	5.9	-	-	47.1
	山梨県	22	18.2	18.2	18.2	-	-	45.5
	長野県	59	23.7	27.1	11.9	-	-	37.3
	岐阜県	37	21.6	32.4	10.8	-	-	35.1
	静岡県	26	19.2	38.5	11.5	-	-	30.8
	愛知県	51	13.7	19.6	9.8	-	3.9	52.9
	三重県	26	30.8	19.2	7.7	-	-	42.3
	滋賀県	18	11.1	33.3	11.1	-	-	44.4
	京都府	21	19.0	33.3	14.3	-	-	33.3
	大阪府	33	12.1	33.3	15.2	-	-	39.4
	兵庫県	35	20.0	34.3	11.4	5.7	-	28.6
	奈良県	26	11.5	46.2	11.5	-	-	30.8
	和歌山県	22	36.4	31.8	9.1	-	-	22.7
	鳥取県	15	20.0	46.7	6.7	-	-	26.7
	島根県	13	38.5	23.1	23.1	-	-	15.4
	岡山県	21	28.6	38.1	9.5	-	-	23.8
	広島県	20	15.0	45.0	10.0	-	-	30.0
	山口県	14	7.1	28.6	7.1	-	-	57.1
	徳島県	19	10.5	31.6	15.8	-	-	42.1
	香川県	16	25.0	25.0	25.0	-	-	25.0
	愛媛県	18	11.1	38.9	11.1	-	-	38.9
	高知県	31	16.1	25.8	16.1	-	-	41.9
	福岡県	56	12.5	19.6	14.3	-	-	53.6
	佐賀県	17	11.8	29.4	17.6	-	-	41.2
	長崎県	16	62.5	6.3	6.3	-	-	25.0
	熊本県	39	28.2	25.6	12.8	-	-	33.3
	大分県	16	31.3	37.5	12.5	-	-	18.8
	宮崎県	19	15.8	36.8	5.3	-	-	42.1
	鹿児島県	33	39.4	33.3	9.1	-	-	18.2
	沖縄県	17	29.4	23.5	11.8	-	-	35.3

【気象台が行うオンラインでの気象解説（「あなたの町の予報官テレビ」など）】



n=29 以下は参考値

地方予報区別でみると、九州北部地方では「とても役立っている」(60.1%)と「やや役立っている」(29.7%)を合わせると89.8%であり、他の地方予報区に比べて多い。

調査結果

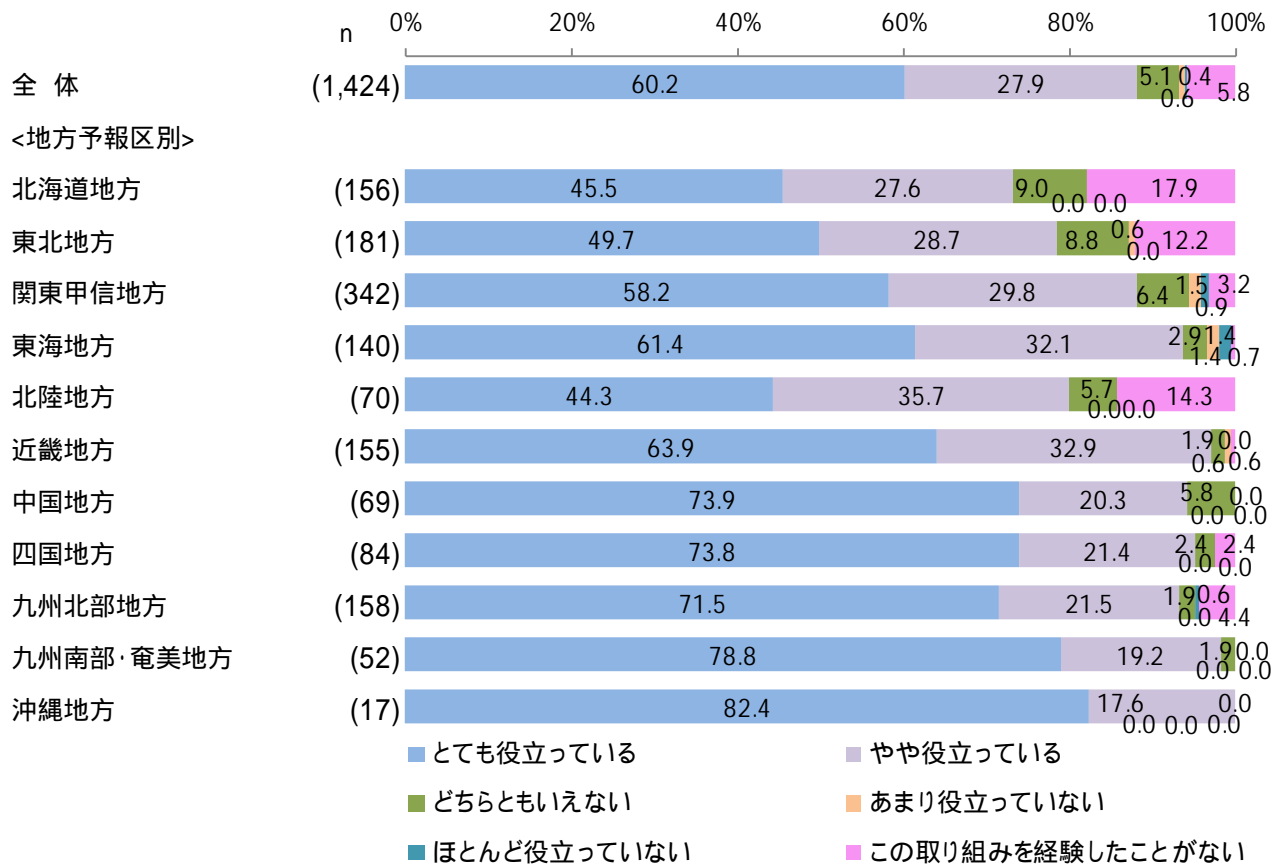
(参考)

* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		(%)						
		とても 役立 っている	やや 役立 っている	ど ち ら と も い え ない	い あ ま り 役 立 っ て い な い	な ほ と ん ど 役 立 っ て い ない	し こ の 取 り 組 み を 経 験 し た こ と が な い	
n								
全体	1424	34.3	29.5	10.8	0.8	0.4	24.2	
都道府県別	北海道	156	34.0	26.9	14.1	-	1.3	23.7
	青森県	33	45.5	33.3	12.1	-	-	9.1
	岩手県	28	50.0	42.9	3.6	3.6	-	-
	宮城県	26	19.2	11.5	3.8	3.8	-	61.5
	秋田県	22	36.4	45.5	13.6	-	-	4.5
	山形県	30	16.7	23.3	23.3	-	-	36.7
	福島県	42	26.2	14.3	7.1	-	-	52.4
	茨城県	40	12.5	40.0	17.5	5.0	-	25.0
	栃木県	22	36.4	50.0	9.1	-	-	4.5
	群馬県	27	25.9	48.1	11.1	-	-	14.8
	埼玉県	62	24.2	35.5	9.7	-	-	30.6
	千葉県	44	6.8	22.7	15.9	-	2.3	52.3
	東京都	48	50.0	35.4	10.4	4.2	-	-
	神奈川県	18	22.2	11.1	16.7	-	16.7	33.3
	新潟県	22	4.5	18.2	9.1	-	-	68.2
	富山県	15	26.7	13.3	20.0	-	-	40.0
	石川県	16	50.0	37.5	6.3	-	-	6.3
	福井県	17	64.7	23.5	11.8	-	-	-
	山梨県	22	27.3	-	18.2	-	-	54.5
	長野県	59	20.3	18.6	13.6	-	-	47.5
	岐阜県	37	32.4	43.2	5.4	2.7	-	16.2
	静岡県	26	11.5	30.8	19.2	7.7	-	30.8
	愛知県	51	7.8	27.5	9.8	-	-	54.9
	三重県	26	57.7	38.5	-	-	-	3.8
	滋賀県	18	33.3	27.8	16.7	-	-	22.2
	京都府	21	47.6	38.1	14.3	-	-	-
	大阪府	33	15.2	36.4	9.1	3.0	-	36.4
	兵庫県	35	45.7	40.0	5.7	2.9	-	5.7
	奈良県	26	11.5	42.3	11.5	-	-	34.6
	和歌山県	22	31.8	18.2	13.6	-	-	36.4
	鳥取県	15	60.0	26.7	6.7	-	-	6.7
	島根県	13	38.5	38.5	15.4	-	-	7.7
	岡山県	21	47.6	28.6	9.5	-	-	14.3
	広島県	20	30.0	30.0	5.0	-	-	35.0
	山口県	14	42.9	42.9	-	-	-	14.3
	徳島県	19	15.8	21.1	31.6	-	-	31.6
	香川県	16	12.5	43.8	25.0	-	-	18.8
	愛媛県	18	50.0	22.2	-	-	-	27.8
	高知県	31	35.5	25.8	12.9	-	-	25.8
	福岡県	56	66.1	26.8	7.1	-	-	-
	佐賀県	17	52.9	35.3	5.9	-	-	5.9
	長崎県	16	93.8	-	6.3	-	-	-
	熊本県	39	56.4	33.3	-	2.6	-	7.7
	大分県	16	37.5	43.8	6.3	-	-	12.5
	宮崎県	19	47.4	36.8	-	-	-	15.8
	鹿児島県	33	66.7	21.2	9.1	-	-	3.0
	沖縄県	17	41.2	23.5	5.9	-	-	29.4

【台風説明会】



n=29 以下は参考値

地方予報区別でみると、九州南部・奄美地方では「とても役立っている」(78.8%)と「やや役立っている」(19.2%)を合わせると98.0%であり、他の地方予報区に比べて多い。

調査結果

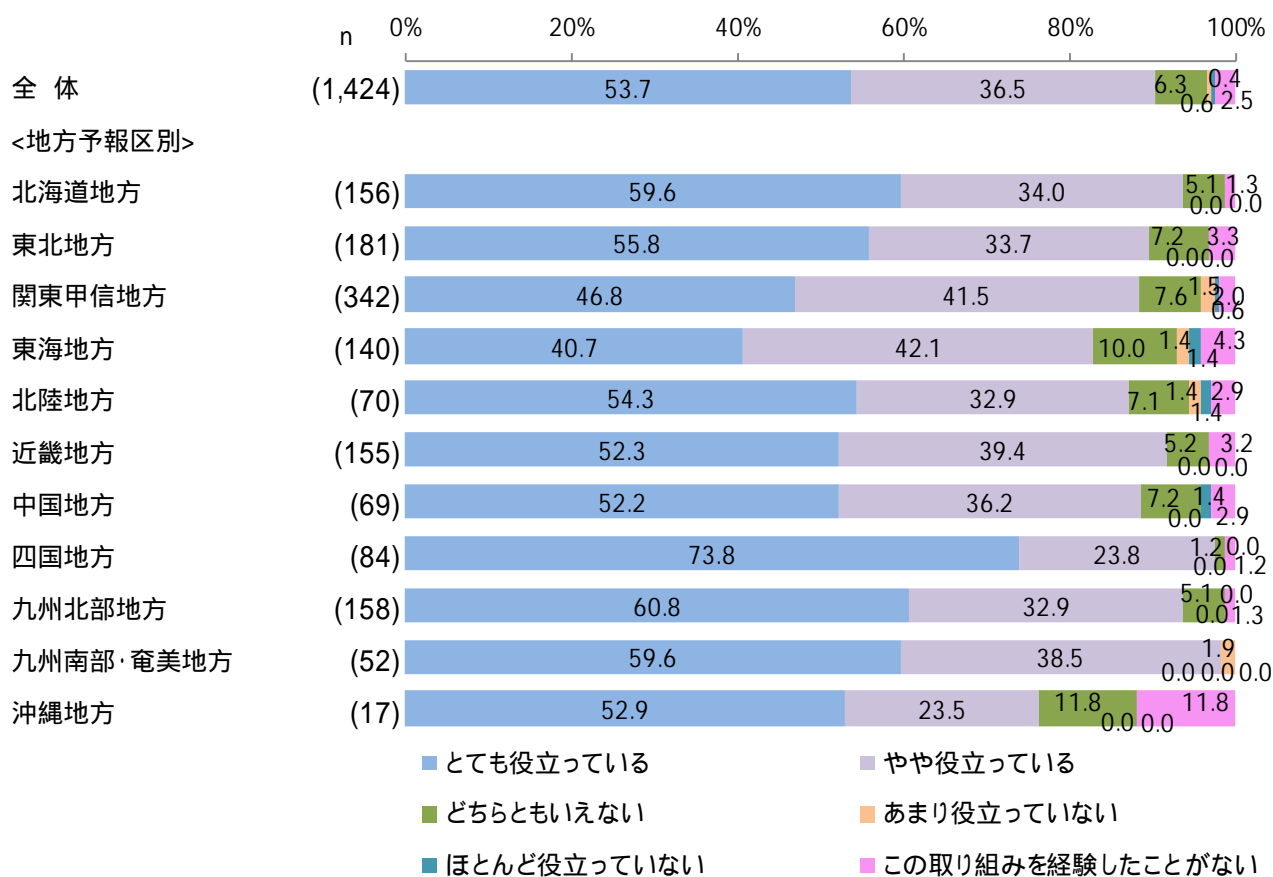
(参考)

* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		(%)						
		とても 役立 っている	やや 役立 っている	ど ち ら と も い え ない	い あ ま り 役 立 っ て い な	な ほ と ん ど 役 立 っ て い	し こ の 取 り 組 み を 経 験	
n								
全体	1424	60.2	27.9	5.1	0.6	0.4	5.8	
都道府県別	北海道	156	45.5	27.6	9.0	-	17.9	
	青森県	33	51.5	39.4	6.1	-	3.0	
	岩手県	28	67.9	21.4	3.6	-	7.1	
	宮城県	26	34.6	34.6	3.8	3.8	23.1	
	秋田県	22	45.5	50.0	4.5	-	-	
	山形県	30	33.3	13.3	23.3	-	30.0	
	福島県	42	59.5	21.4	9.5	-	9.5	
	茨城県	40	55.0	35.0	2.5	7.5	-	
	栃木県	22	63.6	31.8	4.5	-	-	
	群馬県	27	55.6	40.7	-	-	3.7	
	埼玉県	62	66.1	30.6	3.2	-	-	
	千葉県	44	45.5	31.8	18.2	4.5	-	
	東京都	48	60.4	20.8	6.3	-	2.1	
	神奈川県	18	61.1	16.7	11.1	-	11.1	
	新潟県	22	18.2	40.9	4.5	-	36.4	
	富山県	15	53.3	40.0	6.7	-	-	
	石川県	16	50.0	37.5	6.3	-	6.3	
	福井県	17	64.7	23.5	5.9	-	5.9	
	山梨県	22	72.7	18.2	9.1	-	-	
	長野県	59	52.5	33.9	5.1	-	8.5	
	岐阜県	37	75.7	21.6	2.7	-	-	
	静岡県	26	53.8	38.5	3.8	3.8	-	
	愛知県	51	51.0	39.2	3.9	2.0	3.9	
	三重県	26	69.2	26.9	-	-	3.8	
	滋賀県	18	66.7	33.3	-	-	-	
	京都府	21	66.7	28.6	4.8	-	-	
	大阪府	33	63.6	33.3	-	3.0	-	
	兵庫県	35	65.7	31.4	2.9	-	-	
	奈良県	26	53.8	38.5	3.8	-	3.8	
	和歌山県	22	68.2	31.8	-	-	-	
	鳥取県	15	80.0	20.0	-	-	-	
	島根県	13	38.5	38.5	23.1	-	-	
	岡山県	21	95.2	4.8	-	-	-	
	広島県	20	70.0	25.0	5.0	-	-	
	山口県	14	85.7	14.3	-	-	-	
	徳島県	19	63.2	31.6	5.3	-	-	
	香川県	16	50.0	50.0	-	-	-	
	愛媛県	18	83.3	16.7	-	-	-	
	高知県	31	87.1	3.2	3.2	-	6.5	
	福岡県	56	55.4	30.4	1.8	-	1.8	
	佐賀県	17	76.5	23.5	-	-	-	
	長崎県	16	100.0	-	-	-	-	
	熊本県	39	69.2	25.6	2.6	-	2.6	
	大分県	16	87.5	6.3	6.3	-	-	
	宮崎県	19	78.9	21.1	-	-	-	
	鹿児島県	33	78.8	18.2	3.0	-	-	
	沖縄県	17	82.4	17.6	-	-	-	

【气象台から配信される防災メール】



n=29 以下は参考値

地方予報区別で見ると、九州南部・奄美地方では「とても役立っている」(59.6%)と「やや役立っている」(38.5%)を合わせると98.1%であり、他の地方予報区に比べて多い。

調査結果

(参考)

* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

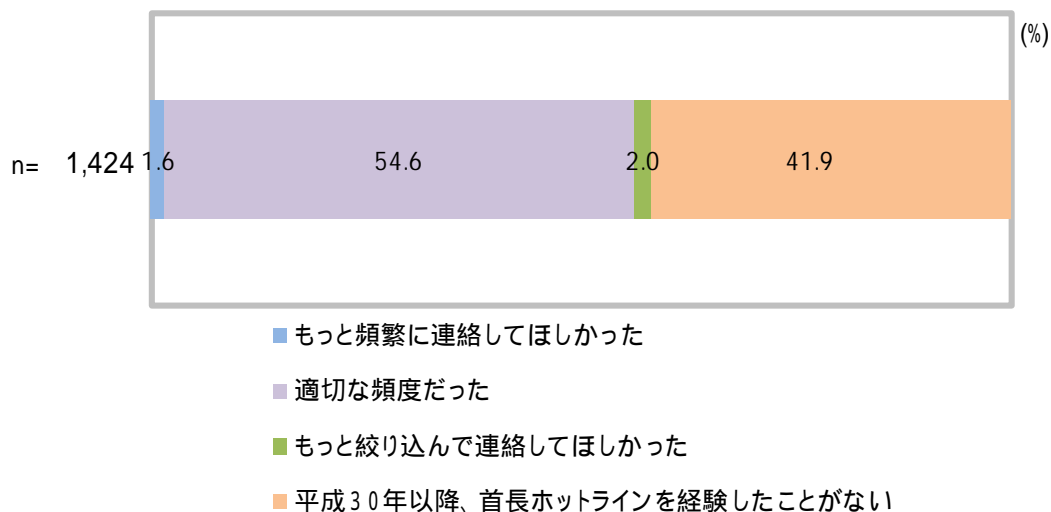
* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		(%)						
		とても 役立 っている	やや 役立 っている	ど ち ら と も い え ない	い あ ま り 役 立 っ て い な い	な ほ と ん ど 役 立 っ て い ない	し こ の 取 り 組 み を 経 験 し た こ と が な い	
n								
全体	1424	53.7	36.5	6.3	0.6	0.4	2.5	
都道府県別	北海道	156	59.6	34.0	5.1	-	-	1.3
	青森県	33	57.6	30.3	9.1	-	-	3.0
	岩手県	28	57.1	32.1	3.6	-	-	7.1
	宮城県	26	61.5	34.6	3.8	-	-	-
	秋田県	22	45.5	45.5	4.5	-	-	4.5
	山形県	30	50.0	40.0	10.0	-	-	-
	福島県	42	59.5	26.2	9.5	-	-	4.8
	茨城県	40	32.5	57.5	5.0	-	-	5.0
	栃木県	22	63.6	27.3	4.5	-	-	4.5
	群馬県	27	33.3	48.1	7.4	3.7	-	7.4
	埼玉県	62	45.2	45.2	6.5	1.6	1.6	-
	千葉県	44	50.0	40.9	6.8	2.3	-	-
	東京都	48	43.8	41.7	10.4	2.1	-	2.1
	神奈川県	18	50.0	16.7	22.2	5.6	5.6	-
	新潟県	22	45.5	31.8	9.1	4.5	-	9.1
	富山県	15	73.3	26.7	-	-	-	-
	石川県	16	37.5	43.8	18.8	-	-	-
	福井県	17	64.7	29.4	-	-	5.9	-
	山梨県	22	59.1	31.8	4.5	-	-	4.5
	長野県	59	52.5	40.7	6.8	-	-	-
	岐阜県	37	67.6	21.6	8.1	-	-	2.7
	静岡県	26	26.9	53.8	11.5	-	-	7.7
	愛知県	51	35.3	51.0	5.9	3.9	3.9	-
	三重県	26	26.9	42.3	19.2	-	-	11.5
	滋賀県	18	66.7	33.3	-	-	-	-
	京都府	21	52.4	28.6	14.3	-	-	4.8
	大阪府	33	54.5	42.4	3.0	-	-	-
	兵庫県	35	45.7	48.6	5.7	-	-	-
	奈良県	26	34.6	50.0	7.7	-	-	7.7
	和歌山県	22	68.2	22.7	-	-	-	9.1
	鳥取県	15	66.7	26.7	6.7	-	-	-
	島根県	13	30.8	53.8	7.7	-	-	7.7
	岡山県	21	66.7	33.3	-	-	-	-
	広島県	20	40.0	35.0	15.0	-	5.0	5.0
	山口県	14	71.4	21.4	7.1	-	-	-
	徳島県	19	57.9	42.1	-	-	-	-
	香川県	16	56.3	43.8	-	-	-	-
	愛媛県	18	72.2	27.8	-	-	-	-
	高知県	31	93.5	-	3.2	-	-	3.2
	福岡県	56	50.0	44.6	3.6	-	-	1.8
	佐賀県	17	52.9	41.2	5.9	-	-	-
	長崎県	16	81.3	12.5	6.3	-	-	-
	熊本県	39	64.1	28.2	5.1	-	-	2.6
	大分県	16	68.8	25.0	6.3	-	-	-
	宮崎県	19	57.9	42.1	-	-	-	-
	鹿児島県	33	60.6	36.4	-	3.0	-	-
	沖縄県	17	52.9	23.5	11.8	-	-	11.8

(12) 気象台から行った「ホットライン」の頻度

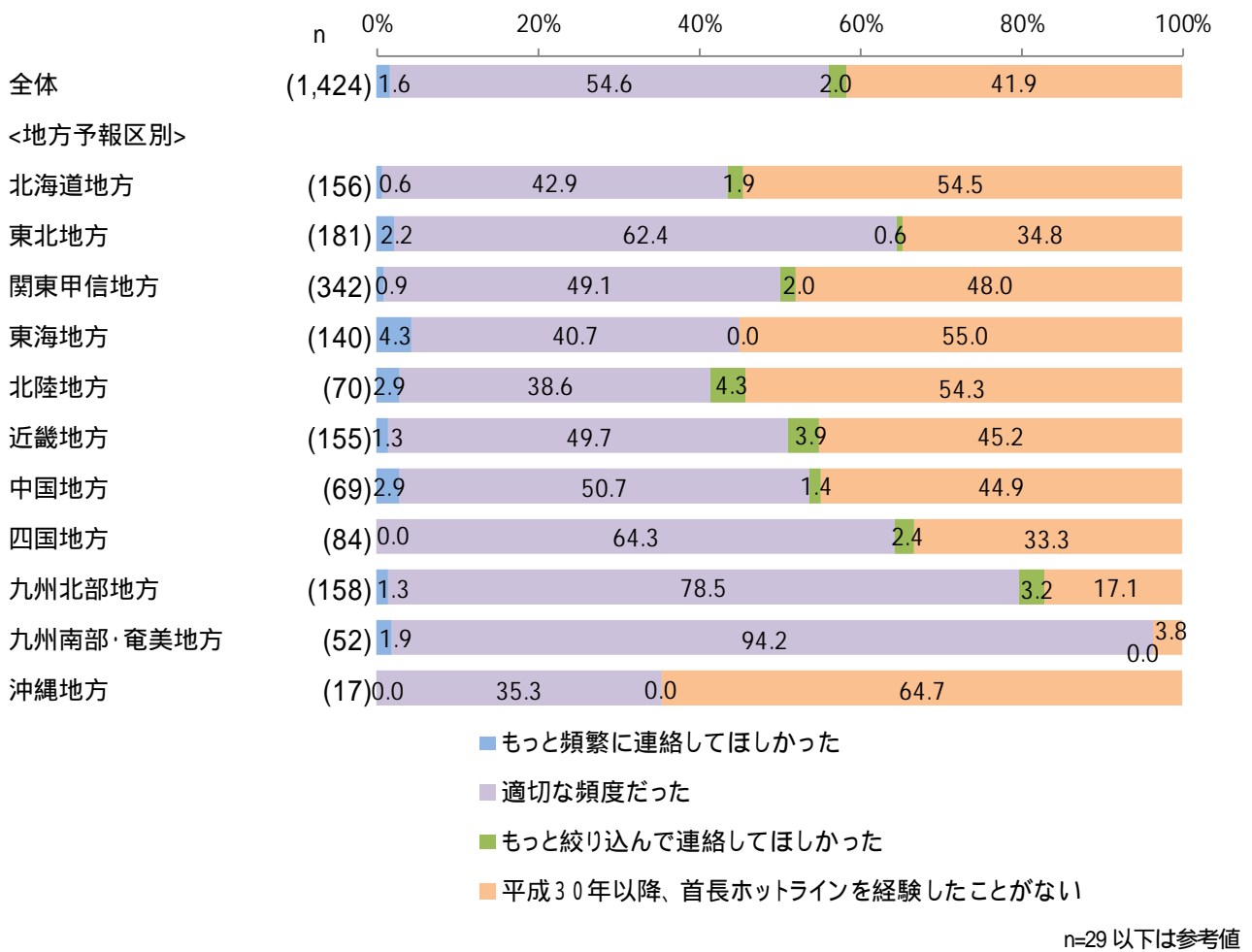
問12 気象台から行った「ホットライン」の頻度は適切でしたか。

【気象台長から行った「首長ホットライン」】



気象台長から行った「首長ホットライン」の頻度については、「適切な頻度だった」(54.6%)が最も多く、次いで「平成30年以降、首長ホットラインを経験したことがない」(41.9%)「もっと絞り込んで連絡してほしかった」(2.0%)、「もっと頻繁に連絡してほしかった」(1.6%)となっている。

・調査結果



地方予報区別でみると、九州南部・奄美地方、九州北部地方では「適切な頻度だった」(94.2%、78.5%)が他の地方予報区に比べて多い。

(参考)

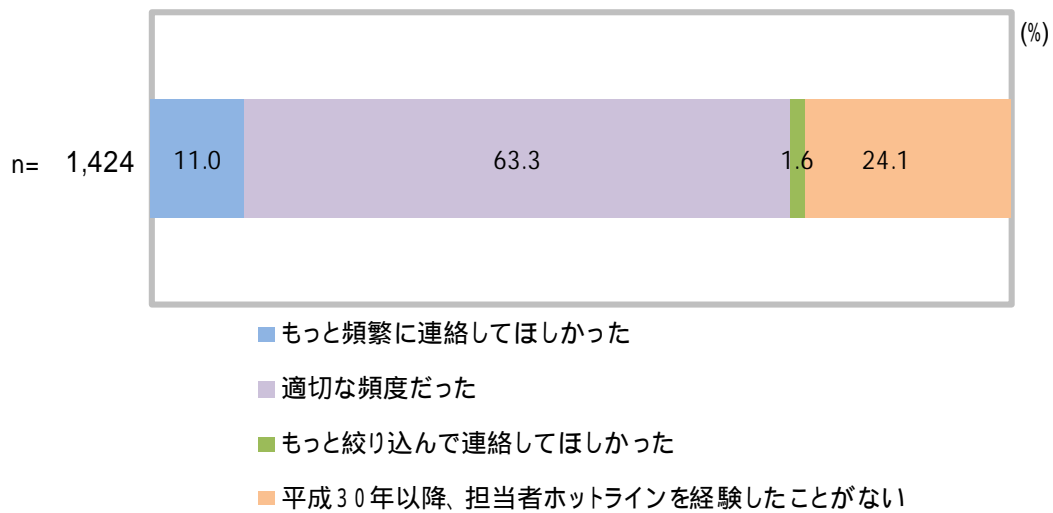
* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

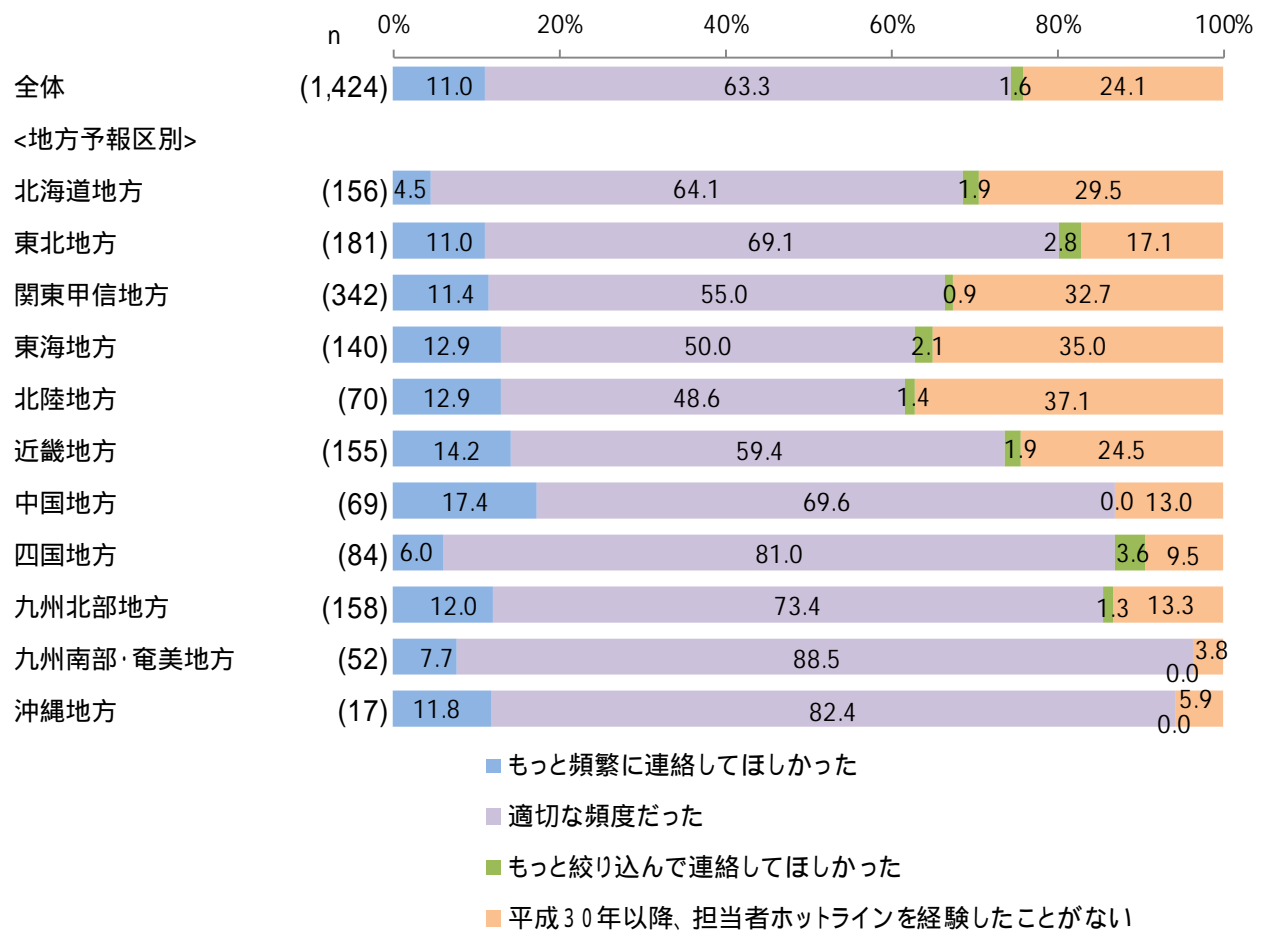
		(%)				
		n	ても ほし かつ た 頻 繁 に 連 絡 し	適 切 な 頻 度 だ っ た	絡 も し て ほ し か つ た 連	験 長 平 し ホ 成 た ッ 3 こ ト 0 が イ ン 降 、 な い を 経 首
全体		1424	1.6	54.6	2.0	41.9
都 道 府 県 別	北海道	156	0.6	42.9	1.9	54.5
	青森県	33	3.0	51.5	-	45.5
	岩手県	28	-	57.1	-	42.9
	宮城県	26	-	76.9	-	23.1
	秋田県	22	4.5	45.5	-	50.0
	山形県	30	3.3	70.0	-	26.7
	福島県	42	2.4	69.0	2.4	26.2
	茨城県	40	-	45.0	2.5	52.5
	栃木県	22	4.5	54.5	4.5	36.4
	群馬県	27	-	48.1	3.7	48.1
	埼玉県	62	-	53.2	1.6	45.2
	千葉県	44	-	38.6	-	61.4
	東京都	48	-	50.0	2.1	47.9
	神奈川県	18	-	38.9	-	61.1
	新潟県	22	9.1	40.9	9.1	40.9
	富山県	15	-	13.3	-	86.7
	石川県	16	-	68.8	6.3	25.0
	福井県	17	-	29.4	-	70.6
	山梨県	22	4.5	50.0	4.5	40.9
	長野県	59	1.7	55.9	1.7	40.7
	岐阜県	37	2.7	51.4	-	45.9
	静岡県	26	7.7	57.7	-	34.6
	愛知県	51	3.9	29.4	-	66.7
	三重県	26	3.8	30.8	-	65.4
	滋賀県	18	-	77.8	16.7	5.6
	京都府	21	-	38.1	-	61.9
	大阪府	33	3.0	36.4	3.0	57.6
	兵庫県	35	2.9	68.6	5.7	22.9
	奈良県	26	-	26.9	-	73.1
	和歌山県	22	-	54.5	-	45.5
	鳥取県	15	-	60.0	-	40.0
	島根県	13	7.7	61.5	-	30.8
	岡山県	21	4.8	42.9	-	52.4
	広島県	20	-	45.0	5.0	50.0
	山口県	14	-	85.7	-	14.3
	徳島県	19	-	73.7	-	26.3
	香川県	16	-	56.3	-	43.8
	愛媛県	18	-	38.9	5.6	55.6
	高知県	31	-	77.4	3.2	19.4
	福岡県	56	1.8	71.4	1.8	25.0
	佐賀県	17	-	88.2	11.8	-
	長崎県	16	-	93.8	-	6.3
	熊本県	39	2.6	82.1	5.1	10.3
	大分県	16	-	62.5	-	37.5
	宮崎県	19	-	100.0	-	-
	鹿児島県	33	3.0	90.9	-	6.1
	沖縄県	17	-	35.3	-	64.7

・ 調査結果

【气象台担当者から行った「担当者ホットライン」】



气象台担当者から行った「担当者ホットライン」の頻度については、「適切な頻度だった」(63.3%)が最も多く、次いで「平成30年以降、担当者ホットラインを経験したことがない」(24.1%)、「もっと頻繁に連絡してほしかった」(11.0%)、「もっと絞り込んで連絡してほしかった」(1.6%)となっている。



n=29 以下は参考値

地方予報区別でみると、四国地方、九州南部・奄美地方では「適切な頻度だった」(81.0%、88.5%)が他の地方予報区に比べて多い。

(参考)

* は全体 + 10ポイント以上、 は + 5ポイント以上、 は - 10ポイント以下、 は - 5ポイント以下

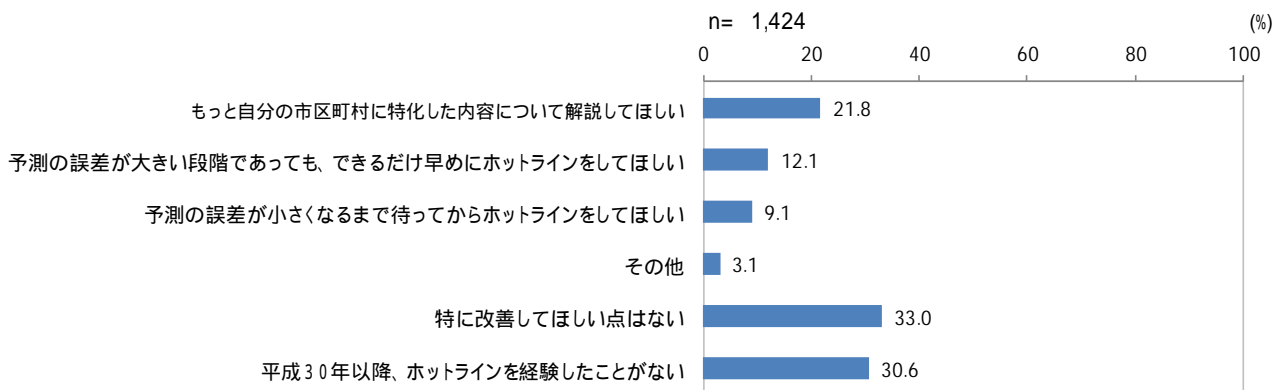
* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		(%)				
		も ほ し し か っ た	適 切 な 頻 度 だ っ た	絡 も し と 絞 り 込 ん で 連	経 験 し た こ と が イ ン を 担	
		n				
全体	1424	11.0	63.3	1.6	24.1	
都 道 府 県 別	北海道	156	4.5	64.1	1.9	29.5
	青森県	33	6.1	69.7	6.1	18.2
	岩手県	28	10.7	60.7	3.6	25.0
	宮城県	26	19.2	76.9	-	3.8
	秋田県	22	9.1	63.6	-	27.3
	山形県	30	10.0	73.3	3.3	13.3
	福島県	42	11.9	69.0	2.4	16.7
	茨城県	40	15.0	42.5	-	42.5
	栃木県	22	4.5	59.1	-	36.4
	群馬県	27	11.1	59.3	-	29.6
	埼玉県	62	8.1	58.1	1.6	32.3
	千葉県	44	18.2	45.5	-	36.4
	東京都	48	4.2	56.3	2.1	37.5
	神奈川県	18	22.2	66.7	-	11.1
	新潟県	22	13.6	54.5	4.5	27.3
	富山県	15	20.0	33.3	-	46.7
	石川県	16	12.5	62.5	-	25.0
	福井県	17	5.9	41.2	-	52.9
	山梨県	22	27.3	54.5	-	18.2
	長野県	59	6.8	59.3	1.7	32.2
	岐阜県	37	8.1	64.9	-	27.0
	静岡県	26	19.2	73.1	3.8	3.8
	愛知県	51	11.8	35.3	3.9	49.0
	三重県	26	15.4	34.6	-	50.0
	滋賀県	18	27.8	72.2	-	-
	京都府	21	23.8	57.1	4.8	14.3
	大阪府	33	12.1	42.4	3.0	42.4
	兵庫県	35	8.6	71.4	2.9	17.1
	奈良県	26	15.4	38.5	-	46.2
	和歌山県	22	4.5	81.8	-	13.6
	鳥取県	15	6.7	80.0	-	13.3
	島根県	13	23.1	61.5	-	15.4
	岡山県	21	19.0	71.4	-	9.5
	広島県	20	20.0	65.0	-	15.0
	山口県	14	14.3	64.3	-	21.4
	徳島県	19	5.3	78.9	-	15.8
	香川県	16	12.5	75.0	-	12.5
	愛媛県	18	11.1	83.3	5.6	-
	高知県	31	-	83.9	6.5	9.7
	福岡県	56	12.5	67.9	3.6	16.1
	佐賀県	17	17.6	70.6	-	11.8
	長崎県	16	-	100.0	-	-
	熊本県	39	7.7	79.5	-	12.8
	大分県	16	25.0	62.5	-	12.5
	宮崎県	19	5.3	89.5	-	5.3
	鹿児島県	33	9.1	87.9	-	3.0
	沖縄県	17	11.8	82.4	-	5.9

(13) 気象台から行った「ホットライン」の改善してほしい点

問13 気象台から行った「ホットライン」について、改善してほしい点がありますか。当てはまるものをいくつでも選んでください。

【気象台長から行った「首長ホットライン」】



気象台長から行った「首長ホットライン」の改善してほしい点については、「特に改善してほしい点はない」(33.0%)が最も多く、次いで「もっと自分の市区町村に特化した内容について解説してほしい」(21.8%)、「予測の誤差が大きい段階であっても、できるだけ早めにホットラインをしてほしい」(12.1%)、「予測の誤差が小さくなるまで待ってからホットラインをしてほしい」(9.1%)となっている。

* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	もっと自分の市区町村に特化した内容について解説してほしい	予測の誤差が大きい段階であっても、できるだけ早めにホットラインをしてほしい	予測の誤差が小さくなるまで待ってからホットラインをしてほしい	その他	特に改善してほしい点はない	平成30年以降、経験したことがない
全体		1424	21.8	12.1	9.1	3.1	33.0	30.6
地方予報区別	北海道地方	156	14.7	7.7	5.8	1.3	35.3	41.7
	東北地方	181	24.3	16.6	5.5	1.7	34.8	24.9
	関東甲信地方	342	24.6	12.0	9.6	4.4	28.1	34.2
	東海地方	140	17.1	9.3	5.7	2.1	25.0	45.0
	北陸地方	70	25.7	7.1	10.0	1.4	17.1	44.3
	近畿地方	155	17.4	10.3	11.0	3.2	40.0	28.4
	中国地方	69	20.3	18.8	2.9	1.4	33.3	31.9
	四国地方	84	21.4	13.1	8.3	4.8	33.3	26.2
	九州北部地方	158	24.1	12.0	18.4	5.1	43.7	11.4
	九州南部・奄美地方	52	34.6	21.2	13.5	3.8	40.4	1.9
沖縄地方	17	17.6	5.9	5.9	-	35.3	47.1	

地方予報区別でみると、九州南部・奄美地方では「もっと自分の市区町村に特化した内容について解説してほしい」(34.6%)が他の地方予報区に比べて多い。

(参考)

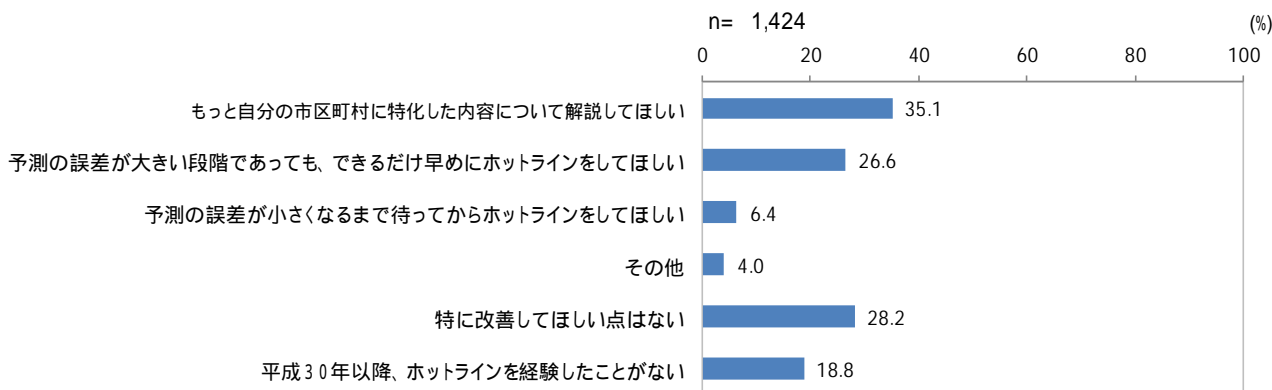
* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		(%)								
	n	いつ村も いにっ て特と 解化自 説し分 したの て内市 ほ容区 しに町	いとき ラる イン を早 しめ てに ほホ しッ	段階 での 誤差 があ っ ても 、 き いで	予測 の誤 差が 大き いか ら	ほし い イン をし て	予測 の誤 差が 小さ く	その他	点特 はに ない 改善 して ほし い	しホ平 たッ成 ことラ3 がイン0 ない年 いを降 経、 験
全体	1424	21.8	12.1	9.1	3.1	33.0	30.6			
都道府県別	北海道	156	14.7	7.7	5.8	1.3	35.3	41.7		
	青森県	33	24.2	9.1	3.0	-	39.4	27.3		
	岩手県	28	25.0	3.6	7.1	7.1	32.1	28.6		
	宮城県	26	23.1	34.6	3.8	-	46.2	11.5		
	秋田県	22	22.7	13.6	-	-	22.7	45.5		
	山形県	30	13.3	16.7	3.3	-	43.3	26.7		
	福島県	42	33.3	21.4	11.9	2.4	26.2	16.7		
	茨城県	40	20.0	7.5	7.5	7.5	30.0	37.5		
	栃木県	22	31.8	22.7	4.5	-	27.3	27.3		
	群馬県	27	25.9	7.4	14.8	7.4	25.9	29.6		
	埼玉県	62	30.6	9.7	11.3	-	29.0	33.9		
	千葉県	44	15.9	11.4	9.1	2.3	18.2	52.3		
	東京都	48	16.7	6.3	6.3	6.3	33.3	35.4		
	神奈川県	18	27.8	5.6	11.1	11.1	22.2	38.9		
	新潟県	22	31.8	13.6	18.2	4.5	9.1	31.8		
	富山県	15	6.7	6.7	6.7	-	20.0	66.7		
	石川県	16	31.3	6.3	12.5	-	31.3	25.0		
	福井県	17	29.4	-	-	-	11.8	58.8		
	山梨県	22	18.2	27.3	13.6	-	27.3	22.7		
	長野県	59	32.2	16.9	10.2	6.8	32.2	25.4		
	岐阜県	37	18.9	8.1	10.8	5.4	29.7	29.7		
	静岡県	26	26.9	15.4	-	-	34.6	26.9		
	愛知県	51	13.7	7.8	2.0	2.0	13.7	64.7		
	三重県	26	11.5	7.7	11.5	-	30.8	46.2		
	滋賀県	18	22.2	11.1	16.7	5.6	50.0	-		
	京都府	21	23.8	4.8	4.8	-	28.6	47.6		
	大阪府	33	15.2	9.1	6.1	6.1	30.3	42.4		
	兵庫県	35	22.9	14.3	17.1	5.7	48.6	14.3		
	奈良県	26	7.7	7.7	11.5	-	38.5	38.5		
	和歌山県	22	13.6	13.6	9.1	-	45.5	22.7		
	鳥取県	15	20.0	13.3	-	-	46.7	33.3		
	島根県	13	15.4	23.1	7.7	7.7	38.5	15.4		
	岡山県	21	19.0	19.0	4.8	-	33.3	28.6		
	広島県	20	25.0	20.0	-	-	20.0	45.0		
	山口県	14	28.6	7.1	14.3	-	50.0	7.1		
	徳島県	19	31.6	15.8	15.8	-	26.3	15.8		
	香川県	16	6.3	-	-	-	56.3	37.5		
	愛媛県	18	11.1	5.6	-	11.1	22.2	50.0		
	高知県	31	29.0	22.6	12.9	6.5	32.3	12.9		
	福岡県	56	23.2	8.9	17.9	5.4	46.4	17.9		
	佐賀県	17	29.4	23.5	29.4	5.9	29.4	-		
	長崎県	16	6.3	-	12.5	-	81.3	6.3		
	熊本県	39	33.3	17.9	17.9	5.1	33.3	10.3		
	大分県	16	12.5	12.5	18.8	12.5	31.3	12.5		
	宮崎県	19	36.8	15.8	10.5	5.3	42.1	-		
	鹿児島県	33	33.3	24.2	15.2	3.0	39.4	3.0		
	沖縄県	17	17.6	5.9	5.9	-	35.3	47.1		

調査結果

【气象台担当者から行った「担当者ホットライン」】



气象台担当者から行った「担当者ホットライン」の改善してほしい点については、「もっと自分の市区町村に特化した内容について解説してほしい」(35.1%)が最も多く、次いで「特に改善してほしい点はない」(28.2%)、「予測の誤差が大きい段階であっても、できるだけ早めにホットラインをしてほしい」(26.6%)、「予測の誤差が小さくなるまで待ってからホットラインをしてほしい」(6.4%)となっている。

* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下
 * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	改善してほしい点 (%)						
		もっと自分の市区町村に特化した内容について解説してほしい	予測の誤差が大きい段階であっても、できるだけ早めにホットラインをしてほしい	予測の誤差が小さくなるまで待ってからホットラインをしてほしい	その他	特に改善してほしい点はない	平成30年以降、経験したことがない	その他
全体	1424	35.1	26.6	6.4	4.0	28.2	18.8	
地方予報区別	北海道地方	156	28.8	15.4	5.1	3.8	37.2	23.1
	東北地方	181	34.3	30.4	5.0	2.2	28.2	13.8
	関東甲信地方	342	33.6	28.1	4.1	3.2	24.9	26.9
	東海地方	140	32.9	20.7	8.6	7.9	16.4	28.6
	北陸地方	70	31.4	22.9	5.7	7.1	20.0	31.4
	近畿地方	155	36.8	21.9	7.7	2.6	34.2	16.1
	中国地方	69	42.0	33.3	1.4	10.1	24.6	8.7
	四国地方	84	42.9	28.6	9.5	2.4	31.0	6.0
	九州北部地方	158	35.4	29.7	8.9	3.2	32.9	9.5
	九州南部・奄美地方	52	53.8	51.9	13.5	3.8	23.1	1.9
沖縄地方	17	23.5	23.5	11.8	-	58.8	-	

地方予報区別でみると、九州南部・奄美地方では「予測の誤差が大きい場合でも早めにホットラインをしてほしい」(51.9%)、「もっと自分の市区町村に特化した内容について解説してほしい」(53.8%)が他の地方予報区に比べて多い。

(参考)

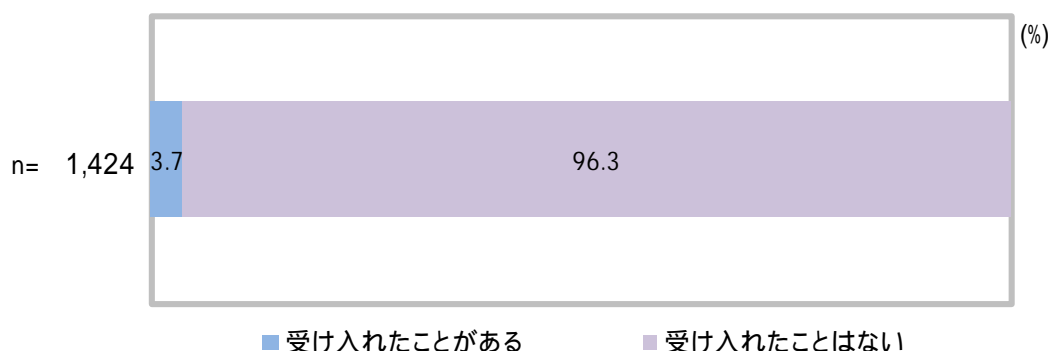
* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

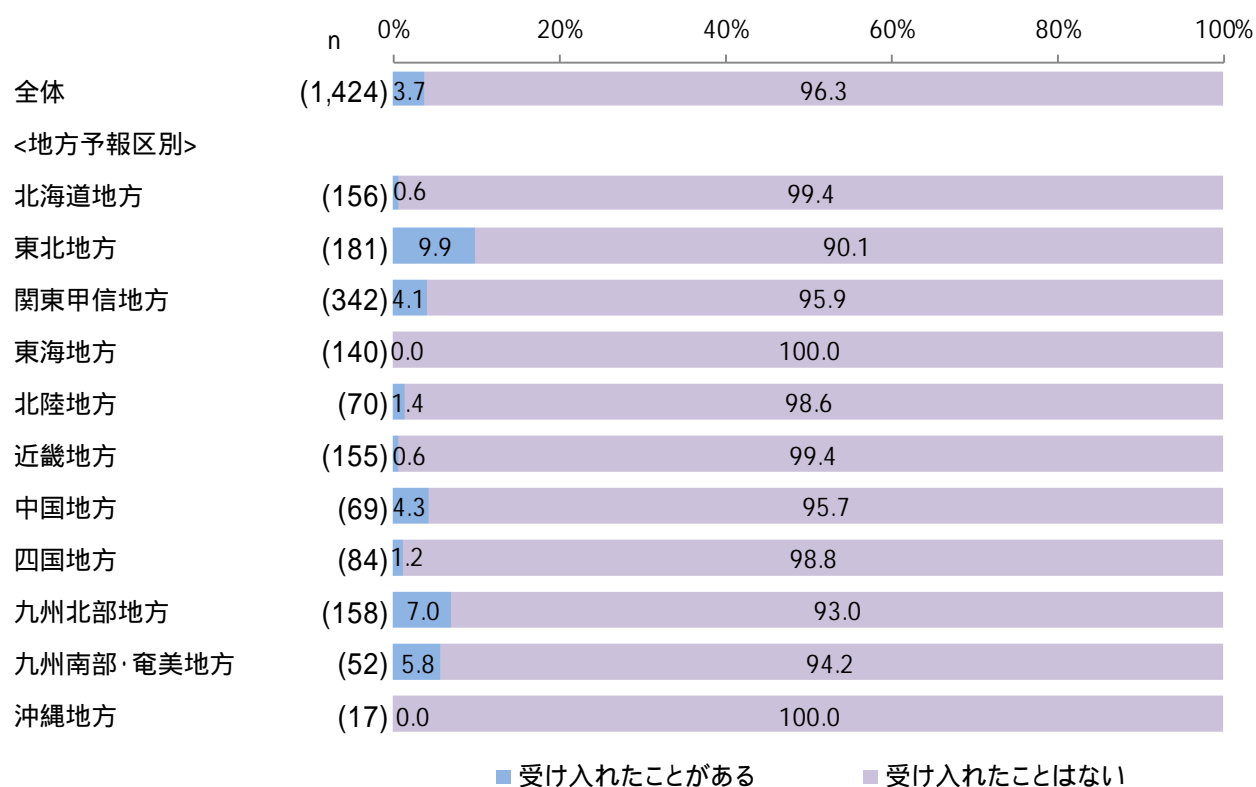
		(%)									
		n	いつ村も いにっ て特と 解化自 説し分 したの て内市 ほ容区 しに町	いとき ラる イン を早 しめに てほ しッ	段階 での 誤差 があ っ差 ても 、大 き いで	予測 の誤 差が 小さ く	ほし い ラ イン をし て	予測 の誤 差が 小さ く	その 他	点特 はに ない 改善 して ほし い	しホ平 たッ成 ことラ3 がイン0 ない年 を以降 経、 験
全体		1424	35.1	26.6	6.4	4.0	28.2	18.8			
都道府県別	北海道	156	28.8	15.4	5.1	3.8	37.2	23.1			
	青森県	33	39.4	18.2	-	-	36.4	12.1			
	岩手県	28	25.0	35.7	10.7	3.6	21.4	17.9			
	宮城県	26	34.6	53.8	3.8	-	34.6	3.8			
	秋田県	22	36.4	22.7	-	-	27.3	27.3			
	山形県	30	26.7	16.7	3.3	3.3	36.7	16.7			
	福島県	42	40.5	35.7	9.5	4.8	16.7	9.5			
	茨城県	40	22.5	25.0	2.5	2.5	27.5	35.0			
	栃木県	22	31.8	22.7	4.5	-	22.7	31.8			
	群馬県	27	37.0	37.0	3.7	-	18.5	22.2			
	埼玉県	62	35.5	29.0	1.6	1.6	27.4	29.0			
	千葉県	44	34.1	27.3	6.8	6.8	20.5	27.3			
	東京都	48	25.0	16.7	-	4.2	33.3	31.3			
	神奈川県	18	50.0	27.8	-	-	33.3	11.1			
	新潟県	22	36.4	36.4	4.5	9.1	13.6	22.7			
	富山県	15	26.7	20.0	6.7	6.7	26.7	40.0			
	石川県	16	31.3	25.0	6.3	6.3	25.0	18.8			
	福井県	17	29.4	5.9	5.9	5.9	17.6	47.1			
	山梨県	22	27.3	54.5	-	-	22.7	13.6			
	長野県	59	42.4	27.1	11.9	6.8	18.6	25.4			
	岐阜県	37	35.1	18.9	10.8	2.7	24.3	21.6			
	静岡県	26	57.7	34.6	15.4	11.5	15.4	-			
	愛知県	51	25.5	15.7	2.0	9.8	9.8	45.1			
	三重県	26	19.2	19.2	11.5	7.7	19.2	34.6			
	滋賀県	18	66.7	27.8	11.1	-	22.2	-			
	京都府	21	52.4	23.8	-	4.8	28.6	9.5			
	大阪府	33	27.3	21.2	3.0	3.0	27.3	36.4			
	兵庫県	35	31.4	22.9	11.4	5.7	40.0	14.3			
	奈良県	26	30.8	15.4	11.5	-	38.5	15.4			
	和歌山県	22	27.3	22.7	9.1	-	45.5	9.1			
	鳥取県	15	33.3	20.0	-	6.7	46.7	13.3			
	島根県	13	30.8	38.5	-	15.4	23.1	-			
	岡山県	21	38.1	42.9	-	19.0	19.0	9.5			
	広島県	20	60.0	30.0	5.0	-	15.0	10.0			
	山口県	14	50.0	7.1	7.1	-	28.6	14.3			
	徳島県	19	42.1	42.1	15.8	-	26.3	5.3			
	香川県	16	18.8	18.8	-	6.3	50.0	12.5			
	愛媛県	18	50.0	33.3	11.1	-	22.2	-			
	高知県	31	51.6	22.6	9.7	3.2	29.0	6.5			
	福岡県	56	39.3	33.9	7.1	3.6	28.6	10.7			
	佐賀県	17	41.2	29.4	29.4	5.9	17.6	5.9			
	長崎県	16	18.8	18.8	6.3	6.3	75.0	-			
	熊本県	39	33.3	33.3	5.1	2.6	30.8	10.3			
	大分県	16	25.0	37.5	6.3	-	31.3	12.5			
	宮崎県	19	47.4	47.4	5.3	5.3	26.3	5.3			
	鹿児島県	33	57.6	54.5	18.2	3.0	21.2	-			
	沖縄県	17	23.5	23.5	11.8	-	58.8	-			

(14) JETT (気象庁防災対応支援チーム) 派遣の受入れ経験の有無

問14 JETT (気象庁防災対応支援チーム) の派遣を受け入れたことがありますか。



JETT (気象庁防災対応支援チーム) 派遣の受入れ経験の有無については、「受け入れたことはない」(96.3%)の方が多。



n=29 以下は参考値

地方予報区別でみると、いずれの地方予報区においても全体と同様の傾向となっているが、東北地方では「受け入れたことがある」(9.9%)が他の地方予報区に比べて多。

(参考)

* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

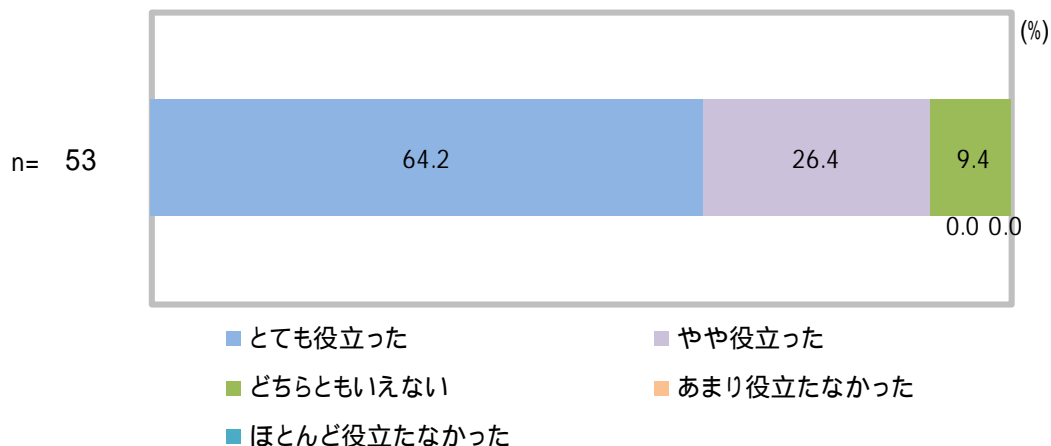
		(%)	
		る 受 け 入 れ た こ と が あ	い 受 け 入 れ た こ と は な
		n	
全体	1424	3.7	96.3
都 道 府 県 別	北海道	156	0.6
	青森県	33	12.1
	岩手県	28	-
	宮城県	26	19.2
	秋田県	22	4.5
	山形県	30	23.3
	福島県	42	2.4
	茨城県	40	-
	栃木県	22	27.3
	群馬県	27	-
	埼玉県	62	3.2
	千葉県	44	2.3
	東京都	48	-
	神奈川県	18	5.6
	新潟県	22	4.5
	富山県	15	-
	石川県	16	-
	福井県	17	-
	山梨県	22	-
	長野県	59	6.8
	岐阜県	37	-
	静岡県	26	-
	愛知県	51	-
	三重県	26	-
	滋賀県	18	5.6
	京都府	21	-
	大阪府	33	-
	兵庫県	35	-
	奈良県	26	-
	和歌山県	22	-
	鳥取県	15	-
	島根県	13	-
	岡山県	21	-
	広島県	20	15.0
	山口県	14	7.1
	徳島県	19	-
	香川県	16	-
	愛媛県	18	5.6
	高知県	31	-
	福岡県	56	1.8
	佐賀県	17	11.8
	長崎県	16	6.3
	熊本県	39	7.7
	大分県	16	18.8
	宮崎県	19	5.3
	鹿児島県	33	6.1
	沖縄県	17	-

(15) JETT (気象庁防災対応支援チーム) による支援の評価

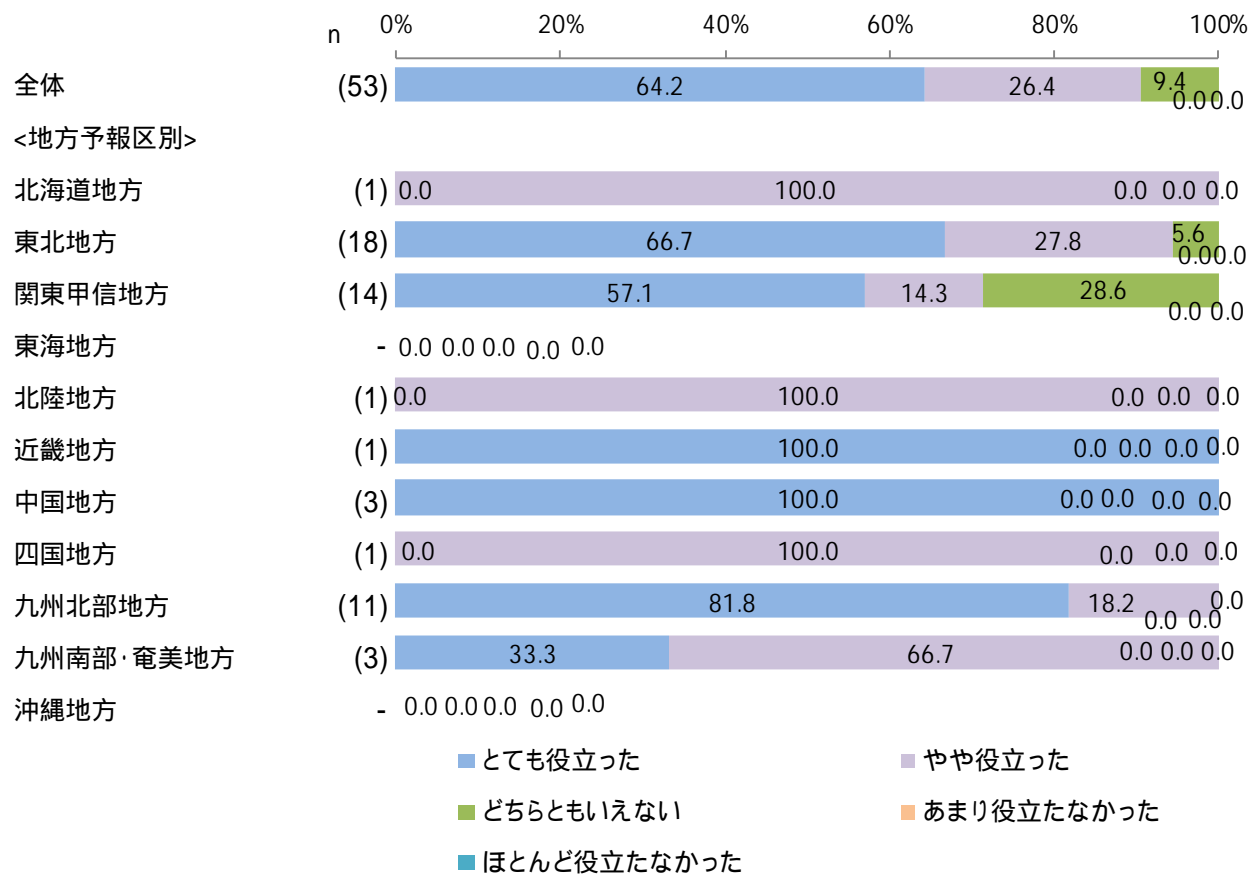
問15 JETT (気象庁防災対応支援チーム) による支援について、評価をお答えください。

n=53

ベース：JETT (気象庁防災対応支援チーム) 派遣を受け入れた経験がある市区町村



JETT (気象庁防災対応支援チーム) による支援に関する評価については、「とても役立つ」(64.2%)が最も多く、次いで「やや役立つ」(26.4%)、「どちらともいえない」(9.4%)となっている。



n=29 以下は参考値

地方予報区別については、n=29 以下のカテゴリーが多いため、コメントを省略する。

(参考)

* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

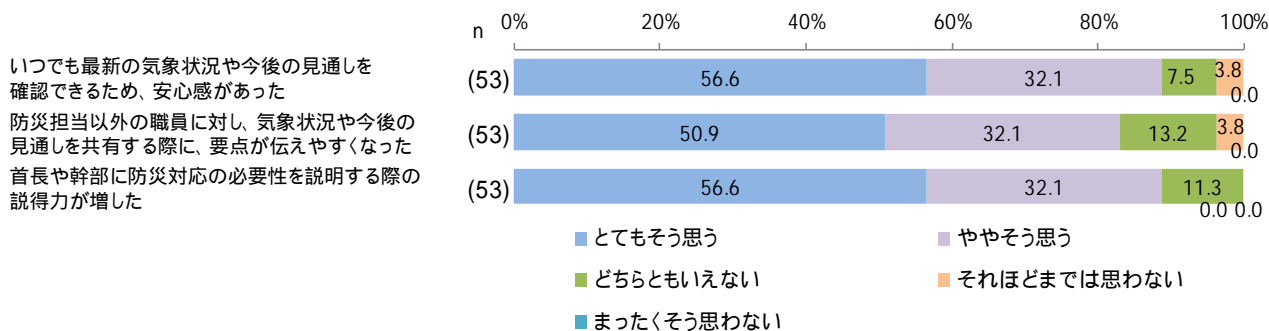
		(%)					
		n	とても 役立 った	やや 役立 った	ど ち ら と も い え な い	た あ ま り 役 立 た な か っ た	か ほ っ た ん ど 役 立 た な い
全体		53	64.2	26.4	9.4	-	-
都道府県別	北海道	1	-	100.0	-	-	-
	青森県	4	75.0	25.0	-	-	-
	岩手県	-	-	-	-	-	-
	宮城県	5	100.0	-	-	-	-
	秋田県	1	-	100.0	-	-	-
	山形県	7	42.9	42.9	14.3	-	-
	福島県	1	100.0	-	-	-	-
	茨城県	-	-	-	-	-	-
	栃木県	6	50.0	16.7	33.3	-	-
	群馬県	-	-	-	-	-	-
	埼玉県	2	50.0	-	50.0	-	-
	千葉県	1	-	-	100.0	-	-
	東京都	-	-	-	-	-	-
	神奈川県	1	100.0	-	-	-	-
	新潟県	1	-	100.0	-	-	-
	富山県	-	-	-	-	-	-
	石川県	-	-	-	-	-	-
	福井県	-	-	-	-	-	-
	山梨県	-	-	-	-	-	-
	長野県	4	75.0	25.0	-	-	-
	岐阜県	-	-	-	-	-	-
	静岡県	-	-	-	-	-	-
	愛知県	-	-	-	-	-	-
	三重県	-	-	-	-	-	-
	滋賀県	1	100.0	-	-	-	-
	京都府	-	-	-	-	-	-
	大阪府	-	-	-	-	-	-
	兵庫県	-	-	-	-	-	-
	奈良県	-	-	-	-	-	-
	和歌山県	-	-	-	-	-	-
	鳥取県	-	-	-	-	-	-
	島根県	-	-	-	-	-	-
	岡山県	-	-	-	-	-	-
	広島県	3	100.0	-	-	-	-
	山口県	1	100.0	-	-	-	-
	徳島県	-	-	-	-	-	-
	香川県	-	-	-	-	-	-
	愛媛県	1	-	100.0	-	-	-
	高知県	-	-	-	-	-	-
	福岡県	1	-	100.0	-	-	-
	佐賀県	2	100.0	-	-	-	-
	長崎県	1	100.0	-	-	-	-
	熊本県	3	66.7	33.3	-	-	-
	大分県	3	100.0	-	-	-	-
	宮崎県	1	-	100.0	-	-	-
	鹿児島県	2	50.0	50.0	-	-	-
	沖縄県	-	-	-	-	-	-

(16) JETT (気象庁防災対応支援チーム) による支援を受けて感じた点

問16 JETT (気象庁防災対応支援チーム) による支援を受け、どのように感じましたか。次の各項目について、該当する評価をお答えください。

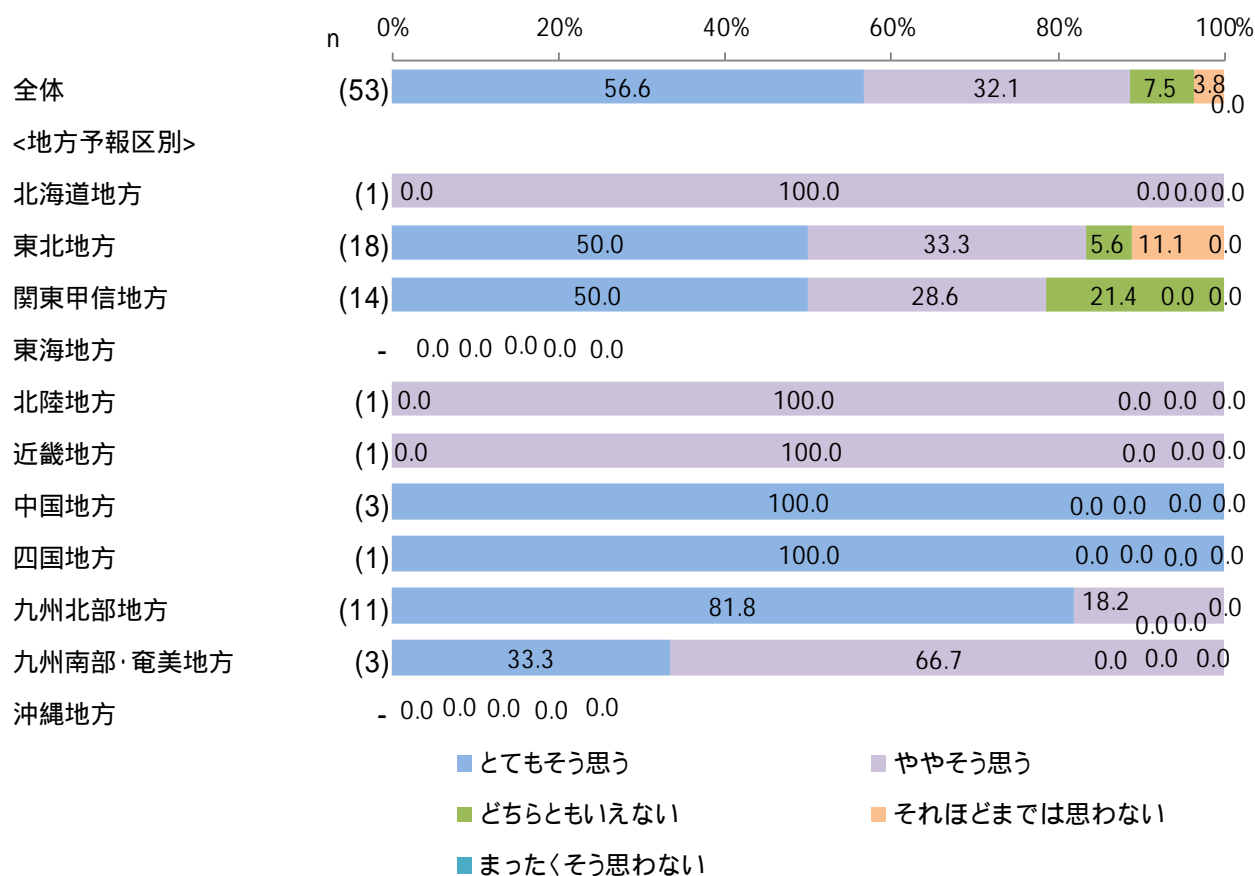
n=53

ベース：JETT (気象庁防災対応支援チーム) 派遣を受け入れた経験がある市区町村



JETT (気象庁防災対応支援チーム) による支援を受けて感じた点については、すべての項目で「とてもそう思う」(56.6%、50.9%、56.6%) が最も多くなっている。

【いつでも最新の気象状況や今後の見通しを確認できるため、安心感があった】



n=29 以下は参考値

地方予報区別については、n=29 以下のカテゴリーが多いため、コメントを省略する。

(参考)

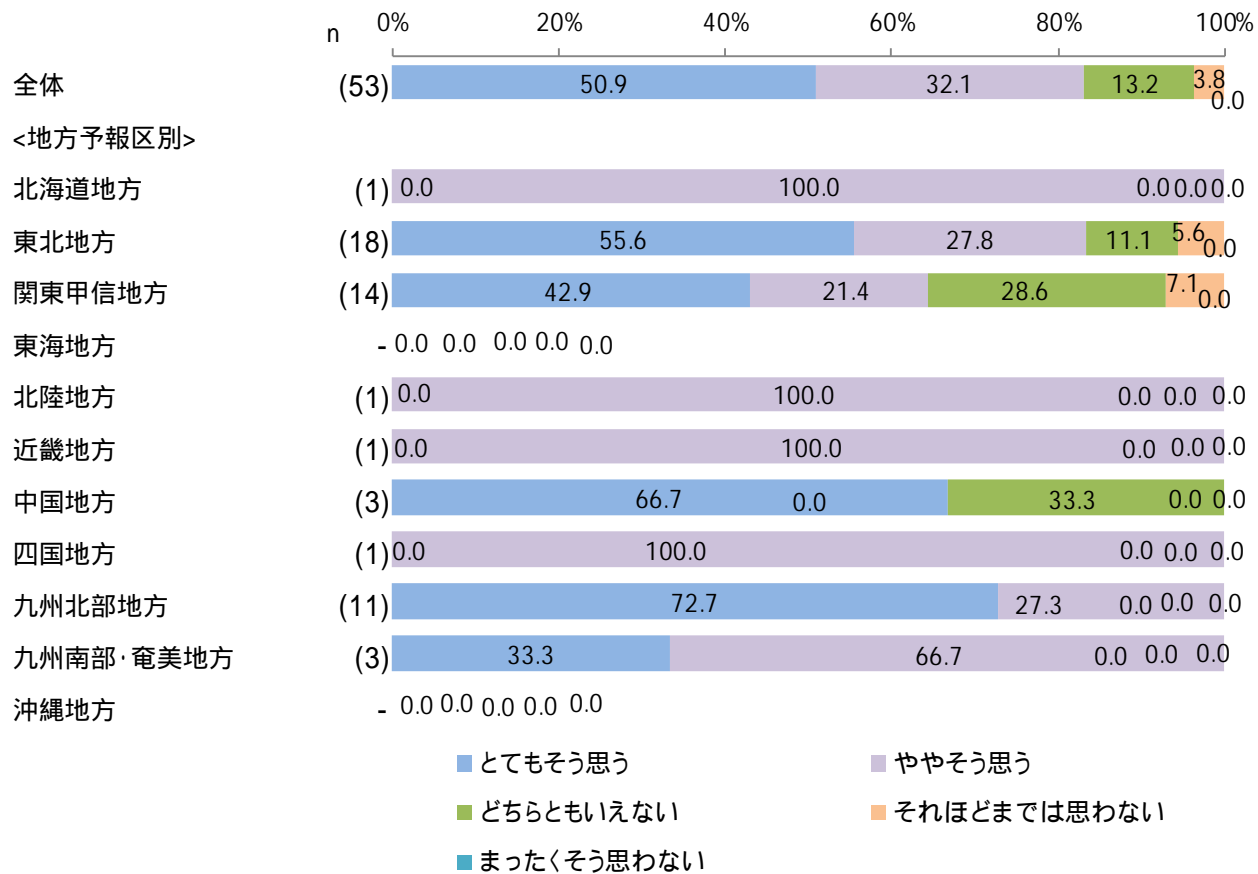
* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		(%)					
		n	とても そう 思う	やや そう 思う	ど ち ら と も い え ない	な い そ れ ほ ど ま で は 思 わ ない	い ま っ た く そ う 思 わ ない
全体		53	56.6	32.1	7.5	3.8	-
都 道 府 県 別	北海道	1	-	100.0	-	-	-
	青森県	4	25.0	50.0	-	25.0	-
	岩手県	-	-	-	-	-	-
	宮城県	5	60.0	40.0	-	-	-
	秋田県	1	100.0	-	-	-	-
	山形県	7	57.1	14.3	14.3	14.3	-
	福島県	1	-	100.0	-	-	-
	茨城県	-	-	-	-	-	-
	栃木県	6	50.0	16.7	33.3	-	-
	群馬県	-	-	-	-	-	-
	埼玉県	2	50.0	50.0	-	-	-
	千葉県	1	-	100.0	-	-	-
	東京都	-	-	-	-	-	-
	神奈川県	1	-	-	100.0	-	-
	新潟県	1	-	100.0	-	-	-
	富山県	-	-	-	-	-	-
	石川県	-	-	-	-	-	-
	福井県	-	-	-	-	-	-
	山梨県	-	-	-	-	-	-
	長野県	4	75.0	25.0	-	-	-
	岐阜県	-	-	-	-	-	-
	静岡県	-	-	-	-	-	-
	愛知県	-	-	-	-	-	-
	三重県	-	-	-	-	-	-
	滋賀県	1	-	100.0	-	-	-
	京都府	-	-	-	-	-	-
	大阪府	-	-	-	-	-	-
	兵庫県	-	-	-	-	-	-
	奈良県	-	-	-	-	-	-
	和歌山県	-	-	-	-	-	-
	鳥取県	-	-	-	-	-	-
	島根県	-	-	-	-	-	-
	岡山県	-	-	-	-	-	-
	広島県	3	100.0	-	-	-	-
	山口県	1	100.0	-	-	-	-
	徳島県	-	-	-	-	-	-
	香川県	-	-	-	-	-	-
	愛媛県	1	100.0	-	-	-	-
	高知県	-	-	-	-	-	-
	福岡県	1	-	100.0	-	-	-
	佐賀県	2	100.0	-	-	-	-
	長崎県	1	100.0	-	-	-	-
	熊本県	3	66.7	33.3	-	-	-
	大分県	3	100.0	-	-	-	-
	宮崎県	1	-	100.0	-	-	-
	鹿児島県	2	50.0	50.0	-	-	-
	沖縄県	-	-	-	-	-	-

・ 調査結果

【防災担当以外の職員に対し、気象状況や今後の見通しを共有する際に、要点が伝えやすくなった】



n=29 以下は参考値

地方予報区別については、n=29 以下のカテゴリーが多いため、コメントを省略する。

(参考)

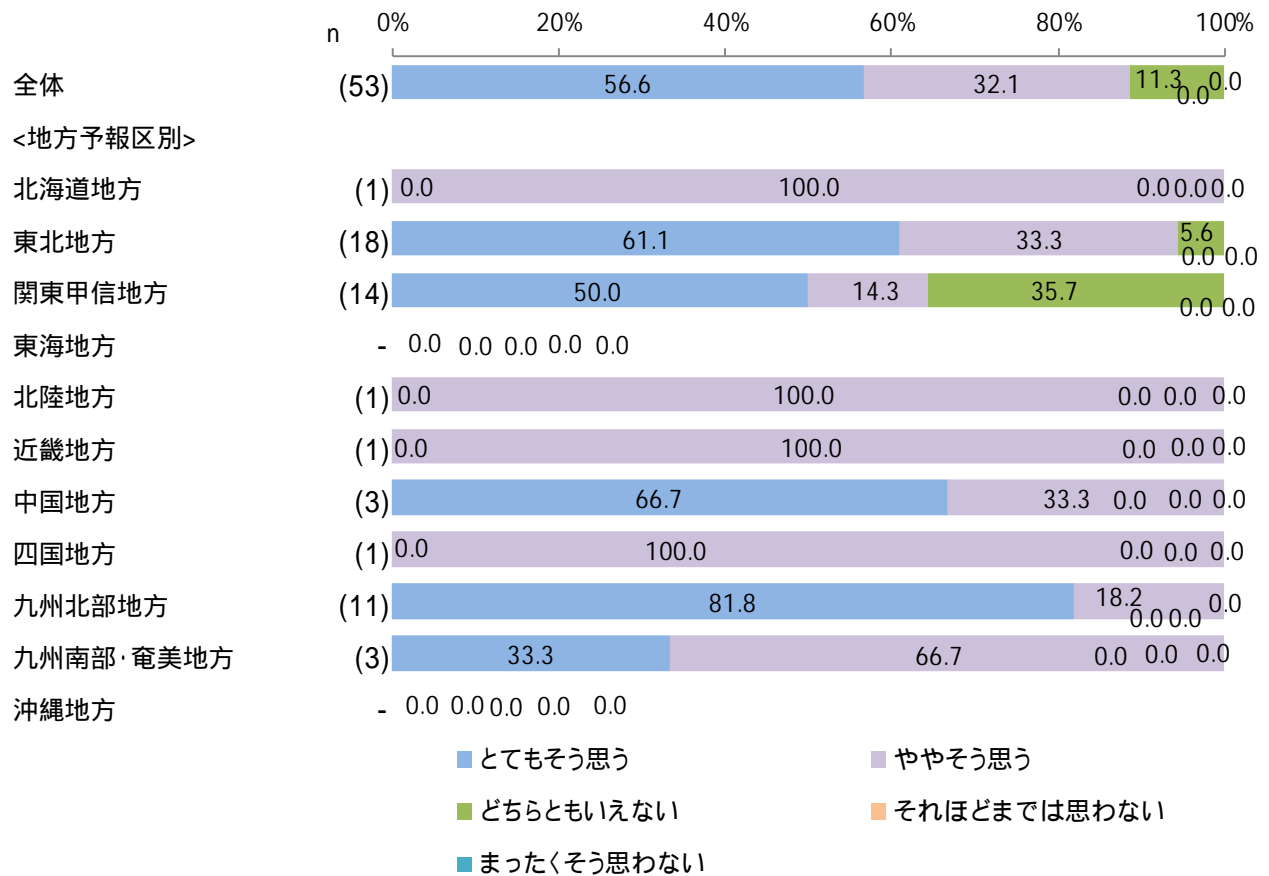
* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		(%)					
		n	とても そう 思う	やや そう 思う	どちら とも い え ない	な い そ れ ほ ど ま で は 思 わ ない	い ま っ た く そ う 思 わ な い
全体		53	50.9	32.1	13.2	3.8	-
都道府県別	北海道	1	-	100.0	-	-	-
	青森県	4	50.0	50.0	-	-	-
	岩手県	-	-	-	-	-	-
	宮城県	5	60.0	20.0	20.0	-	-
	秋田県	1	100.0	-	-	-	-
	山形県	7	42.9	28.6	14.3	14.3	-
	福島県	1	100.0	-	-	-	-
	茨城県	-	-	-	-	-	-
	栃木県	6	66.7	-	33.3	-	-
	群馬県	-	-	-	-	-	-
	埼玉県	2	50.0	-	-	50.0	-
	千葉県	1	-	-	100.0	-	-
	東京都	-	-	-	-	-	-
	神奈川県	1	-	-	100.0	-	-
	新潟県	1	-	100.0	-	-	-
	富山県	-	-	-	-	-	-
	石川県	-	-	-	-	-	-
	福井県	-	-	-	-	-	-
	山梨県	-	-	-	-	-	-
	長野県	4	25.0	75.0	-	-	-
	岐阜県	-	-	-	-	-	-
	静岡県	-	-	-	-	-	-
	愛知県	-	-	-	-	-	-
	三重県	-	-	-	-	-	-
	滋賀県	1	-	100.0	-	-	-
	京都府	-	-	-	-	-	-
	大阪府	-	-	-	-	-	-
	兵庫県	-	-	-	-	-	-
	奈良県	-	-	-	-	-	-
	和歌山県	-	-	-	-	-	-
	鳥取県	-	-	-	-	-	-
	島根県	-	-	-	-	-	-
	岡山県	-	-	-	-	-	-
	広島県	3	66.7	-	33.3	-	-
	山口県	1	-	100.0	-	-	-
	徳島県	-	-	-	-	-	-
	香川県	-	-	-	-	-	-
	愛媛県	1	-	100.0	-	-	-
	高知県	-	-	-	-	-	-
	福岡県	1	-	100.0	-	-	-
	佐賀県	2	50.0	50.0	-	-	-
	長崎県	1	100.0	-	-	-	-
	熊本県	3	100.0	-	-	-	-
	大分県	3	100.0	-	-	-	-
	宮崎県	1	-	100.0	-	-	-
	鹿児島県	2	50.0	50.0	-	-	-
	沖縄県	-	-	-	-	-	-

・調査結果

【首長や幹部に防災対応の必要性を説明する際の説得力が増した】



n=29 以下は参考値

地方予報区別については、n=29 以下のカテゴリーが多いため、コメントを省略する。

(参考)

* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

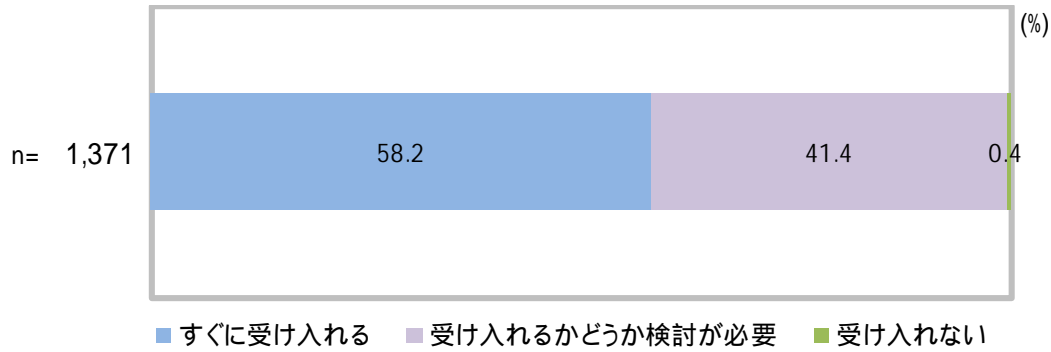
		(%)					
		n	とても そう 思う	やや そう 思う	どちら とも い え ない	な い そ れ ほ ど ま で は 思 わ ない	い ま っ た く そ う 思 わ な い
全体		53	56.6	32.1	11.3	-	-
都道府県別	北海道	1	-	100.0	-	-	-
	青森県	4	50.0	50.0	-	-	-
	岩手県	-	-	-	-	-	-
	宮城県	5	60.0	40.0	-	-	-
	秋田県	1	100.0	-	-	-	-
	山形県	7	57.1	28.6	14.3	-	-
	福島県	1	100.0	-	-	-	-
	茨城県	-	-	-	-	-	-
	栃木県	6	66.7	-	33.3	-	-
	群馬県	-	-	-	-	-	-
	埼玉県	2	50.0	-	50.0	-	-
	千葉県	1	-	-	100.0	-	-
	東京都	-	-	-	-	-	-
	神奈川県	1	-	-	100.0	-	-
	新潟県	1	-	100.0	-	-	-
	富山県	-	-	-	-	-	-
	石川県	-	-	-	-	-	-
	福井県	-	-	-	-	-	-
	山梨県	-	-	-	-	-	-
	長野県	4	50.0	50.0	-	-	-
	岐阜県	-	-	-	-	-	-
	静岡県	-	-	-	-	-	-
	愛知県	-	-	-	-	-	-
	三重県	-	-	-	-	-	-
	滋賀県	1	-	100.0	-	-	-
	京都府	-	-	-	-	-	-
	大阪府	-	-	-	-	-	-
	兵庫県	-	-	-	-	-	-
	奈良県	-	-	-	-	-	-
	和歌山県	-	-	-	-	-	-
	鳥取県	-	-	-	-	-	-
	島根県	-	-	-	-	-	-
	岡山県	-	-	-	-	-	-
	広島県	3	66.7	33.3	-	-	-
	山口県	1	-	100.0	-	-	-
	徳島県	-	-	-	-	-	-
	香川県	-	-	-	-	-	-
	愛媛県	1	-	100.0	-	-	-
	高知県	-	-	-	-	-	-
	福岡県	1	-	100.0	-	-	-
	佐賀県	2	100.0	-	-	-	-
	長崎県	1	100.0	-	-	-	-
	熊本県	3	100.0	-	-	-	-
	大分県	3	100.0	-	-	-	-
	宮崎県	1	-	100.0	-	-	-
	鹿児島県	2	50.0	50.0	-	-	-
	沖縄県	-	-	-	-	-	-

(17) 今後の JETT (気象庁防災対応支援チーム) 派遣の受入れへの対応方針

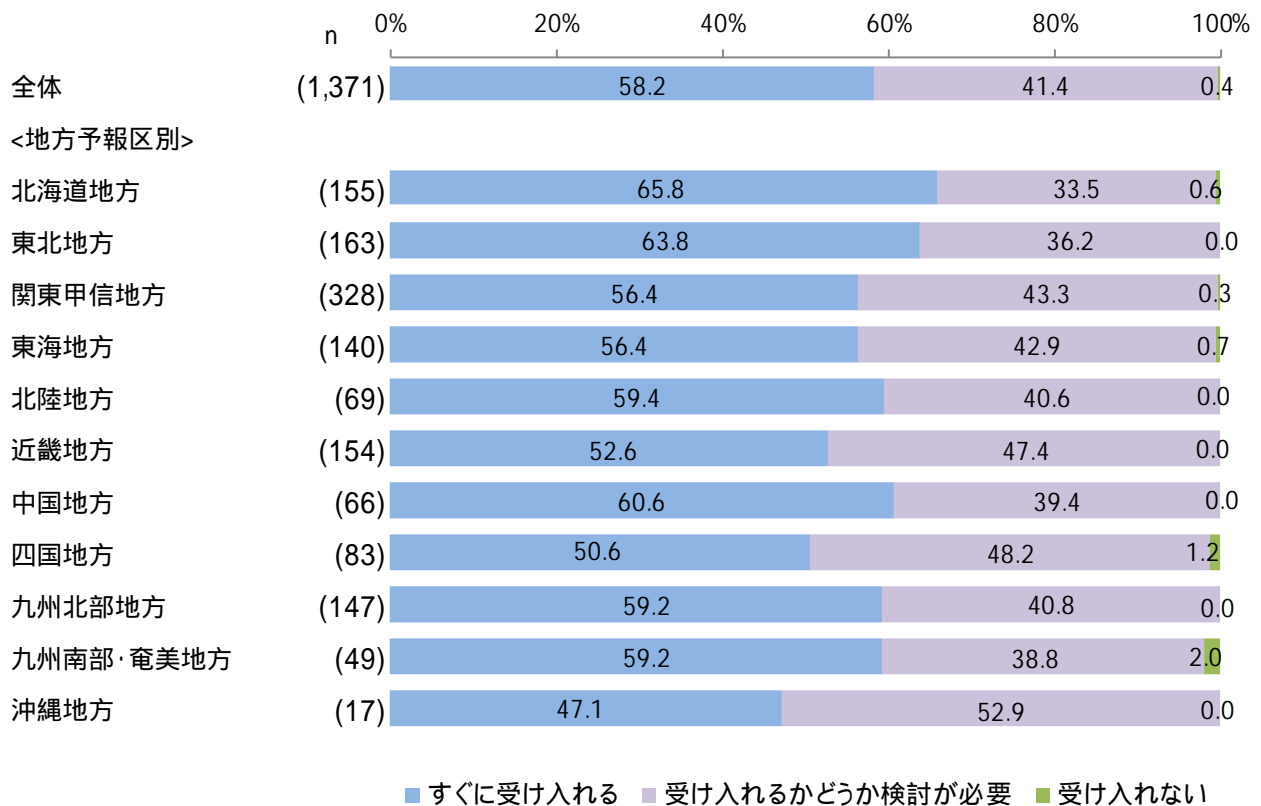
問18 今後、貴市区町村で災害が発生し、気象台から JETT (気象庁防災対応支援チーム) 派遣の提案があれば、どのように対応する見込みですか。

n=1,371

ベース：JETT (気象庁防災対応支援チーム) の派遣を受け入れた経験がない市区町村



今後の JETT (気象庁防災対応支援チーム) 派遣の受入れへの対応方針については、「すぐに受け入れる」(58.2%) が最も多く、次いで「受け入れるかどうか検討が必要」(41.4%)、「受け入れない」(0.4%)となっている。



n=29 以下は参考値

地方予報区別でみると、北海道地方、東北地方では「すぐに受け入れる」(65.8%、63.8%) が他の地方予報区と比べて高い。

(参考)

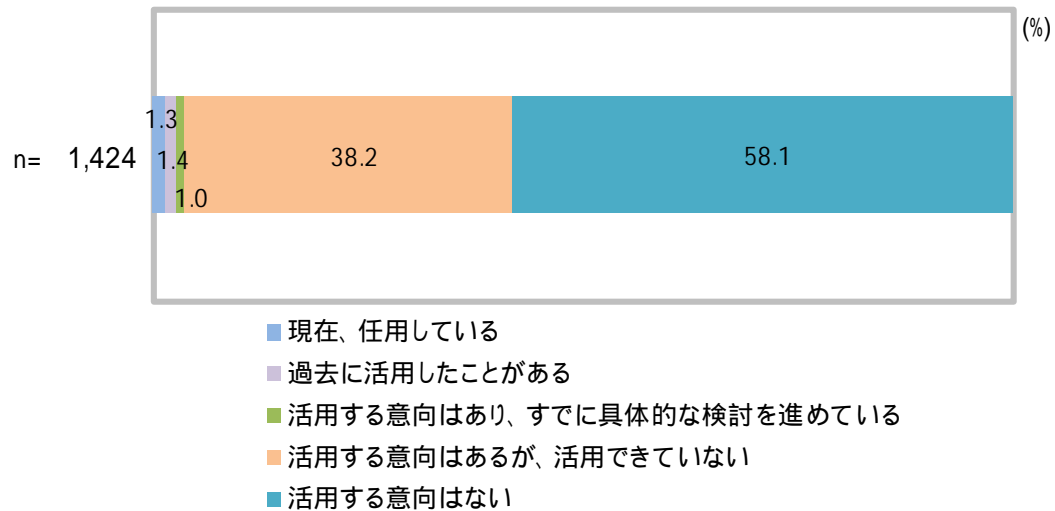
* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

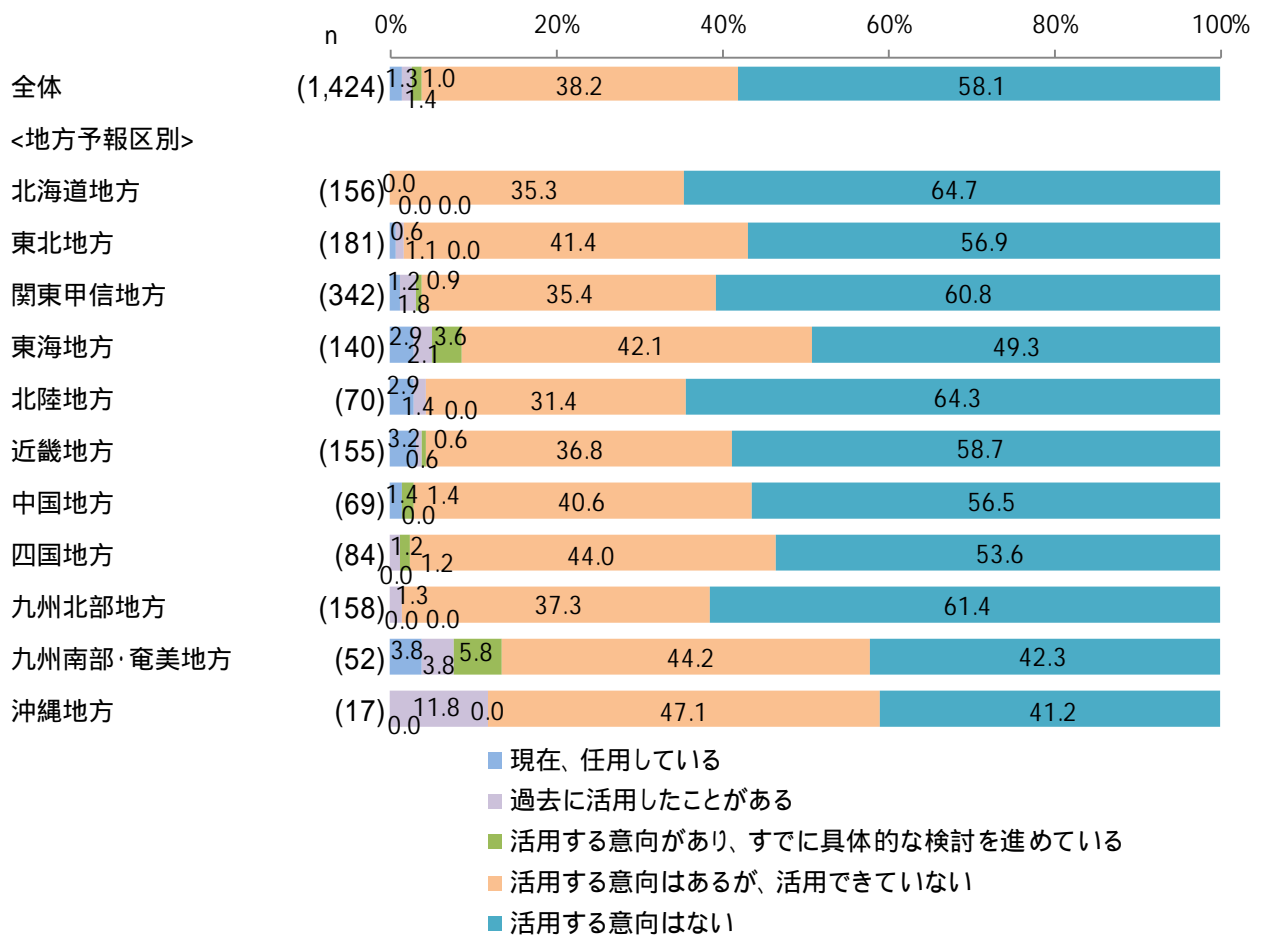
		(%)			
		n	すぐに受け入れる	検討が入れられるかどうか	受け入れない
全体		1371	58.2	41.4	0.4
都道府県別	北海道	155	65.8	33.5	0.6
	青森県	29	65.5	34.5	-
	岩手県	28	64.3	35.7	-
	宮城県	21	66.7	33.3	-
	秋田県	21	57.1	42.9	-
	山形県	23	73.9	26.1	-
	福島県	41	58.5	41.5	-
	茨城県	40	57.5	42.5	-
	栃木県	16	62.5	37.5	-
	群馬県	27	59.3	40.7	-
	埼玉県	60	56.7	43.3	-
	千葉県	43	48.8	51.2	-
	東京都	48	50.0	47.9	2.1
	神奈川県	17	52.9	47.1	-
	新潟県	21	66.7	33.3	-
	富山県	15	46.7	53.3	-
	石川県	16	68.8	31.3	-
	福井県	17	52.9	47.1	-
	山梨県	22	59.1	40.9	-
	長野県	55	63.6	36.4	-
	岐阜県	37	67.6	32.4	-
	静岡県	26	42.3	57.7	-
	愛知県	51	52.9	45.1	2.0
	三重県	26	61.5	38.5	-
	滋賀県	17	52.9	47.1	-
	京都府	21	42.9	57.1	-
	大阪府	33	54.5	45.5	-
	兵庫県	35	62.9	37.1	-
	奈良県	26	50.0	50.0	-
	和歌山県	22	45.5	54.5	-
	鳥取県	15	73.3	26.7	-
	島根県	13	53.8	46.2	-
	岡山県	21	66.7	33.3	-
	広島県	17	47.1	52.9	-
	山口県	13	38.5	61.5	-
	徳島県	19	42.1	57.9	-
	香川県	16	43.8	56.3	-
	愛媛県	17	47.1	52.9	-
	高知県	31	61.3	35.5	3.2
	福岡県	55	56.4	43.6	-
	佐賀県	15	53.3	46.7	-
	長崎県	15	60.0	40.0	-
	熊本県	36	72.2	27.8	-
	大分県	13	61.5	38.5	-
	宮崎県	18	55.6	44.4	-
	鹿児島県	31	61.3	35.5	3.2
	沖縄県	17	47.1	52.9	-

(18) 気象防災アドバイザーの活用の意向

問20 「気象防災アドバイザー」の活用の意向について教えてください。



気象防災アドバイザーの活用の意向については、「活用する意向はない」(58.1%)が最も多く、次いで「活用する意向はあるが、活用できていない」(38.2%)、「過去に活用したことがある」(1.4%)、「現在、任用している」(1.3%)、「活用する意向があり、すでに具体的な検討を進めている」(1.0%)となっている。



n=29 以下は参考値

地方予報区別でみると、九州南部・奄美地方では「活用する意向はあるが、活用できていない」(44.2%)が他の地方予報区に比べて多い。

調査結果

(参考)

* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

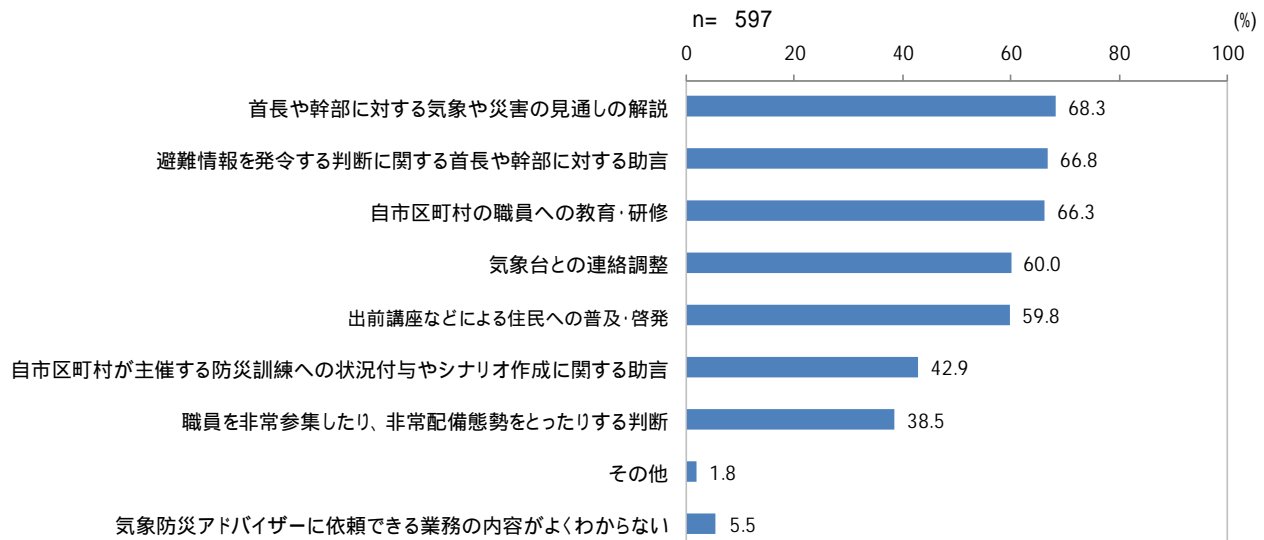
		(%)					
	n	現在、任用している	過去に活用したことがある	検討、活用を進める意向がある	活用する意向はない	活用する意向はない	
全体	1424	1.3	1.4	1.0	38.2	58.1	
都道府県別	北海道	156	-	-	-	35.3	64.7
	青森県	33	-	-	-	36.4	63.6
	岩手県	28	-	-	-	50.0	50.0
	宮城県	26	-	-	-	34.6	65.4
	秋田県	22	-	-	-	59.1	40.9
	山形県	30	-	3.3	-	30.0	66.7
	福島県	42	2.4	2.4	-	42.9	52.4
	茨城県	40	2.5	-	2.5	32.5	62.5
	栃木県	22	-	4.5	-	45.5	50.0
	群馬県	27	3.7	3.7	-	37.0	55.6
	埼玉県	62	-	3.2	3.2	32.3	61.3
	千葉県	44	-	-	-	27.3	72.7
	東京都	48	4.2	-	-	22.9	72.9
	神奈川県	18	-	5.6	-	27.8	66.7
	新潟県	22	9.1	-	-	27.3	63.6
	富山県	15	-	-	-	40.0	60.0
	石川県	16	-	6.3	-	31.3	62.5
	福井県	17	-	-	-	29.4	70.6
	山梨県	22	-	4.5	-	45.5	50.0
	長野県	59	-	-	-	50.8	49.2
	岐阜県	37	2.7	2.7	5.4	54.1	35.1
	静岡県	26	3.8	-	-	34.6	61.5
	愛知県	51	3.9	2.0	5.9	35.3	52.9
	三重県	26	-	3.8	-	46.2	50.0
	滋賀県	18	-	-	-	44.4	55.6
	京都府	21	4.8	-	-	28.6	66.7
	大阪府	33	6.1	-	3.0	42.4	48.5
	兵庫県	35	5.7	2.9	-	28.6	62.9
	奈良県	26	-	-	-	34.6	65.4
	和歌山県	22	-	-	-	45.5	54.5
	鳥取県	15	-	-	-	46.7	53.3
	島根県	13	7.7	-	-	30.8	61.5
	岡山県	21	-	-	-	33.3	66.7
	広島県	20	-	-	5.0	50.0	45.0
	山口県	14	-	7.1	-	7.1	85.7
	徳島県	19	-	5.3	-	36.8	57.9
	香川県	16	-	-	-	50.0	50.0
	愛媛県	18	-	-	-	61.1	38.9
	高知県	31	-	-	3.2	35.5	61.3
	福岡県	56	-	-	-	42.9	57.1
	佐賀県	17	-	-	-	29.4	70.6
	長崎県	16	-	6.3	-	25.0	68.8
	熊本県	39	-	-	-	38.5	61.5
	大分県	16	-	-	-	62.5	37.5
	宮崎県	19	-	-	5.3	42.1	52.6
	鹿児島県	33	6.1	6.1	6.1	45.5	36.4
	沖縄県	17	-	11.8	-	47.1	41.2

(19) 気象防災アドバイザーに期待すること

問21 「気象防災アドバイザー」に期待するのはどのようなことですか。当てはまるものをいくつでも選んでください。

n=597

ベース：気象防災アドバイザーを活用している、過去に活用していた、または、今後、活用を検討している市区町村



気象防災アドバイザーに期待することについては、「首長や幹部に対する気象や災害の見通しの解説」(68.3%)が最も多く、次いで「避難情報を発令する判断に関する首長や幹部に対する助言」(66.8%)、「自市区町村の職員への教育・研修」(66.3%)、「気象台との連絡調整」(60.0%)、「出前講座などによる住民への普及・啓発」(59.8%)、「自市区町村が主催する防災訓練への状況付与やシナリオ作成に関する助言」(42.9%)、「職員を非常参集したり、非常配備態勢をとったりする判断」(38.5%)となっている。

* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	の気象解説や災害の見通し	首長や幹部に対する助言	避難情報に関する助言	自市区町村の職員への教育・研修	気象台との連絡調整	住民への普及・啓発	自市区町村が主催する防災訓練への状況付与	職員を非常参集したり、非常配備態勢をとったりする判断	その他	気象防災アドバイザーに依頼できる業務の内容がよくわからない
全体	597	68.3	66.8	66.3	60.0	59.8	42.9	38.5	1.8	5.5	
北海道地方	55	60.0	63.6	67.3	72.7	49.1	45.5	38.2	3.6	5.5	
東北地方	78	67.9	69.2	59.0	62.8	64.1	47.4	39.7	2.6	5.1	
関東甲信地方	134	69.4	67.9	71.6	56.0	61.2	44.8	46.3	1.5	5.2	
東海地方	71	63.4	69.0	59.2	53.5	56.3	31.0	28.2	2.8	5.6	
北陸地方	25	80.0	80.0	64.0	76.0	64.0	44.0	44.0	4.0	4.0	
近畿地方	64	64.1	54.7	70.3	50.0	62.5	35.9	32.8	3.1	4.7	
中国地方	30	60.0	66.7	60.0	50.0	56.7	50.0	40.0	-	13.3	
四国地方	39	74.4	71.8	71.8	79.5	64.1	51.3	38.5	-	2.6	
九州北部地方	61	73.8	62.3	67.2	52.5	59.0	37.7	31.1	-	8.2	
九州南部・奄美地方	30	80.0	73.3	66.7	76.7	60.0	53.3	50.0	-	-	
沖縄地方	10	70.0	70.0	70.0	40.0	60.0	40.0	30.0	-	10.0	

地方予報区別でみると、九州南部・奄美地方では「首長や幹部に対する気象や災害の見通しの解説」(80.0%)が他の地方予報区に比べて多く、北海道地方、四国地方、九州南部・奄美地方では「気象台との連絡調整」(72.7%、79.5%、76.7%)が他の地方予報区に比べて多い。

調査結果

(参考)

* は全体 + 10ポイント以上、 は + 5ポイント以上、 は - 10ポイント以下、 は - 5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

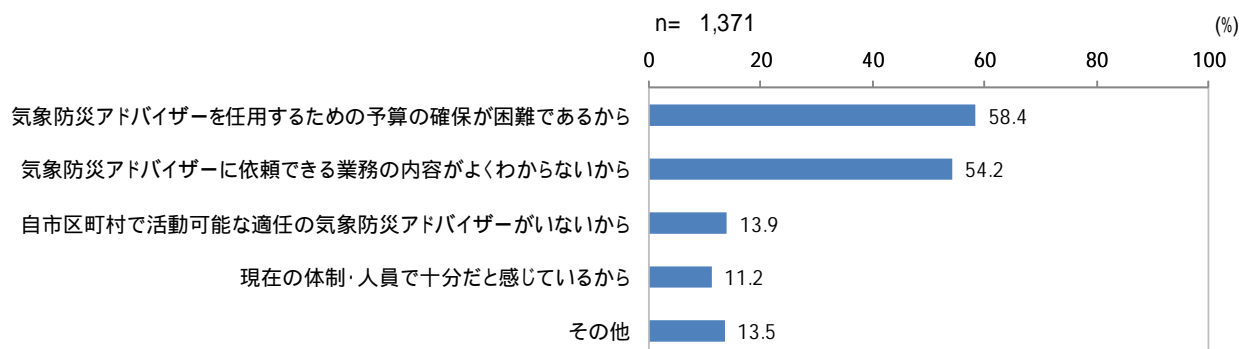
		(%)													
	n	の気象や災害の見通し	首長や幹部に対する	判断に関する助言	避難情報発令	市区町村の職員への教育・研修	気象台との連絡調整	住民への普及・啓発	出前講座などによる	付与するシナリオ作成	市区町村が主催する防災訓練への状況	職員を非常態勢とした	その他	業務内容がよくなる	気象防災アドバイザー
全体	597	68.3	66.8	66.3	60.0	59.8	42.9	38.5	1.8	5.5					
都道府県別	北海道	55	60.0	63.6	67.3	72.7	49.1	45.5	38.2	3.6	5.5				
	青森県	12	66.7	66.7	66.7	58.3	66.7	41.7	25.0	-	8.3				
	岩手県	14	78.6	85.7	71.4	64.3	71.4	57.1	50.0	7.1	7.1				
	宮城県	9	55.6	66.7	66.7	88.9	77.8	66.7	55.6	-	-				
	秋田県	13	76.9	61.5	69.2	84.6	53.8	46.2	38.5	-	-				
	山形県	10	40.0	70.0	30.0	40.0	60.0	20.0	30.0	10.0	-	-			
	福島県	20	75.0	65.0	50.0	50.0	60.0	50.0	40.0	-	10.0				
	茨城県	15	80.0	73.3	66.7	33.3	53.3	33.3	40.0	-	-				
	栃木県	11	54.5	45.5	45.5	54.5	54.5	54.5	45.5	-	-				
	群馬県	12	83.3	66.7	83.3	58.3	75.0	58.3	41.7	-	-				
	埼玉県	24	50.0	41.7	75.0	41.7	50.0	12.5	33.3	-	12.5				
	千葉県	12	66.7	66.7	83.3	58.3	58.3	41.7	50.0	-	8.3				
	東京都	13	76.9	76.9	76.9	53.8	46.2	46.2	46.2	-	-				
	神奈川県	6	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	16.7	16.7	-	-				
	新潟県	8	62.5	62.5	50.0	87.5	75.0	25.0	12.5	12.5	-	-			
	富山県	6	83.3	83.3	66.7	66.7	66.7	50.0	50.0	-	-				
	石川県	6	100.0	100.0	66.7	66.7	50.0	33.3	83.3	-	-				
	福井県	5	80.0	80.0	80.0	80.0	60.0	80.0	40.0	-	20.0				
	山梨県	11	90.9	90.9	81.8	72.7	72.7	81.8	81.8	9.1	-				
	長野県	30	73.3	86.7	70.0	73.3	76.7	63.3	53.3	3.3	3.3				
	岐阜県	24	70.8	75.0	54.2	54.2	58.3	37.5	33.3	-	-				
	静岡県	10	50.0	60.0	40.0	60.0	60.0	30.0	50.0	10.0	10.0				
	愛知県	24	66.7	66.7	70.8	54.2	54.2	25.0	16.7	-	4.2				
	三重県	13	53.8	69.2	61.5	46.2	53.8	30.8	23.1	7.7	15.4				
	滋賀県	8	50.0	62.5	87.5	50.0	50.0	37.5	37.5	12.5	12.5				
	京都府	7	85.7	71.4	42.9	71.4	71.4	14.3	42.9	-	-				
	大阪府	17	70.6	47.1	64.7	52.9	82.4	41.2	23.5	-	-				
	兵庫県	13	76.9	61.5	92.3	53.8	84.6	53.8	38.5	-	-				
	奈良県	9	66.7	55.6	66.7	44.4	22.2	33.3	33.3	-	11.1				
	和歌山県	10	30.0	40.0	60.0	30.0	40.0	20.0	30.0	10.0	10.0				
	鳥取県	7	71.4	71.4	85.7	57.1	57.1	57.1	57.1	-	14.3				
	島根県	5	40.0	60.0	20.0	40.0	20.0	40.0	40.0	-	20.0				
	岡山県	7	85.7	85.7	85.7	57.1	100.0	85.7	42.9	-	-				
	広島県	11	45.5	54.5	45.5	45.5	45.5	27.3	27.3	-	18.2				
	山口県	2	100.0	50.0	50.0	-	100.0	-	50.0	-	-				
	徳島県	8	62.5	50.0	75.0	75.0	62.5	37.5	25.0	-	12.5				
	香川県	8	62.5	37.5	37.5	75.0	50.0	50.0	12.5	-	-				
	愛媛県	11	81.8	90.9	100.0	90.9	90.9	81.8	45.5	-	-				
	高知県	12	83.3	91.7	66.7	75.0	50.0	33.3	58.3	-	-				
	福岡県	24	70.8	58.3	62.5	45.8	54.2	37.5	41.7	-	4.2				
	佐賀県	5	60.0	80.0	60.0	40.0	60.0	40.0	-	-	20.0				
	長崎県	5	80.0	60.0	60.0	80.0	60.0	40.0	20.0	-	-				
	熊本県	15	80.0	60.0	73.3	66.7	66.7	53.3	33.3	-	13.3				
	大分県	10	70.0	70.0	80.0	50.0	50.0	20.0	20.0	-	10.0				
	宮崎県	9	55.6	66.7	88.9	55.6	66.7	44.4	22.2	-	-				
	鹿児島県	21	90.5	76.2	57.1	85.7	57.1	57.1	61.9	-	-				
	沖縄県	10	70.0	70.0	70.0	40.0	60.0	40.0	30.0	-	10.0				

(20) 気象防災アドバイザーを活用できていない(しない)理由

問22 気象防災アドバイザーを活用する意向はあるが、活用できていない、活用する意向はないとした理由は何ですか。当てはまるものをいくつでも選んでください。

n=1,371

ベース：気象防災アドバイザーを活用する意向はあるが、活用できていない、または、活用する意向はない市区町村



気象防災アドバイザーを活用できない(しない)理由については、「気象防災アドバイザーを任用するための予算の確保が困難であるから」(58.4%)が最も多く、次いで「気象防災アドバイザーに依頼できる業務の内容がよくわからないから」(54.2%)、「自市区町村で活動可能な適任の気象防災アドバイザーがないから」(13.9%)、「現在の体制・人員で十分だと感じているから」(11.2%)となっている。

* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	でのザ気 あ予！象 る算を防 かの任災 ら確用ア 保すド がるバ 困たイ 難め	ら務ザ気 なの！象 い内に防 か容依災 らが頼ア よでド くきバ わるイ か業	いア能自 かドな市 らバ適区 イ任町 ザの村 ！気で が象活 い防動 な災可	か！現 ら分在 だの と体 感じ・ て人 い員 るで	そ の 他
全体		1371	58.4	54.2	13.9	11.2	13.5
地方予報区別	北海道地方	156	59.6	55.1	14.7	10.9	11.5
	東北地方	178	54.5	59.6	18.0	6.7	12.4
	関東甲信地方	329	62.0	49.2	13.7	10.6	14.3
	東海地方	128	53.1	56.3	12.5	10.2	14.1
	北陸地方	67	70.1	49.3	11.9	11.9	14.9
	近畿地方	148	62.8	57.4	4.7	12.2	11.5
	中国地方	67	55.2	50.7	20.9	10.4	19.4
	四国地方	82	57.3	53.7	22.0	7.3	13.4
	九州北部地方	156	51.3	56.4	11.5	18.6	14.1
九州南部・奄美地方	45	53.3	55.6	17.8	15.6	11.1	
沖縄地方	15	66.7	53.3	13.3	6.7	13.3	

地方予報区別で見ると、北陸地方では「気象防災アドバイザーを任用するための予算の確保が困難であるから」(70.1%)が他の地方予報区に比べて多い。

調査結果

(参考)

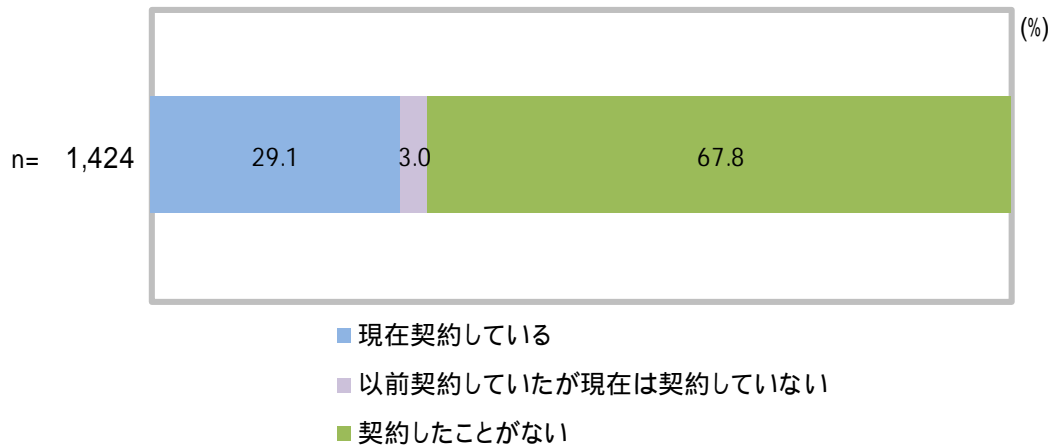
* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

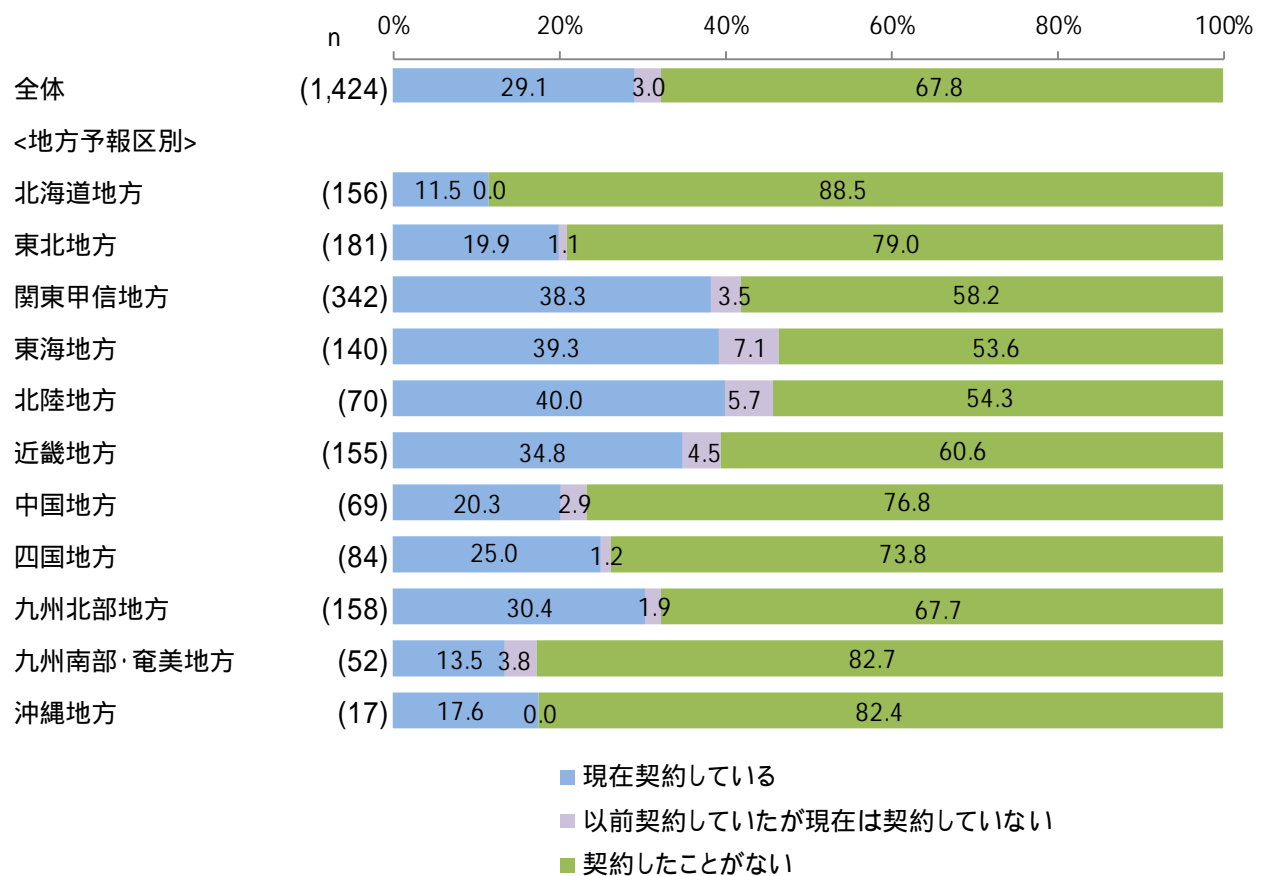
							(%)
		でのザ気	ら務ザ気	いア能自	か十現	そ	
		あ予ー象	なの内防	かドな市	ら分在	の	
		る算を任	か容依災	らバ適区	らだの	体	
		ら確用ア	らが頼ア	ザーの村	ら感制	じ・	
		保すド	よでド	ー気活	らて人	員	
		がるバ	くきバ	が象防	ら	で	
		困たイ	わるイ	い防			
		難め	か業	な災			
n							
全体	1371	58.4	54.2	13.9	11.2	13.5	
都道府県別	北海道	156	59.6	55.1	14.7	10.9	11.5
	青森県	33	66.7	66.7	18.2	3.0	12.1
	岩手県	28	57.1	46.4	28.6	14.3	7.1
	宮城県	26	50.0	50.0	19.2	3.8	23.1
	秋田県	22	45.5	72.7	13.6	4.5	9.1
	山形県	29	58.6	58.6	6.9	6.9	10.3
	福島県	40	47.5	62.5	20.0	7.5	12.5
	茨城県	38	52.6	63.2	7.9	7.9	15.8
	栃木県	21	61.9	52.4	14.3	4.8	9.5
	群馬県	25	56.0	48.0	16.0	16.0	12.0
	埼玉県	58	75.9	37.9	6.9	3.4	19.0
	千葉県	44	70.5	47.7	11.4	15.9	15.9
	東京都	46	63.0	43.5	4.3	15.2	17.4
	神奈川県	17	58.8	70.6	-	23.5	-
	新潟県	20	65.0	35.0	15.0	25.0	15.0
	富山県	15	60.0	53.3	13.3	6.7	26.7
	石川県	15	86.7	73.3	6.7	6.7	-
	福井県	17	70.6	41.2	11.8	5.9	17.6
	山梨県	21	76.2	28.6	23.8	14.3	9.5
	長野県	59	45.8	57.6	32.2	6.8	13.6
	岐阜県	33	45.5	45.5	12.1	12.1	18.2
	静岡県	25	60.0	72.0	16.0	4.0	16.0
	愛知県	45	55.6	53.3	8.9	4.4	13.3
	三重県	25	52.0	60.0	16.0	24.0	8.0
	滋賀県	18	66.7	77.8	-	5.6	16.7
	京都府	20	70.0	65.0	5.0	10.0	10.0
	大阪府	30	70.0	50.0	-	6.7	13.3
	兵庫県	32	62.5	46.9	6.3	15.6	15.6
	奈良県	26	61.5	61.5	11.5	11.5	-
	和歌山県	22	45.5	54.5	4.5	22.7	13.6
	鳥取県	15	40.0	33.3	13.3	20.0	20.0
	島根県	12	58.3	50.0	25.0	-	16.7
	岡山県	21	76.2	57.1	28.6	9.5	9.5
	広島県	19	42.1	57.9	15.8	10.5	31.6
	山口県	13	38.5	46.2	7.7	46.2	7.7
	徳島県	18	55.6	72.2	11.1	-	11.1
	香川県	16	87.5	37.5	25.0	6.3	6.3
	愛媛県	18	44.4	38.9	27.8	11.1	22.2
	高知県	30	50.0	60.0	23.3	10.0	13.3
	福岡県	56	57.1	57.1	5.4	19.6	10.7
	佐賀県	17	64.7	47.1	11.8	-	29.4
	長崎県	15	40.0	53.3	20.0	33.3	13.3
	熊本県	39	48.7	66.7	10.3	12.8	12.8
	大分県	16	43.8	50.0	31.3	12.5	18.8
	宮崎県	18	61.1	55.6	33.3	-	11.1
	鹿児島県	27	48.1	55.6	7.4	25.9	11.1
	沖縄県	15	66.7	53.3	13.3	6.7	13.3

(21) 民間事業者が有償で提供しているサービスの利用状況

問23 防災対応を目的として、民間事業者と継続的に、あるいは定期的に契約していますか。



民間事業者が有償で提供しているサービスの利用状況については、「契約したことがない」(67.8%)が最も多く、次いで「現在契約している」(29.1%)、「以前契約していたが現在は契約していない」(3.0%)となっている。



n=29 以下は参考値

地方予報区別でみると、関東甲信地方、東海地方、北陸地方では「現在契約している」(38.3%、39.3%、40.0%)が他の地方予報区に比べて多い。

・調査結果

(参考)

* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

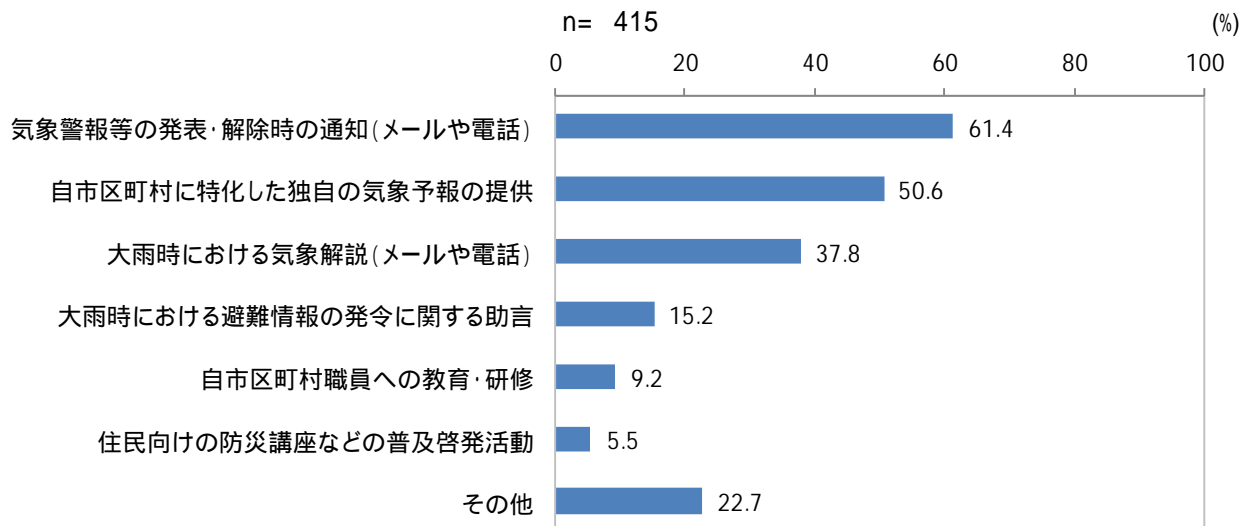
		(%)			
		現在 契約して いる	い 現 以 在 前 は 契 約 約 して いた なが	契 約 し た こ と が な い	
		n			
全体	1424	29.1	3.0	67.8	
都 道 府 県 別	北海道	156	11.5	-	88.5
	青森県	33	12.1	-	87.9
	岩手県	28	21.4	-	78.6
	宮城県	26	23.1	3.8	73.1
	秋田県	22	13.6	-	86.4
	山形県	30	16.7	-	83.3
	福島県	42	28.6	2.4	69.0
	茨城県	40	35.0	7.5	57.5
	栃木県	22	31.8	9.1	59.1
	群馬県	27	33.3	-	66.7
	埼玉県	62	38.7	1.6	59.7
	千葉県	44	47.7	4.5	47.7
	東京都	48	52.1	2.1	45.8
	神奈川県	18	61.1	-	38.9
	新潟県	22	27.3	9.1	63.6
	富山県	15	66.7	-	33.3
	石川県	16	37.5	6.3	56.3
	福井県	17	35.3	5.9	58.8
	山梨県	22	13.6	4.5	81.8
	長野県	59	28.8	3.4	67.8
	岐阜県	37	29.7	2.7	67.6
	静岡県	26	42.3	11.5	46.2
	愛知県	51	47.1	5.9	47.1
	三重県	26	34.6	11.5	53.8
	滋賀県	18	50.0	-	50.0
	京都府	21	42.9	19.0	38.1
	大阪府	33	42.4	3.0	54.5
	兵庫県	35	37.1	2.9	60.0
	奈良県	26	26.9	-	73.1
	和歌山県	22	9.1	4.5	86.4
	鳥取県	15	13.3	-	86.7
	島根県	13	15.4	-	84.6
	岡山県	21	23.8	-	76.2
	広島県	20	25.0	10.0	65.0
	山口県	14	42.9	7.1	50.0
	徳島県	19	10.5	-	89.5
	香川県	16	25.0	-	75.0
	愛媛県	18	22.2	-	77.8
	高知県	31	35.5	3.2	61.3
	福岡県	56	26.8	-	73.2
	佐賀県	17	35.3	11.8	52.9
	長崎県	16	31.3	-	68.8
	熊本県	39	35.9	-	64.1
	大分県	16	12.5	-	87.5
	宮崎県	19	21.1	-	78.9
	鹿児島県	33	9.1	6.1	84.8
	沖縄県	17	17.6	-	82.4

(22) 民間事業者から有償で提供を受けているサービスの内容

問24 提供を受けているサービスの内容を教えてください。

n=415

ベース：民間事業者が有償で提供しているサービスを契約している市区町村



民間事業者から有償で提供を受けているサービスの内容については、「気象警報等の発表・解除時の通知 (メールや電話)」(61.4%) が最も多く、次いで「自市区町村に特化した独自の気象予報の提供」(50.6%)、「大雨時における気象解説 (メールや電話)」(37.8%)、「大雨時における避難情報の発令に関する助言」(15.2%)、「自市区町村職員への教育・研修」(9.2%)、「住民向けの防災講座などの普及啓発活動」(5.5%)となっている。

* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	気象警報等の発表・解除時の通知 (メールや電話)	自市区町村に特化した独自の気象予報の提供	大雨時における気象解説 (メールや電話)	大雨時における避難情報の発令に関する助言	自市区町村職員への教育・研修	住民向けの普及啓発活動	その他	
全体	415	61.4	50.6	37.8	15.2	9.2	5.5	22.7	
地方予報区別	北海道地方	18	55.6	33.3	11.1	11.1	5.6	11.1	33.3
	東北地方	36	52.8	30.6	13.9	2.8	5.6	5.6	25.0
	関東甲信地方	131	63.4	58.0	48.1	23.7	14.5	4.6	18.3
	東海地方	55	69.1	58.2	47.3	12.7	5.5	3.6	20.0
	北陸地方	28	67.9	50.0	39.3	14.3	3.6	7.1	17.9
	近畿地方	54	55.6	51.9	44.4	13.0	11.1	1.9	25.9
	中国地方	14	50.0	50.0	21.4	14.3	14.3	14.3	28.6
	四国地方	21	52.4	33.3	28.6	14.3	14.3	9.5	38.1
	九州北部地方	48	62.5	50.0	27.1	10.4	2.1	6.3	27.1
	九州南部・奄美地方	7	85.7	71.4	57.1	14.3	-	-	-
沖縄地方	3	66.7	-	-	-	-	33.3	-	

地方予報区別で見ると、関東甲信地方では「大雨時における気象解説 (メールや電話)」(48.1%) が他の地方予報区に比べて多い。

調査結果

(参考)

* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		(%)							
		n	気象警報等の発表・解除時の通知(メールや電話)	自治体の気象予報の提供	大雨時における気象解説(メールや電話)	大雨時における避難情報発令に関する助言	自治体町村職員への教育・研修	住民向けの防災講座などの普及啓発活動	その他
全体		415	61.4	50.6	37.8	15.2	9.2	5.5	22.7
都道府県別	北海道	18	55.6	33.3	11.1	11.1	5.6	11.1	33.3
	青森県	4	25.0	50.0	25.0	-	-	25.0	25.0
	岩手県	6	16.7	33.3	16.7	-	-	-	66.7
	宮城県	6	66.7	50.0	-	-	-	-	16.7
	秋田県	3	66.7	-	-	-	-	-	33.3
	山形県	5	60.0	-	20.0	-	-	-	20.0
	福島県	12	66.7	33.3	16.7	8.3	16.7	8.3	8.3
	茨城県	14	42.9	35.7	35.7	28.6	7.1	7.1	35.7
	栃木県	7	57.1	28.6	14.3	14.3	-	-	28.6
	群馬県	9	100.0	22.2	11.1	22.2	11.1	-	11.1
	埼玉県	24	62.5	62.5	50.0	16.7	4.2	4.2	25.0
	千葉県	21	76.2	76.2	66.7	38.1	23.8	4.8	4.8
	東京都	25	80.0	80.0	60.0	28.0	28.0	4.0	4.0
	神奈川県	11	63.6	72.7	54.5	9.1	18.2	-	-
	新潟県	6	83.3	66.7	66.7	16.7	16.7	16.7	16.7
	富山県	10	80.0	60.0	40.0	20.0	-	-	-
	石川県	6	66.7	16.7	-	-	-	-	33.3
	福井県	6	33.3	50.0	50.0	16.7	-	16.7	33.3
	山梨県	3	-	-	-	-	33.3	33.3	66.7
	長野県	17	35.3	47.1	52.9	23.5	5.9	5.9	35.3
	岐阜県	11	72.7	36.4	45.5	9.1	9.1	18.2	18.2
	静岡県	11	54.5	63.6	36.4	9.1	9.1	-	27.3
	愛知県	24	70.8	62.5	45.8	16.7	-	-	16.7
	三重県	9	77.8	66.7	66.7	11.1	11.1	-	22.2
	滋賀県	9	77.8	33.3	33.3	11.1	-	-	22.2
	京都府	9	44.4	66.7	66.7	33.3	33.3	-	33.3
	大阪府	14	42.9	57.1	42.9	7.1	7.1	7.1	28.6
	兵庫県	13	38.5	84.6	69.2	15.4	7.7	-	23.1
	奈良県	7	85.7	-	-	-	14.3	-	14.3
	和歌山県	2	100.0	-	-	-	-	-	50.0
	鳥取県	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-
	島根県	2	-	100.0	50.0	-	-	-	-
	岡山県	5	60.0	40.0	20.0	-	20.0	40.0	40.0
	広島県	5	60.0	40.0	20.0	40.0	20.0	-	40.0
	山口県	6	66.7	83.3	50.0	-	-	16.7	-
	徳島県	2	50.0	50.0	50.0	-	-	-	50.0
	香川県	4	75.0	25.0	25.0	-	-	-	50.0
	愛媛県	4	25.0	25.0	25.0	-	-	-	75.0
	高知県	11	54.5	36.4	27.3	27.3	27.3	18.2	18.2
	福岡県	15	53.3	46.7	-	6.7	6.7	6.7	26.7
	佐賀県	6	100.0	33.3	16.7	16.7	-	-	16.7
	長崎県	5	100.0	60.0	60.0	-	-	20.0	-
	熊本県	14	42.9	50.0	42.9	21.4	-	-	50.0
	大分県	2	50.0	-	-	-	-	-	50.0
	宮崎県	4	100.0	75.0	50.0	25.0	-	-	-
	鹿児島県	3	66.7	66.7	66.7	-	-	-	-
	沖縄県	3	66.7	-	-	-	-	33.3	-

. 調査結果のまとめ

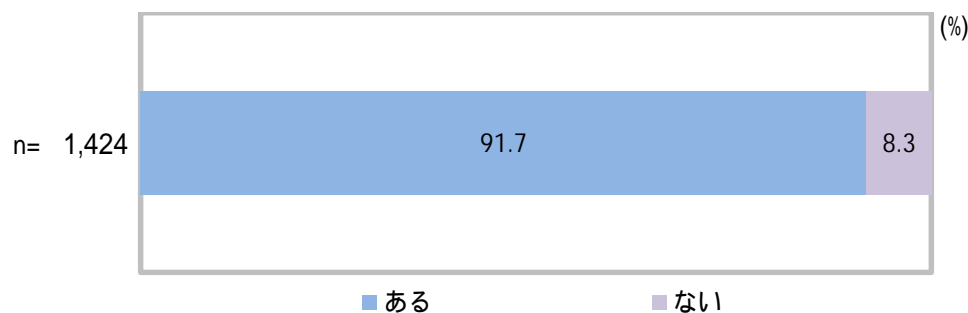
． 調査結果のまとめ

1. 市区町村が風水害への対応で感じている課題と風水害の際の气象台からの支援のニーズ

1 - 1 . 市区町村が風水害への対応で感じている課題

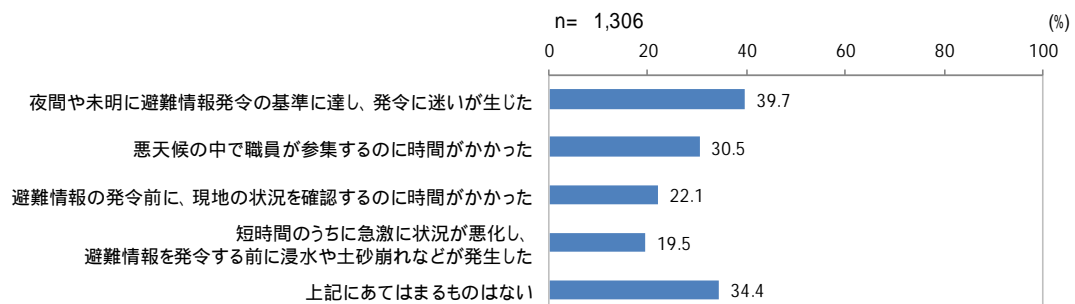
本調査で回答を得た 1,424 市区町村のうち、職員を非常参集したり、非常配備態勢をとったりした経験の有無（問 6）について、「ある」と回答したのは 1,306 市区町村で、全体の 9 割以上にのぼる。【図 1】

【図 1】職員を非常参集したり非常配備態勢をとったりした経験の有無（問 6）

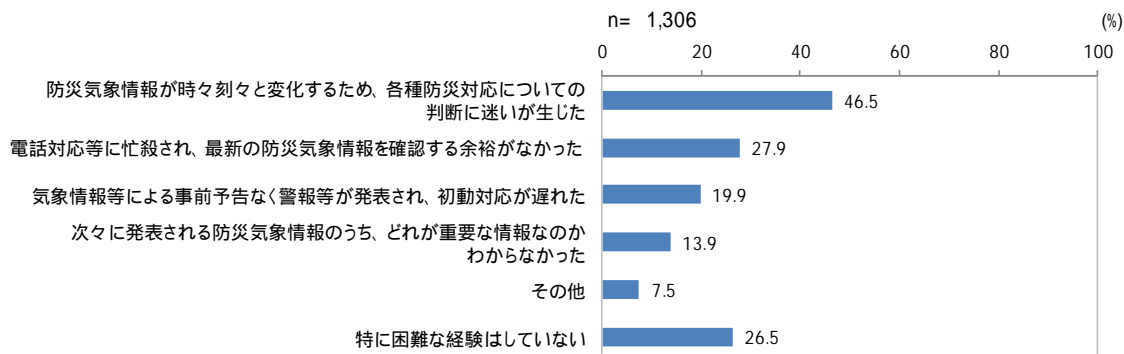


職員を非常参集したり非常配備態勢をとったりした経験の有無(問 6)について、「ある」と回答した 1,306 市区町村に、地域防災計画等に基づく防災対応に関する困難な経験(問 7)及び气象台から発表される防災気象情報の収集・分析に関する困難な経験(問 8)を尋ねた。前者については、「夜間や未明に避難情報発令の基準に達し、発令に迷いが生じた」が 39.7%と高い。また、後者については、「防災気象情報が時々刻々と変化するため、各種防災対応についての判断に迷いが生じた」が 46.5%を占める。風水害に対応する際の判断に迷うことを課題として挙げる市区町村が多いことがわかる。【図 2】【図 3】

【図 2】地域防災計画等に基づく防災対応に関する困難な経験（問 7）



【図3】防災気象情報の収集・分析に関する困難な経験（問8）

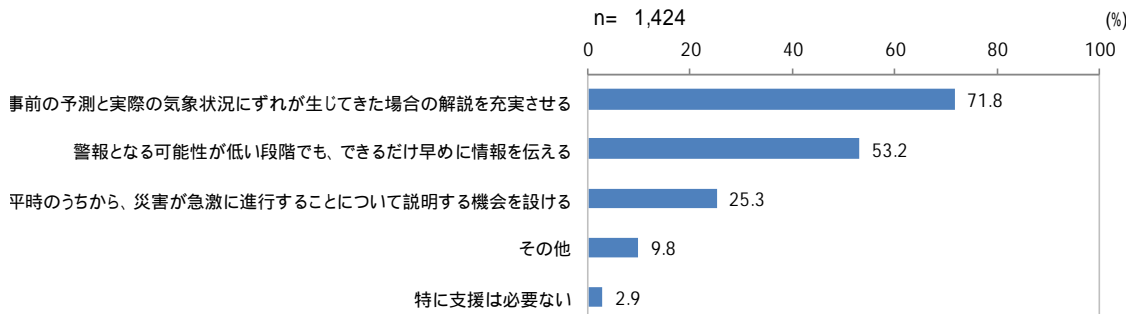


1 - 2. 風水害の際の気象台からの支援のニーズ

風水害への対応のために役立つと思う気象台からの支援（問9）をみると、「事前の予測と実際の気象状況にずれが生じてきた場合の解説を充実させる」が71.8%で最も多く、地域防災計画等に基づく防災対応に関する困難な経験（問7）や、防災気象情報の収集・分析に関する困難な経験（問8）で挙げられている「迷い」の解消、的確な判断に資するような支援が気象台に期待されていることがわかる。【図4】

また、「警報となる可能性が低い段階でも、できるだけ早めに情報を伝える」が役立つと思うと回答した市区町村も、53.2%にのぼる。先に見た地域防災計画等に基づく防災対応に関する困難な経験（問7）では「悪天候の中で職員が参集するのに時間がかかった」（30.5%）、防災気象情報の収集・分析に関する困難な経験（問8）では「気象情報による事前予告もなく警報等が発表され、初動が遅れた」（19.9%）といった課題が多く挙げられており、その解決に資する支援として、早めの情報提供が期待されていると考えられる。【図2】【図3】【図4】

【図4】気象台からあれば役立つと思う支援（問9）



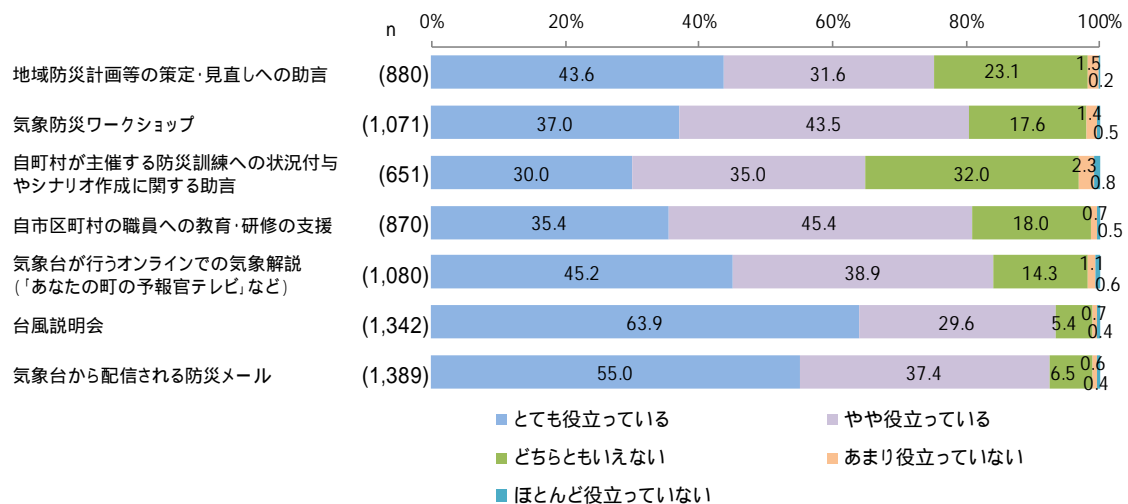
2. 気象台による地域防災支援の取り組みに対する評価とニーズ

2-1. 気象台が行っている各種取り組みに対する評価とニーズ

2-1-1. 気象台が行っている各種取り組みに対する評価

気象台が行っている各種取り組み（問10）について、経験した市区町村では、いずれの取り組みについても、「とても役に立っている」と「やや役に立っている」を合わせると6割以上にのぼり、全般的に好意的に受け止められていることがわかる。【図5】（問10「この取り組みを経験したことがない」を集計基数から除外の上、再集計）

【図5】気象台が行っている各種取り組みの評価（問10）



2-1-2. 気象台が行っている各種取り組みに対するニーズ

気象台が行っている各種取り組みのニーズ（問11）に関する主な意見は、以下のとおりである。

- ・ 地域防災計画等の全国標準化を行ってほしい
- ・ 各市区町村の特性を踏まえた想定による研修開催を希望
- ・ ワークショップで、他の市区町村の考え方を聞くことができ参考になった
- ・ 職務の経験年数等に応じて研修・ワークショップの内容が初級、中級等に分かれていると、より参加しやすいと感じた
- ・ 台風説明会では、詳細事項の確認や、マスコミ参加の場では確認できない情報があるため、マスコミ向けと自治体向けを分けた開催を検討いただきたい
- ・ 外部(一般)には公表できないようなコアな情報を提供してほしい

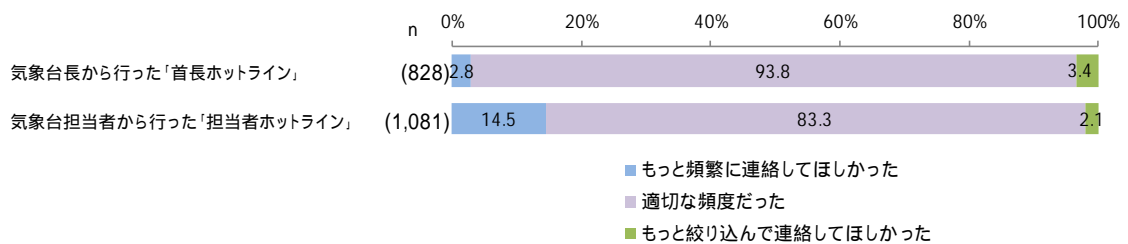
2 - 2 . 気象台から行った「ホットライン」に対する評価とニーズ

2 - 2 - 1 . 気象台から行った「ホットライン」の評価

気象台から行った「ホットライン」(問 12)のうち、平成 30 年度以降「首長ホットライン」を経験したことがあるのは 828 市区町村(58.2%)である。これら市区町村の「首長ホットライン」に対する評価をみると、「適切な頻度だった」が 93.8%を占める。

一方、「ホットライン」のうち平成 30 年度以降「担当者ホットライン」を経験したことがあるのは 1,081 市区町村(75.9%)である。これら市区町村の「担当者ホットライン」に対する評価をみると、「適切な頻度だった」が 83.3%を占め好意的な評価が多いものの、「もっと頻繁に連絡してほしかった」を選択した市区町村も 14.5%存在しており、首長ホットラインと担当者ホットラインにおける連絡頻度の評価ではやや相違がみられる。【図 6】(問 12「平成 30 年以降、首長ホットラインを経験したことがない」「平成 30 年以降、担当者ホットラインを経験したことがない」を集計基数から除外の上、再集計)

【図 6】気象台から行った「ホットライン」の頻度(問 12)

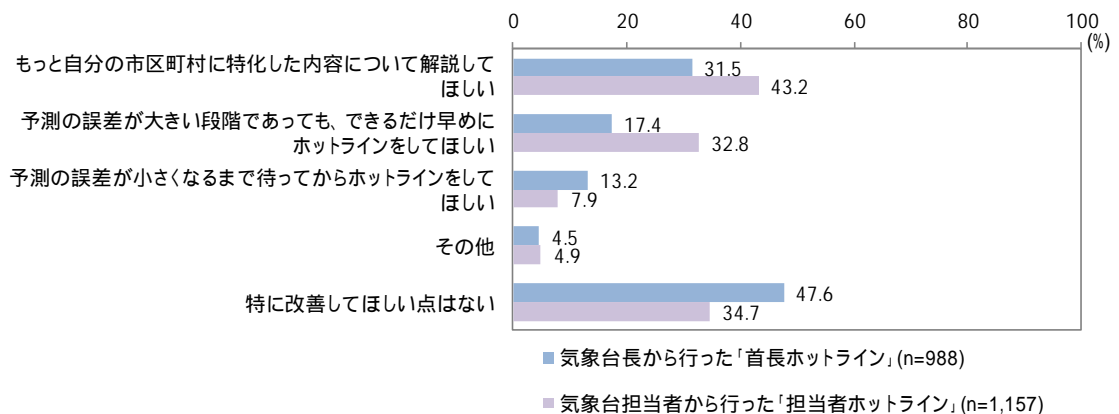


2-2-2. 気象台から行った「ホットライン」に対するニーズ

気象台から行った「ホットライン」の改善点（問13）について、「予測の誤差が大きい段階であっても、できるだけ早めにホットラインをしてほしい」をみると、「首長ホットライン」では17.4%、「担当者ホットライン」では32.8%となっている。「担当者ホットライン」については早めの情報提供が求められている。

一方、「もっと自分の市区町村に特化した内容について解説してほしい」をみると、「首長ホットライン」では31.5%、「担当者ホットライン」では43.2%となっている。「首長ホットライン」と「担当者ホットライン」のいずれでも、よりピンポイントな情報提供が期待されていることがわかる。【図7】（問13「平成30年以降、ホットラインを経験したことがない」を集計基数から除外の上、再集計）

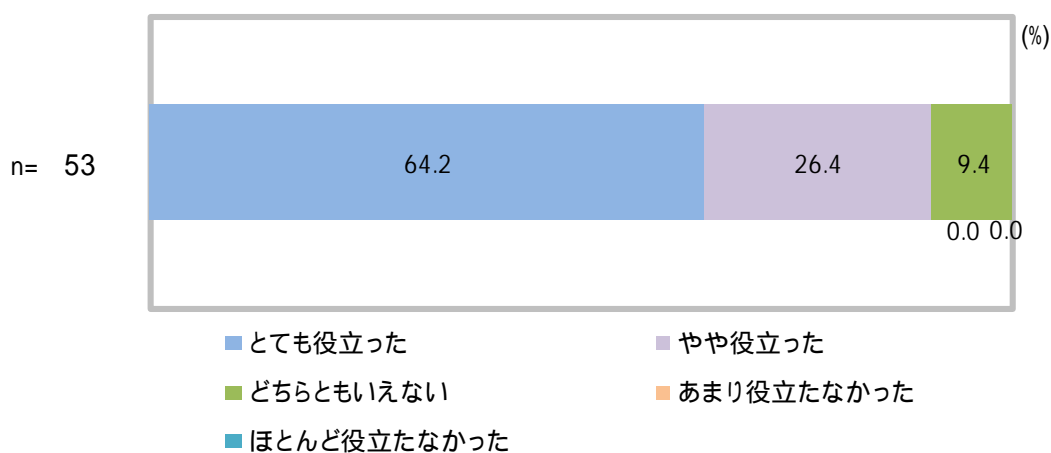
【図7】気象台から行った「ホットライン」の改善点（問13）



2 - 3 . JETT(気象庁防災対応支援チーム)による支援に対する評価

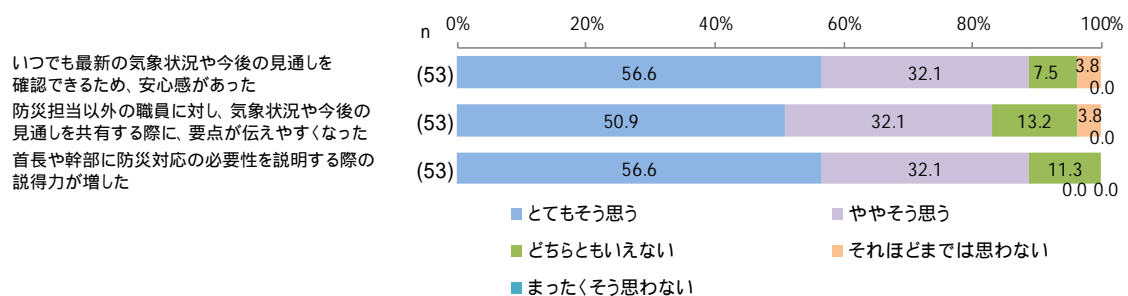
JETT(気象庁防災対応支援チーム)派遣(問14)を受け入れた経験があるのは、53市区町村(3.7%)にとどまる。これら市区町村のJETT(気象庁防災対応支援チーム)による支援に対する評価をみると、JETT(気象庁防災対応支援チーム)による支援の評価(問15)については、「とても役に立っている」と「やや役に立っている」を合わせると90.6%にのぼる。【図8】

【図8】JETT(気象庁防災対応支援チーム)による支援の評価(問15)



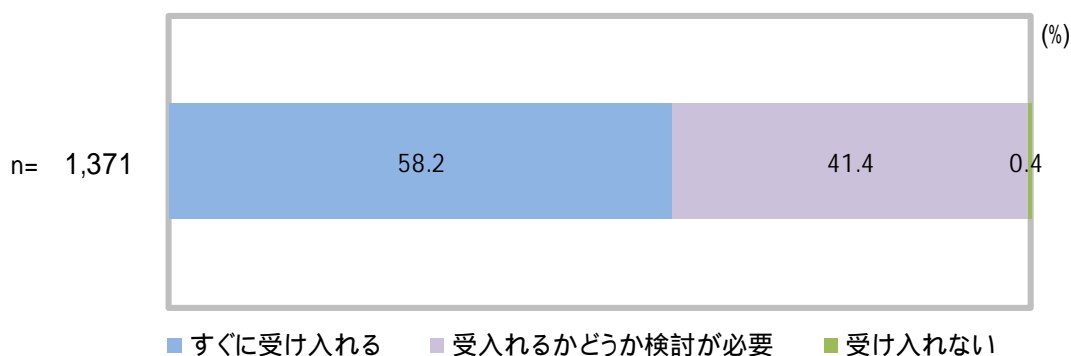
また、JETT(気象庁防災対応支援チーム)による支援を受けて感じた点(問16)については、いずれの項目においても「とてもそう思う」と「ややそう思う」を合わせると8割以上にのぼり、全般的に好意的に受け止められていることがわかる。【図9】

【図9】JETT(気象庁防災対応支援チーム)による支援を受けて感じた点(問16)



一方、JETT（気象庁防災対応支援チーム）の派遣を受け入れた経験がない1,371市区町村の今後のJETT（気象庁防災対応支援チーム）派遣の受入れへの対応方針（問18）をみると、「すぐに受け入れる」が58.2%を占めるが、一方、「受け入れるかどうか検討が必要」と回答している市区町村が41.4%存在する。【図10】

【図10】今後のJETT（気象庁防災対応支援チーム）派遣の受入れへの対応方針（問18）



JETT（気象庁防災対応支援チーム）による支援に関する主な意見（問17）（問19）は、以下のとおりである。

派遣を受け入れた経験がある市区町村からの意見（問17）

- ・本市の細かい地区に対しての助言や今後の気象見通しについて解説していただき、事後の災害対応について役立った
- ・専門家を派遣していただけた事で、气象台との連携がスムーズになった
- ・JETTを含む広域応援全般について町側の受入準備が整っておらず、支援を有効に活かせない場面があった
- ・災害対策本部会議等で今後の気象状況等を説明していただく機会があればよかった

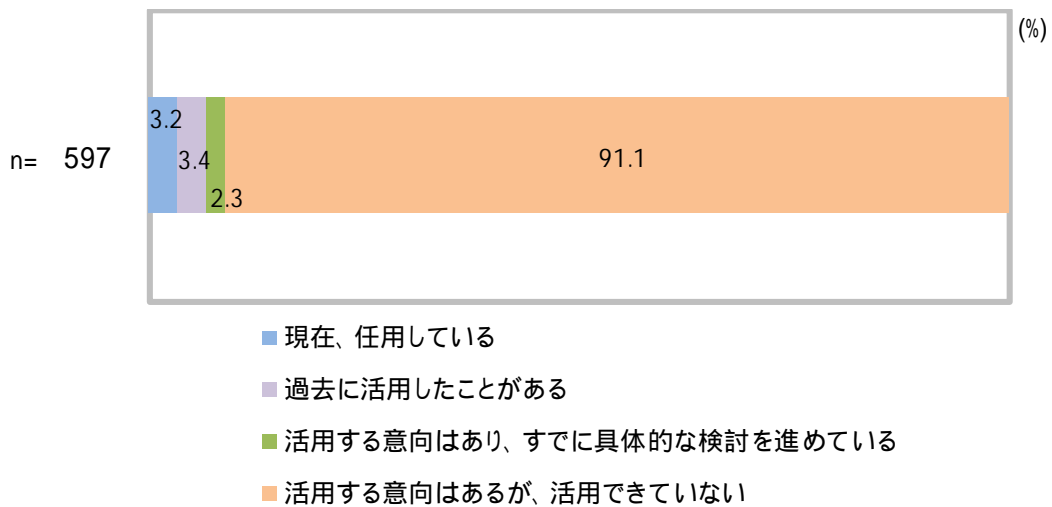
派遣を受け入れた経験がない市区町村からの意見（問19）

- ・受入体制の準備が十分でない
- ・JETT（気象庁防災対応支援チーム）による具体的な支援の内容がよくわからない
- ・首長をはじめとした内部協議が必要になることが想定される
- ・災害の規模によって判断することになると思う

2 - 4 . 気象防災アドバイザーのニーズ

気象防災アドバイザーの活用意向(問20)について、活用する意向のある市区町村では、「活用する意向はあるが、活用できていない」が91.1%を占めており、実際の活用に至っていない市区町村が圧倒的に多いことがわかる。【図11】(問20「活用する意向はない」を集計基数から除外の上、再集計)

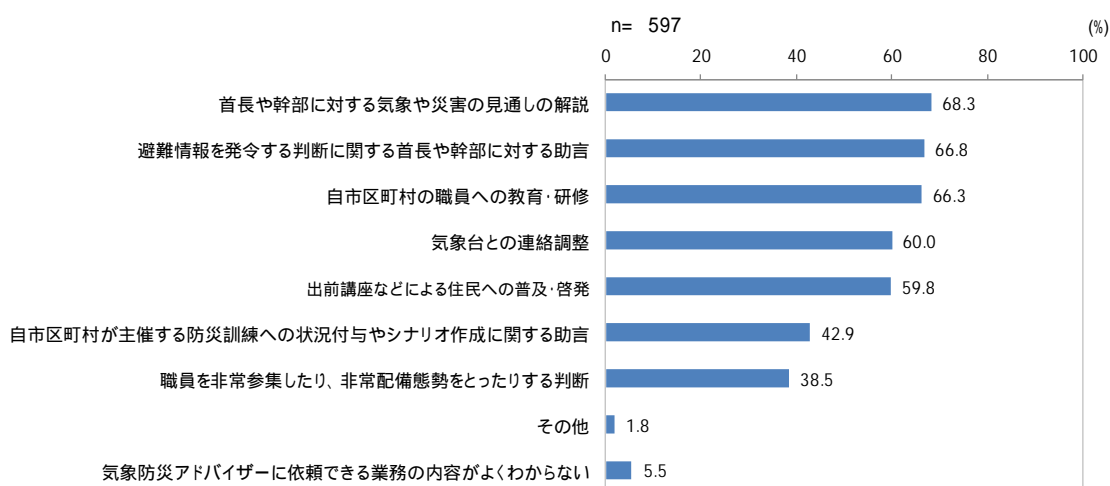
【図11】.気象防災アドバイザーの活用意向(問20)



気象防災アドバイザーに期待すること（問 21）をみると、「首長や幹部に対する気象や災害の見通しの解説」が 68.3%で最も多く、次いで「避難情報を発令する判断に関する首長や幹部に対する助言」（66.8%）、「自市区町村の職員への教育・研修」（66.3%）、「气象台との連絡調整」（60.0%）、「出前講座などによる住民への普及・啓発」（59.8%）となっている。

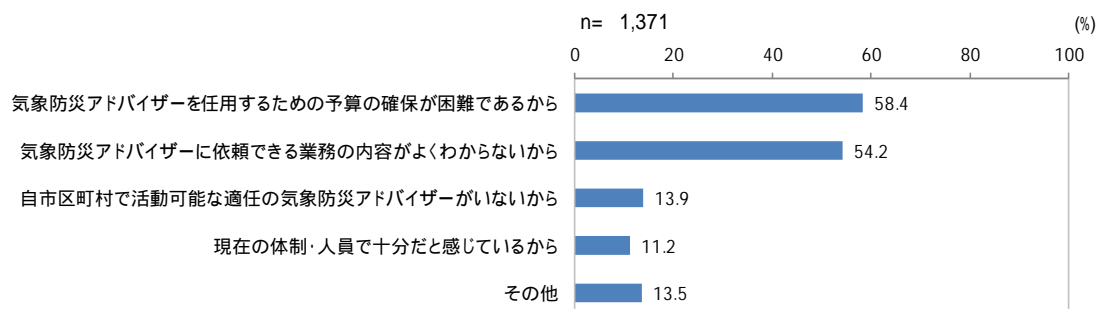
平時・災害時を問わず、首長や幹部、職員、住民といった様々な対象に対する活動について、気象防災アドバイザーによる支援が期待されていることがわかる。【図 12】

【図 12】気象防災アドバイザーに期待すること（問 21）



気象防災アドバイザーを活用できていない（しない）理由（問 22）をみると、「気象防災アドバイザーを任用するための予算の確保が困難であるから」が 58.4%で最も多く、次いで「気象防災アドバイザーに依頼できる業務の内容がよくわからないから」（54.2%）が高い。財政面の課題の解決と、気象防災アドバイザーに依頼できることの周知・広報が今後の活用促進に寄与するものと考えられる。【図 13】

【図 13】気象防災アドバイザーを活用できていない（しない）理由（問 22）



. 卷末資料

令和5年度政策レビュー 事前アンケート

市区町村における風水害への対応状況と 気象庁による支援への評価に関するアンケート

気象庁 総務部 企画課
地域防災企画室

取得する情報の取扱いについて

このたび、気象庁では、気象台による取り組みへの評価やニーズ、自治体の皆様が風水害への対応に際して感じている課題を把握するために、全国の市区町村の防災担当部局を対象にアンケート調査を実施します。

本調査は、あくまで気象台による取り組みの評価・改善を目的としたもので、市区町村の防災対応についての是非を問う趣旨はございませんので、何卒ご協力を賜れますと幸いです。

なお、回答に際しては、ご回答者様の個人的見解ではなく、貴市区町村のご意見として回答いただきますようお願いいたします。

本調査でお答えいただいた内容を、気象庁の業務の評価・改善以外の目的に使用することはありません。

また、本調査を通じて知り得た情報を、第三者に無断で提供することはありません。

本調査の結果は、集計を行った後、個別の市区町村名がわからないよう情報を加工し、取りまとめた上で、気象庁ホームページ等において公表することを予定していますので、あらかじめお含みおきください。

凡例

- ・【SA】単一回答。当てはまるものを一つだけ選ぶ。
- ・【MA】複数回答。当てはまるものをいくつでも選ぶ。
- ・【FA】自由回答。意見等を自由に記載する。

回答自治体の基礎情報

- ・都道府県名【FA】
- ・市区町村名【FA】
- ・防災担当課室名【FA】
- ・担当者氏名【FA】
- ・防災担当課室 職員数【FA】
 - うち、正規職員数
 - うち、非正規職員数
- ・電話番号【FA】
- ・メールアドレス【FA】

貴市区町村における風水害への対応の経験について伺います。

問1. 貴市区町村において、大雨・台風等の風水害により、警戒レベル4以上の避難情報()を最後に発令したのはいつですか。【SA】

令和3年5月の改正災害対策基本法の施行以前の「避難勧告」、「避難指示(緊急)」、「災害発生情報」を含むものとします。

1. 令和4年4月～令和4年12月
2. 令和2年4月～令和4年3月
3. 平成30年4月～令和2年3月
4. 平成30年3月以前
5. 過去に発令した経験がない

問2. 貴市区町村に、大雨・台風等の風水害により、災害救助法が最後に適用されたのはいつですか。

【SA】

1. 令和4年4月～令和4年12月
2. 令和2年4月～令和4年3月
3. 平成30年4月～令和2年3月
4. 平成30年3月以前
5. 過去に適用された経験がない

風水害への対応においては、あらかじめ避難情報の発令について具体的な計画を策定しておくことが重要です。

そこで、貴市区町村の地域防災計画、あるいは別途策定している「避難情報等の判断・伝達マニュアル」等の各種マニュアル類(以下「地域防災計画等」という。)の記載内容と、それに基づく対応状況について伺います。

問3. 次のそれぞれの場合に、避難指示(警戒レベル4)を発令する区域について、地域防災計画等に記載していますか。【SA】

a. 土砂キキクルの紫メッシュ(警戒レベル4相当)が出現したとき

1. すでに記載している
2. まだ記載していないが検討中
3. 記載していない
4. 管内に土砂災害の危険性がある場所(土砂災害警戒区域等)は存在しない

- b. 洪水キキクルの紫メッシュ（警戒レベル4相当）が出現したとき
 - 1. すでに記載している
 - 2. まだ記載していないが検討中
 - 3. 記載していない
 - 4. 管内に洪水災害の危険性がある場所（浸水想定区域等）は存在しない

- c. 高潮警報（警戒レベル4相当）が発表されたとき
 - 1. すでに記載している
 - 2. まだ記載していないが検討中
 - 3. 記載していない
 - 4. 管内に高潮災害の危険性がある場所は存在しない

問4. 次のそれぞれの災害について、避難情報の発令基準を満たした場合、どのような対応を行いますか。当てはまるものをいくつでも選んでください。【MA】

- a. 土砂災害
 - 1. 基準を満たし次第すぐに発令する
 - 2. 気象台や河川事務所に電話連絡等を行い、今後の見通しを確認した上で発令する
 - 3. 避難場所を開設した上で発令する
 - 4. 斜面の状況など、現地の状況を確認した上で発令する
 - 5. その他（ ）

- b. 洪水
 - 1. 基準を満たし次第すぐに発令する
 - 2. 気象台や河川事務所に電話連絡等を行い、今後の見通しを確認した上で発令する
 - 3. 避難場所を開設した上で発令する
 - 4. 河川の増水の状況など、現地の状況を確認した上で発令する
 - 5. その他（ ）

- c. 高潮
 - 1. 基準を満たし次第すぐに発令する
 - 2. 気象台や河川事務所に電話連絡等を行い、今後の見通しを確認した上で発令する
 - 3. 避難場所を開設した上で発令する
 - 4. 海の潮位の状況など、現地の状況を確認した上で発令する
 - 5. その他（ ）

問5. 避難情報の発令に関する対応について、計画的に教育・研修を実施する対象としているのは、どの職員ですか。当てはまるものをいくつでも選んでください。【MA, FA】

1. 市区町村役場の全職員
2. 防災担当課室に所属する全ての職員
3. 防災担当課室に新しく配属された職員
4. 防災対応に関する決定権を持つ幹部職員
5. その他（ ）
6. 組織的な教育・研修を行う計画はない

問6. 平成 30 年度以降、大雨・台風等の風水害への対応のために、職員を非常参集したり、非常配備態勢をとったりした経験はありますか。【SA】

1. ある
2. ない

【問6で、「1. ある」と回答した場合のみ回答】

問7. その際、地域防災計画等に基づく防災対応について、次のような困難な経験をしましたか。当てはまるものをいくつでも選んでください。【MA】

1. 悪天候の中で職員が参集するのに時間がかかった
2. 避難情報の発令前に、現地の状況を確認するのに時間がかかった
3. 短時間のうちに急激に状況が悪化し、避難情報を発令する前に浸水や土砂崩れなどが発生した
4. 夜間や未明に避難情報発令の基準に達し、発令に迷いが生じた
5. 上記に当てはまるものはない

【問6で、「1. ある」と回答した場合のみ回答】

問8. その際に、气象台から発表される防災気象情報の収集・分析について、次のような困難な経験をしましたか。当てはまるものをいくつでも選んでください。【MA, FA】

1. 気象情報等による事前予告なく警報等が発表され、初動対応が遅れた
2. 電話対応等に忙殺され、最新の防災気象情報を確認する余裕がなかった
3. 次々に発表される防災気象情報のうち、どれが重要な情報なのかわからなかった
4. 防災気象情報が時々刻々と変化するため、各種防災対応についての判断に迷いが生じた
5. その他（ ）
6. 特に困難な経験はしていない

問9. 大雨・台風等の風水害への対応のために、職員を非常参集したり、非常配備態勢をとったりする際に、気象台からどのような支援があれば役立つと思いますか。当てはまるものをいくつでも選んでください。【MA, FA】

1. 警報となる可能性が低い段階でも、できるだけ早めに情報を伝える
2. 事前の予測と実際の気象状況にずれが生じてきた場合の解説を充実させる
3. 平時のうちから、災害が急激に進行することについて説明する機会を設ける
4. その他()
5. 特に支援は必要ない

気象台が行っている各種取り組みの評価について伺います。

問10. 次に挙げる気象庁の各種取り組みは、貴市区町村が行う避難情報の発令に関する対応にどれくらい役立っていますか。次の各種取り組みについて、該当する評価をお答えください。【マトリックス形式で6段階評価】

- a. 地域防災計画等の策定・見直しへの助言
- b. 気象防災ワークショップ
- c. 貴市区町村が主催する防災訓練への状況付与やシナリオ作成に関する助言
- d. 貴市区町村の職員への教育・研修の支援
- e. 気象台が行うオンラインでの気象解説（「あなたの町の予報官テレビ」など）
- f. 台風説明会
- g. 気象台から配信される防災メール
 1. とても役立っている
 2. やや役立っている
 3. どちらともいえない
 4. あまり役立っていない
 5. ほとんど役立っていない
 6. この取り組みを経験したことがない

【問 10.で「6. この取り組みを経験したことがない」以外を回答した場合のみ回答】

問11. 問 10.の a. ~ g.に挙げた各種取り組みについて、評価したい点や改善してほしい点などがあれば、お聞かせください。【FA】

()

気象庁では、災害が切迫している状況、あるいはすでに災害が発生している状況において、地方公共団体の防災対応を支援するため、電話連絡により危機感の共有や助言を行っています。

この際に行われる市区町村長と気象台長との間の電話連絡を通称「首長ホットライン」、市区町村の防災担当職員と気象台担当者との間の電話連絡を通称「担当者ホットライン」と呼んでいます。

平成 30 年度以降の風水害への対応に際して行われた「ホットライン」について伺います。

問12. 気象台から行った「ホットライン」の頻度は適切でしたか。【SA】

a. 気象台長から行った「首長ホットライン」

1. もっと頻繁に連絡してほしい
2. 適切な頻度だった
3. もっと絞り込んで連絡してほしい
4. 平成 30 年度以降、首長ホットラインを経験したことがない

b. 気象台担当者から行った「担当者ホットライン」

1. もっと頻繁に連絡してほしい
2. 適切な頻度だった
3. もっと絞り込んで連絡してほしい
4. 平成 30 年度以降、担当者ホットラインを経験したことがない

問13. 気象台から行った「ホットライン」について、改善してほしい点はありますか。当てはまるものをいくつか選んでください。【MA、FA】

a. 気象台長から行った「首長ホットライン」

b. 気象台担当者から行った「担当者ホットライン」

1. 予測の誤差が大きい段階であっても、できるだけ早めにホットラインをしてほしい
2. 予測の誤差が小さくなるまで待ってからホットラインをしてほしい
3. もっと自分の市区町村に特化した内容について解説してほしい
4. その他 ()
5. 平成 30 年度以降、ホットラインを経験したことがない
6. 特に改善してほしい点はない

気象庁では、平成30年度から大規模な災害が発生した場合、あるいは発生が予想される場合に、地方公共団体に対し気象解説や連絡調整のために「JETT(気象庁防災対応支援チーム)」の派遣を行っています。「JETT(気象庁防災対応支援チーム)」は、地方公共団体の庁舎に常駐して24時間体制で対応する形態のほか、災害対策本部等の会議に参加して気象解説を行うようなスポット的な形態でも派遣しています。

平成30年度以降の災害に対し派遣された「JETT(気象庁防災対応支援チーム)」について伺います。なお、ここでは、災害の種別(風水害だけでなく、地震・火山等も含む。)や派遣の形態(常駐対応だけでなく、スポット的な派遣も含む。)を限定することなく、過去の事例についてお答えください。

問14. JETT(気象庁防災対応支援チーム)の派遣を受け入れたことがありますか。【SA】

1. 受け入れたことがある
2. 受け入れたことはない

【問14で、「1. 受け入れたことがある」と回答した場合のみ回答】

問15. JETT(気象庁防災対応支援チーム)による支援について、評価をお答えください。【SA】

1. とても役立った
2. やや役立った
3. どちらともいえない
4. あまり役立たなかった
5. ほとんど役立たなかった

【問14で、「1. 受け入れたことがある」と回答した場合のみ回答】

問16. JETT(気象庁防災対応支援チーム)による支援を受け、どのように感じましたか。次の各項目について、該当する評価をお答えください。【マトリックス形式で5段階評価】

- a. いつでも最新の気象状況や今後の見通しを確認できるため、安心感があった
- b. 防災担当以外の職員に対し、気象状況や今後の見通しを共有する際に、要点が伝えやすくなった
- c. 首長や幹部に防災対応の必要性を説明する際の説得力が増した
 1. とてもそう思う
 2. ややそう思う
 3. どちらともいえない
 4. それほどまでは思わない
 5. まったくそう思わない

【問 14.で、「1. 受け入れたことがある」と回答した場合のみ回答】

問17. その他、JETT（気象庁防災対応支援チーム）による支援について、評価したい点や改善してほしい点などがあれば、お聞かせください。【FA】

（ ）

【問 14.で、「2. 受け入れたことはない」と回答した場合のみ回答】

問18. 今後、貴市区町村で災害が発生し、气象台から JETT（気象庁防災対応支援チーム）派遣の提案があれば、どのように対応する見込みですか。【SA】

1. すぐに受け入れる
2. 受け入れるかどうか検討が必要
3. 受け入れない

【問 18.で、「2. 受け入れるかどうか検討が必要」または「3. 受け入れない」と回答した場合のみ回答】

問19. 「2. 受け入れるかどうか検討が必要」または「3. 受け入れない」と回答した理由をお聞かせください。【FA】

（ ）

気象庁では、気象庁 OB/OG や所定の研修を修了した気象予報士に対し、国土交通大臣から「気象防災アドバイザー」を委嘱し、地方公共団体の防災対応を支援する取り組みを推進しています。

この「気象防災アドバイザー」について伺います。

問20. 「気象防災アドバイザー」の活用の意向について教えてください。【SA】

1. 現在、任用している
2. 過去に活用したことがある
3. 活用する意向があり、すでに具体的な検討を進めている
4. 活用する意向はあるが、活用できていない
5. 活用する意向はない

【問 20.で、「5. 活用する意向はない」以外を回答した場合のみ回答】

問21. 「気象防災アドバイザー」に期待するのはどのようなことですか。当てはまるものをいくつでも選んでください。【MA, FA】

1. 首長や幹部に対する気象や災害の見通しの解説
2. 職員を非常参集したり、非常配備態勢をとったりする判断
3. 避難情報を発令する判断に関する首長や幹部に対する助言
4. 気象台との連絡調整
5. 貴市区町村が主催する防災訓練への状況付与やシナリオ作成に関する助言
6. 貴市区町村の職員への教育・研修
7. 出前講座などによる住民への普及・啓発
8. その他（ ）
9. 気象防災アドバイザーに依頼できる業務の内容がよくわからない

【問 20.で、「4. 活用する意向はあるが、活用できていない」または「5. 活用する意向はない」と回答した場合のみ回答】

問22. 「4. 活用する意向はあるが、活用できていない」または「5. 活用する意向はない」とした理由は何ですか。当てはまるものをいくつでも選んでください。【MA, FA】

1. 気象防災アドバイザーを任用するための予算の確保が困難であるから
2. 貴市区町村で活動可能な適任の気象防災アドバイザーがないから
3. 気象防災アドバイザーに依頼できる業務の内容がよくわからないから
4. 現在の体制・人員で十分だと感じているから
5. その他（ ）

民間事業者が地方公共団体の防災対応を支援するため、有償で提供しているサービスの利用状況について伺います。

問23. 防災対応を目的として、民間事業者と継続的に、あるいは定期的に契約していますか。【SA】

1. 現在契約している
2. 以前契約していたが現在は契約していない
3. 契約したことはない

【問 23.で、「1. 現在契約している」と回答した場合のみ回答】

問24. 提供を受けているサービスの内容を教えてください。【MA, FA】

1. 気象警報等の発表・解除時の通知（メールや電話）
2. 貴市区町村に特化した独自の気象予報の提供
3. 大雨時における気象解説（メールや電話）
4. 大雨時における避難情報の発令に関する助言
5. 貴市区町村職員への教育・研修
6. 住民向けの防災講座など普及啓発活動
7. その他（ ）